

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 英会話 I	<b>教員名</b> ハレヤマ ジェームス	
<b>科目時間数:</b> 15 限	<b>授業の種類:</b> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別:</b> 必修・選択	<b>配当学年:</b> 1年次 <b>開講時期:</b> 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>基礎的な英会話を身に付けることで、コミュニケーション能力を習得するとともに異文化理解や国際理解について学ぶ。          幼児向けの英語の歌やゲームを習得することで、幼児が英語に興味を持ち楽しめるような表現力を習得する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>基礎英会話のリスニングをCDを使用し訓練する。          リスニングで習得した内容の会話をロールプレイで練習、展開する。          幼児向けの歌の指導。異文化および複数の英語の発音に触れる。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>基礎的な英会話のリスニングとスピーキングを習得し、コミュニケーションの実現。          英語の歌に振りをつけて発表することで英語の発音と表現の達成。          DVDで異文化に触れることで、グローバルな意識を持つ。</p>		
	使用教材	出版社
学生用・教員用 共通	Let's Chant Let's Sing 2	Oxford University Press
"		
"		
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価：歌の発表（振付）と英語の面接試験による。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="radio"/> 有    <input type="radio"/> 無</p> <p><b>【内容】</b> 英会話教室の講師としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
英会話 I		15 限	ハレヤマ ジェームス
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	自己紹介・出身地について (国・地域の特徴)	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (Head Shoulders Knees and Toes)	
2 限	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	相手の好みについて (音楽・スポーツ・食べ物・科目など)	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (How's the Weather?)	
3 限	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	レストラン・ファーストフード店でのやり取り	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (ABC Song)	
4 限	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	ファッションについて・買い物 (値段を聞く)	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (Bingo)	
5 限	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	時間を聞く (1日の生活習慣)。	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (Open, Shut Them)	
6 限	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	日時を聞く (パーティーなど特別な日の日時について)	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (Hokey Pokey)	
7 限	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	能力の表現 (得意・不得意)	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (What Are You Doing?)	
8 限	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	今日はどうだった? 週末はどうだった?	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (I Want a Salad)	
9 限	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	休暇の過ごし方 (夏休み・冬休み)	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (Do Re Mi)	
10 限	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	子供時代について。学校生活について	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (Country Roads)	
11 限	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	おすすめを聞く・提案する	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	英語のゲーム	
12 限	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	人の外観の説明 (髪・目・身長・年齢など)	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (リクエスト)	
13 限	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	予定について (翌日・翌週・将来についてなど)	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	英語のゲーム	
14 限	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	文法確認	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌・ゲーム (指導練習)	
15 限	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	英会話総復習 (Q & A 方式のロールプレイで表現の確認)	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌総復習	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 健康科学	<b>教員名</b> 高橋 裕貴子	
<b>科目時間数</b> : 7.5	<b>限</b> <b>授業の種類</b> : 講義・演習・実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 1年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> スポーツ活動との関連の中で、健康や体力に関する知識や関心を高める。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> スポーツ活動との関連の中で健康や体力に関する知識や関心を高め、合理的な運動実践を習慣化するための方策について学ぶ。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	生涯スポーツ・健康科学	近畿大学九州短期大学通信教育部
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有・無</p>		
<p><b>【内容】</b></p>		

科目名		科目時間総数	教員名
健康科学		7.5 限	高橋 裕貴子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	スポーツの概念	スポーツの語源・概念を知る	
	〃	スポーツの現代的理解と特性を知る	
2 限	社会生活の変化とスポーツ	余暇とスポーツ活動の関連性を知る	
	〃	今後における余暇活動について理解する	
3 限	スポーツ参加の現状と課題	スポーツ参加の現状を知る	
	〃	スポーツ参加における問題点を探る	
4 限	〃	生涯学習体系の移行について知る	
	健康の概念	健康観の変遷について理解する	
5 限	〃	WHOの健康の定義について理解する	
	健康・体力と運動	現代社会における健康阻害要因について	
6 限	〃	体力の概念と構成要素について理解する	
	生活におけるトレーニング	運動処方を知る	
7 限	〃	トレーニングの基礎理論を理解する	
	〃	トレーニングの科学的基礎を理解する	
7.5 限	試験対策		

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 日本国憲法	<b>教員名</b> 関谷 揚子	
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> : 1年次 <b>開講時期</b> : 前期 ・ 後期 ・ 集中	
<p><b>〔授業の目的・ねらい〕</b> 日本国憲法が求めている理念を理解し、憲法問題に対するリーガルマインドを養う。</p> <p><b>〔授業全体の内容の概要〕</b> 日本国憲法の全体的な枠組みを体系的に理解しながら、憲法が求めている理念とは何か、現実社会との間にどのようなギャップがあるかを見つめながら、憲法問題に対するリーガルマインド（法的思考）を養う。</p> <p><b>〔授業における達成課題〕</b> 保育専門職として保育実践に必要な知識を習得して「人権」に対する理解を深めて欲しい。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	日本国憲法	近畿大学九州短期大学通信教育部
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：筆記試験の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無</p>		
<p><b>【内容】</b> 少年院職員としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
日本国憲法		15 限	関谷 揚子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	憲法とは何か	原理 歴史 大日本国憲法の特徴	
2 限	日本の憲法	制定過程 大日本国憲法との違い	
3 限		国民主権とは 天皇の地位 象徴とは	
4 限	基本的人権	人権とは 限界 包括的人権・新しい人権とは	
5 限		法の下での平等 判例から考える	
6 限		精神的自由権	
7 限			
8 限		経済的自由権	
9 限		人身の自由	
10 限		社会権	
11 限			
12 限		国務請求権 参政権	
13 限	統治機構	国会 内閣	
14 限		司法 地方自治	
15 限	平和主義	戦争の放棄	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 生涯スポーツ	<b>教員名</b> 田村 敏実	
<b>科目時間数</b> : 11.25 限	<b>授業の種類</b> : 講義・演習・実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 1年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 生涯に渡るスポーツとは何かを理解し、実践を通し、国民スポーツの諸相と課題について考える。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 高齢者、障がい者をも含めた各種スポーツの技能の向上とそれに関わるスポーツ発展史の理解を深めたり、国民スポーツの諸相と課題について考える。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。</p>		
	使用教材	出版社
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. そのれ月が丘幼稚園</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有・無</p>		
<p><b>【内容】</b> 中学校教員（体育）としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
生涯スポーツ		11.25 限	田村敏実
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	生涯にわたる運動とは何かを知り 各種の種目を実際に行い、生涯スポーツの意義を知る	生涯スポーツとは何かをテーマに各種の運動を行う 生涯スポーツの概念について 生涯スポーツの理論について	
2 限	実 技	ストレッチ体操	
3 限	"	コーディネーショントレーニング	
4 限	"	ソフトバレーボール	
5 限	"	バスケットボール	
6 限	"	卓球	
7 限	"	バドミントン	
8 限	"	パターゴルフ	
9 限	"	長縄跳び	
10 限	"	ドッジボール (ころがし) ドッジボール	
11 限	"	ミニサッカー	
11.3 限	"	キックベースボール	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b>	情報処理入門 I	<b>教員名</b>	阿部 修巳
<b>科目時間数</b> :	15	限	<b>授業の種類</b> :
<b>必修・選択の別</b> :	(必修)・選択	<b>配当学年</b> :	1年
		<b>開講時期</b> :	(前期)・後期・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> WORDの基礎知識を学び、ビジネス文書、表作成技能を習得する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> パソコンの基本操作を理解する。ワープロ、表計算ソフトの基本操作および文書作成、表作成技能を習得する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。</p>			
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>	
学生用・教員用 共通	Word2019&Excel2019&Powerpoint2019	F O M出版	
教員用	WORD 2 0 1 9 基礎	//	
	WORD 2 0 1 9 ドリル	//	
<b>【使用教室】</b>			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ( )	
<b>【評価方法】</b>			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ( )		
<b>【備 考】</b>			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> (有) ・ 無			
<b>【内容】</b> プラント、工場機械生産設備の開発・設計の実務、及びその管理職（事務職、設計業務、製作・組立）			

科目名 情報処理入門 I		科目時間総数 15 限	教員名 阿部 修巳
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	タイピング	パソコンの基本操作・用語、タッチメソッドの確認	
2 限	WORDの基礎知識	タッチメソッドの練習、WORDの概要説明	
3 限	文字入力	タッチメソッドの練習、色々な方法での日本語変換	
4 限	文書の作成	タッチメソッド、簡単なビジネス文書の作成	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	タッチメソッド、ビジネス文書の作成、ビジネス文書のフォーマット	
7 限	〃	〃	
8 限	表現力を高める	オンライン画像、ワードアート、図・写真の挿入……	
9 限	〃	〃	
10 限	文書の編集	色々な書式の設定、スタイルの登録、ヘッダー・フッターの作成……	
11 限	〃	〃	
12 限	表の作成	タッチメソッド、簡単な表の作成	
13 限	〃	〃	
14 限	ビジネス文書作成	いろいろなビジネス文書の作成	
15 限	確認試験	知識的要素・実技的要素の確認	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b>	情報処理入門 I	<b>教員名</b>	阿部 修巳
<b>科目時間数</b> :	7.5	限	<b>授業の種類</b> :
<b>必修・選択の別</b> :	(必修)・選択	<b>配当学年</b> :	1年
		<b>開講時期</b> :	前期・後期・(集中)
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> EXCELの基礎知識を学び、表の作成や数式入力の基本操作を習得する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> パソコンの基本操作を理解する。ワープロ、表計算ソフトの基本操作および文書作成、表作成技能を習得する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。</p>			
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>	
学生用・教員用 共通	Word2019&Excel2019&Powerpoint2019	F O M出版	
	EXCEL 2019 基礎	//	
	EXCEL 2019 ドリル	//	
<b>【使用教室】</b>			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ( )	
<b>【評価方法】</b>			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ( )		
<b>【備考】</b>			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> (有) ・ 無			
<b>【内容】</b> プラント、工場機械生産設備の開発・設計の実務、及びその管理職（事務職、設計業務、製作・組立）			

科目名 情報処理入門 I		科目時間総数 7.5 限	教員名 阿部 修巳
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	Excelの基礎知識	Excelの概要 データの種類、演算記号、その基本操作	
2 限	データの入力	Excelの基本操作、オートフィルの利用、簡単な表作成	
3 限	表の作成	関数（オートΣ）、罫線の設定、表示形式、配置、書式の設定	
4 限	〃	いろいろな率の求め方	
5 限	数式の入力	関数オートΣ（MAX、MIN……）、相対・絶対参照	
6 限	〃	〃	
7 限	表作成練習	白紙の状態から、基本的な表作成練習	
7.5 限	確認試験	知識的要素・実技的要素の確認	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 国語表現法	<b>教員名</b> 土川律子						
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習						
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	<b>配当学年</b> : 1年 <b>開講時期</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中						
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  記録・レポート等、論理的文章を書くための基礎的な事項を学び、事柄をわかりやすく、正確かつ的確に伝える記述する記述力の習得を目標とする。記録文における文章全体の構成、また細部における客観的、具体的記述力を身に付ける。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  本授業では、論理的文章の記述力を高めることを目標とする。自己の表現力を確認することから始め、基礎的事項を学び、文全体の構成、事実と意見を書き分ける等、わかりやすく論理的文章の表現法を身に付ける。要約、意見文の記述により基礎力を養い、記録文を作る。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目について、保育者として実践に必要な記述のしかたを完成する。</p>							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 40%;">使用教材</th> <th style="width: 30%;">出版社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">教員参考書</td> <td style="padding: 5px;">書き込み式日本語表現ノート 日本語表現法ワークブック 文章表現基本テキスト 日本語表現練習帳</td> <td style="padding: 5px;">三弥井出版 三省堂 日本能率協会マネジメントセンター すばる舎リンクージ</td> </tr> </tbody> </table>		使用教材	出版社	教員参考書	書き込み式日本語表現ノート 日本語表現法ワークブック 文章表現基本テキスト 日本語表現練習帳	三弥井出版 三省堂 日本能率協会マネジメントセンター すばる舎リンクージ
	使用教材	出版社					
教員参考書	書き込み式日本語表現ノート 日本語表現法ワークブック 文章表現基本テキスト 日本語表現練習帳	三弥井出版 三省堂 日本能率協会マネジメントセンター すばる舎リンクージ					
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. <input checked="" type="checkbox"/> HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>							
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験                      2. レポート                      3. <input checked="" type="checkbox"/> 出席                      4. <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度                  5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>							
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：筆記試験、授業態度等を勘案し、A(80点以上)、B(70～79点)、C(60～69点)、D(59点以下：不合格)で評価します</p>							
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p><b>【内容】</b> 国語教諭</p>							

科目名		科目時間総数	教員名
国語表現法		15 限	土川律子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	話し言葉	「話し言葉」「書き言葉」の基本を聴き取り表記できる	
2 限	主語	「文の原則」主語と述語の関係等、獄都語句の関係を知り、要約できる	
3 限	文の組み立て	「文の組み立て」論理的な文章の接続と修飾関係を把握し、記述できる	
4 限	文のつながりから	「文のつながり方」「視点」客観的記述における視点の置き方を把握する	
5 限	要約	「要約」前回までの内容確認のため、課題による「要約」を完成する	
6 限	言葉の順序	「言葉の順序」を把握し、わかりやすい文章を構成できる	
7 限	文章構成	「定義・分類」も表現を学び、論理的な文章を構成できる	
8 限	対比	「対比」対比の表現を知り、事実と意見の書き分けを意識し、記述できる	
9 限	引用	「引用」説明に必要な「引用」を用い、記述できる	
10 限	意見文	「意見文」前回までの内容を確認し、課題による「意見文」を完成する	
11 限	列挙	「列挙」列挙の表現を学び、事例・論証の表現が可能になる	
12 限	因果関係	「因果関係」因果関係の表現に留意し表現できる	
13 限	敬語	「敬語表現」敬語の基本的な表現ができる	
14 限	小論文	「小論文を書く」論説文を用い、事実・事例・意見・論証を構成できる	
15 限	〃	「小論文を書く」論説文を課題とし、意見論述を完成する	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 幼児と音楽表現	<b>教員名</b> 大縄 方子	
<b>科目時間数</b> : 7.5 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 1年次	
<b>開講時期</b> : 前期・後期・集中		
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「声」についてのイメージを深め、発声法、表現法を習得する。</li> <li>・ 器楽(ピアノ伴奏)の基礎的な演奏法を理解し、演奏技術の向上を目指す。</li> <li>・ 基礎的な楽典を理解し、読譜ができる。</li> <li>・ 教育現場に必要な声楽曲や弾き歌いのレパートリーを増やし、歌い示すことが出来る。</li> </ul> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>こどもの歌やコールユーブンゲンを歌うことでレパートリーを増やし音程の感覚を養う。楽典を解説し読譜練習や作品解釈を行う。ピアノは記録表に従いバイエル、マーチ等を学生の力量に合わせた個人レッスンの形態で行い、音楽表現の向上と表現方法についても検討する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>歌唱、ピアノともに練習あるのみです。特にピアノで初見状態でのレッスンは成立しないので、課題への取り組み、授業後の復習は最低でも60分は楽譜を見て練習を毎日続けていくことが望ましい。焦ることなく、丁寧に取り組むこと。          ＊受講条件として、記録表：ピアノの部分はすべて個人レッスンを受け指導者の押印があることとする。個人レッスンについては、専門家または保育者の指導を必ず受けること。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
プリント資料適宜配布		
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：実技試験及び出席、授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有・無</p> <p><b>【内容】</b> ピアノ講師としてのとしての実務経験有り</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
幼児と音楽表現		7.5 限	大縄 方子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	作ろう・オペレッタ(I)	(1日目) 全員集合で台本を読み合わせ、歌唱部分を全員で練習	約10日前に資料を配布しておく (グループを決める) (グループ配役は事前に決めておいてもよい※伴奏者・リーダーは決めておく あらかじめ、実際に本を読んで内容をよく理解した上で服装や背景を工夫するとよい。
	タイトル	グループに分かれて配役を決め、役ごとに読み合わせ→歌ってみる	
2 限	「長靴をはいた猫」	舞台の背景(美術)・衣装・小物等をアイデアを出しながら作成する	
	(ペローの童話より)	※美術等を作成しながら歌の練習	
3 限		※伴奏者は練習しながらも、作成する人の為に、BGMとして流す。	
		伴奏のない時は、制作をする。	
4 限		全員集合して、歌唱練習(再)	※ここまでの伴奏は講師 台本を暗記・暗譜してくる
	作ろう・オペレッタ(II)	全員集合して、歌唱練習	※伴奏者全員で弾く
5 限		グループに分かれて、美術の仕上げ作業→振付確認作業	
		振付の仕上げに向けて、まとめる(決定)	
6 限		〃	
		最終リハーサル	講師より助言あり
7 限		(1グループ30分)	
	いよいよ本番!	全員集合して発表する	講師・講評
7.5 限		(グループ毎に感想・反省点を出させる)	
		後片付け・清掃→解散(最後までしっかりやる)	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 音楽表現技術	<b>教員名</b> 小玉 充子	
<b>科目時間数</b> : 7.5 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 2年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>  「幼児と音楽表現」での知識を元に、より実践的な歌唱法、ピアノ演奏法、伴奏法、表現法を習得する。  教育現場に必要な声楽曲や弾き歌いのレパートリーを増やす。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>  子どもの歌やコールユーブンゲンを歌うことでレパートリーを増やし、音程の感覚を養う。  楽典の作品解釈を行い、音楽表現の向上と音楽表現についても習得していく。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>  当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 ( 音楽室 )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b>  評価について：実技試験及び出席、授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有・無</p> <p><b>【内容】</b> ピアノ講師としてのとしての実務経験有り</p>		

科目名		科目時間総数	教員名	
音楽表現技術		7.5 限	小玉 充子	
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1 限	コールユーブンゲン 六度音程	コンコーネ	歌曲 1年目からの継続で腹式呼吸・発声法を通して、イメージしながら表現することを習得する。四季折々に合わせて選曲しながら歌う。	幼児のうた (弾きうたい) ※ピアノ科目と連携しながら進める
2 限	↓ 七度音程			①全員で模唱 ↓ ②曲全体を通して歌えるように努力する
3 限				③歌と並行して片手づつ弾く→階名で歌いながら弾く→歌詞をつけて歌ってみる ※左手も同様にやってみる
4 限	長音階・転調	コンコーネ3～5番		④両手の練習→歌詞をつけてみる 十分に弾き込んでから ⑤一人づつ弾き歌い確認→仕上げ
5 限	↓ 短音階・転調			※どの曲も同様に進める
6 限	↓ 二短調・ハ短調	コンコーネ6番		
7 限	↓ まとめ			
7.5 限	↓	コンコーネ3～6番 まとめ		
<p>※コールユーブンゲン・コンコーネは、1曲終わるごとに個々に確認。 特にコールユーブンゲンは暗譜で確認する。</p>				

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 幼児と造形表現	<b>教員名</b> 深澤義博
<b>科目時間数</b> : 7.5 限	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> : 2年次 <span style="float: right;"><b>開講時期</b> : 前期・後期・<input checked="" type="checkbox"/>集中</span>
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  幼児・児童における表現や美術活動の意味と理解。又、充実した指導力向上を目指すものである。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  発達段階における表現活動や美術活動の理解とその過程における指導の観点を考える。制作、鑑賞、評価の理解も同時に考えることとする。絵画制作を通して教育とのつながりを体験する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。</p>	
	<b>使用教材</b>
学生用・教員用 共通	絵具 鉛筆 ケントブロック 他
	<b>出版社</b>
近畿大学九州短期大学通信教育部	
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席                      <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      発表態度</p>	
<p>評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/>有 無</p> <p><b>【内容】</b> 高等学校教員としての実務経験</p>	

科目名 幼児と造形表現		科目時間総数 7.5 限	教員名 深澤義博
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	教育としての絵本の意味と活用について	幼児教育に求められる物語のあり方。法規的絵本の位置など。	
2 限	個々の絵本制作。	色鉛筆を使用し教育内容を含めたオリジナルな絵本制作。	
3 限	”	”	
4 限	発表	読み聞かせ。	
5 限	グループ活動での絵本制作	グループでのオリジナルな絵本制作。アイデアのまとめ方や制作プロセス。	
6 限	”		
7 限	”		
7.5 限	発表	演劇的要素を入れて読み聞かせ。	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 教育心理学	<b>教員名</b> 嶋野 重行	
<b>科目時間数</b> : 7.5 限	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> : 1年次 <span style="margin-left: 50px;"><b>開講時期</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中</span>	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  子どもの学習行動を概念の獲得、筋道を立てて考える思考の形成、勉強の仕方、学習に対する意欲・自発性・態度・学習を肯定する価値観を軸にして教育心理学を考えることを目標にする。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  子どもの学習行動を概念の獲得、筋道を立てて考える、思考の形成、勉強の仕方、学習に対する意欲・自発性、態度・学習を肯定する価値観を軸にして教育心理学を考える。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	教育心理学	近畿大学九州短期大学通信教育部
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      <input checked="" type="checkbox"/> 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p><b>【内容】</b> 幼稚園園長としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
教育心理学		7.5 限	嶋野 重行
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	教育心理学の歴史と課題	教育心理学の歴史と影響を与えた主な理論について概観する。	
	発達とは	遺伝と環境、発達のとらえ方と理論について理解する。	
2 限	行動とは	S-R連合説、行動理論について理解する。	
	発達課題	ライフステージにおける発達課題について理解する。	
3 限	愛着	幼児期の愛着について理解する。	
	コミュニケーション	コミュニケーションとは何かについて理解する。	
4 限	動機づけ	興味関心と動機づけについて理解する。	
	言語と数量	ピアジェの理論を手がかりに言語と数量の概念について理解する。	
5 限	社会性の発達	社会的参照、向社会的行動、道徳性の発達について理解する。	
	絵・音楽・運動の発達	幼児期の絵、音楽、運動の発達について理解する。	
6 限	遊びの発達	幼児期・児童期の一人遊びから集団遊びについて理解する。	
	学級の人間関係	幼稚園・小学校での学級における人間関係について理解する。	
7 限	発達とは	知的・身体・精神・病弱虚弱など障害全般について理解する。	
7.5 限	発達障害とは	LD・ADHD・ASDと気になる子どもについて理解する。	



科目名 幼児の心理学		科目時間総数 7.5 限	教員名 東 信之
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	保育に生かす教育心理学・子どもの発達（愛着形成）	教育心理学について理解する。	
		子どもの成長発達（愛着形成を中心に）を理解し、促す教育の在り方を理解する。	
2限	子どもの学び、学習行動	遊びの中での学習について理解する。	
		基礎的な学習行動について理解する。	
3限	知的能力、パーソナリティの発達	知能とは何か、測定方法の基礎について理解する。	
		適応、不適応について理解し、実際の教育の場面で生かすことを理解する。	
4限	教育・保育評価、発達障害のある子ども	学習評価、保育評価について理解する。	
		発達障害について理解し、実際の指導場面で生かす方法を考える。	
5限	保育における集団と個人	集団が果たす役割について説明できる。	
		保育環境の果たす役割について理解できる。	
6限	幼・保・小との連携	保育指針から見える小学校との連携について理解できる。	
		就学前の気になる幼児について理解できる。	
7限	家族への教育的支援	家族への信頼感の醸成について理解できる。	
		カウンセリングの基本的な理論について理解できる。	
7.5限	登園しぶり、児童虐待、早期教育	不登校、登園しぶりの状況、背景について理解できる。	
		早期教育への理解を深めることができる。	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 健康(指導法)	<b>教員名</b> 松好 伸一	
<b>科目時間数:</b> 7.5	<b>限</b> <b>授業の種類:</b> 講義 ・ (演習) ・ 実習	
<b>必修・選択の別:</b> (必修) ・ 選択	<b>配当学年:</b> 1年次 <b>開講時期:</b> 前期 ・ 後期 ・ (集中)	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  幼稚園教育要領「健康」のねらい・目的を理解し、子どもの健康に必要な知識とその援助・技術を学ぶ。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  子どもの全面的な発達を促すために、人間の身体や健康、それにかかわる環境についての理解を深め、子どもの健康に必要な知識とその指導、援助の技術、技能を獲得する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通 〃	健康 <理論編> 幼稚園教育要領解説	教育情報出版 フレーベル
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度                  5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> (有) ・ 無</p> <p><b>【内容】</b> 保育士、幼稚園教諭としての実務経験</p>		

科目名 健康(指導法)		科目時間総数 7.5 限	教員名 松好 伸一
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	幼稚園教育要領の解説	幼稚園教育要領の領域「健康」について理解する	
	幼児期の特性について	幼児期の生活や発育・発達の仕方を理解する	
2 限	〃		
	幼稚園教育の基本	環境を通して行う教育について	
3 限	〃		
	領域「健康」・ねらいの解説	領域「健康」・ねらいの解説	
4 限	領域「健康」・内容の解説	領域「健康」・内容・内容の取扱いの解説	
	〃		
5 限	〃		
	〃		
6 限	〃		
	〃		
7 限	試験対策		
7.5 限	試験		

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 人間関係(指導法)	<b>教員名</b> 松好 伸一	
<b>科目時間数:</b> 7.5	<b>限</b> <b>授業の種類:</b> 講義・演習・実習	
<b>必修・選択の別:</b> 必修	<b>配当学年:</b> 3年次 <b>開講時期:</b> 前期・後期・ <u>集中</u>	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 領域「人間関係」に関する教育・保育内容及び指導に関する知識・技術を習得する。</li> <li>・ 子どもの発達を領域「人間関係」の観点で捉え、子どもの理解を深める。</li> </ul> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>子どもの人間関係をめぐる諸課題について理解を深め、領域「人間関係」の内容及び意義について学習する。また、子どもが単に集団にうまく適応することのみを問題にするものではなく、「他者理解」を通して人の豊かなかかわり経験することの意義を学ぶ。人との豊かなかかわりを育てる保育者としての役割について学習する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園教育要領および保育所保育指針の領域「人間関係」を熟読すること。</li> <li>・ 授業中、指示された課題をまとめて提出すること。</li> </ul>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
	資料配布	
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      <u>4. 視聴覚室</u></p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p><u>1. 筆記試験</u>                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：授業への積極的参加（発表等）30%      試験70%</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <u>有</u> 無</p> <p><b>【内容】</b> 幼稚園教諭・保育士としての実務経験</p>		

科目名 人間関係(指導法)		科目時間総数 7.5 限	教員名 松好 伸一
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	領域について	領域「人間関係」の観点	
		領域「人間関係」のねらいと内容とはなにか	
2 限	安心感と信頼感	自己の形成と他者理解	
		〃	
3 限	自己表出	集団における自己の発達	
		〃	
4 限	自己発揮と自己抑制	社会性の発達と遊び	
		協力・競争・排除	
5 限		〃	
	道徳性・規範意識の芽生え	思いやりと道徳性の芽生えと集団生活に必要な規範	
6 限	友達との関わり	こどものコミュニケーション	
		〃	
7 限	内面理解	保育者の役割と指導について	
		〃	
7.5 限	まとめ	まとめ	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 幼児と健康	<b>教員名</b> 高橋 裕貴子	
<b>科目時間数</b> : 7.5	<b>限</b> <b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 2年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今の時代を生きる子どもたちに対する運動遊びの持つ教育的意義について説明のできる</li> <li>・ 各種の運動遊びを素材とした指導計画を作ることができる</li> <li>・ 運動遊びの「ねらい」お実現するために必要な効果的な指導技術を習得する</li> </ul> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>幼児期の運動遊びを追体験することを通して、保育者として必要な運動遊びのレパートリーを増やす事と、バリエーションの広げ方を理解すると共に、運動遊びの指導に必要な保育技術についても検討し、実践的指導力の向上を目指す。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>乳幼児期のそれぞれの段階の発達の特徴について理解を深める。          運動あそびのバリエーションを増やし安全に指導が出来る。          運動遊びを素材とした指導計画を作ることが出来る。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
	からだの土台を作る運動遊び100	中央法規
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (協力幼稚園)</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有・無</p>		
<p><b>【内容】</b></p>		

科目名		科目時間総数	限	教員名
幼児と健康		7.5		高橋 裕貴子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1 限	乳幼児期の運動発達と健康について	それぞれの年齢に応じた発達度合を理解し、適した運動遊びを学ぶ		
2 限	様々な運動遊びの実践①	実際に運動遊びを体験する		
3 限	様々な運動遊びの実践②	グループワークを取り入れ、グループごとに運動遊びの発表をする		
4 限	様々な運動遊びの実践③	〃		
5 限	様々な運動遊びの実践④	〃		
6 限	様々な運動遊びの実践⑤	〃		
7 限	様々な運動遊びの実践⑥	〃		
7.5 限	まとめ	学んだことの振り返りをする。		



科目名		科目時間総数	教員名
教育原理		15 限	東 信之
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	教育とは何か(教育の本質)	教育の意味、「教育」と「学習」について理解する。	
		人生観、社会観が及ぼす教育観の相違、「教育の限界」について考えてみる。	
2限	教育の目的	子どもの成長発達を理解し、促す教育の在り方を理解する。	
		「権利としての教育」について理解する。	
3限	子どもの生存権と社会	「生命の尊重とは」「子どもの生存権」について、いろいろな視点から考えてみる。	
		「多様な家庭」における子育て、行政における子育て支援についてを理解する。	
4限	環境と教育	「環境」と「遺伝」、「環境」と操作について理解する。	
		教育の価値観、教育の可能性と限界について考えてみる。	
5限	教育思想と子どもの活動	ルソー、ペスタロッチ・フレーベル・倉橋惣三等の思想について理解する。	
		子どもの遊びの意義や感覚訓練等について理解する。	
6限	日本の教育の歩み	現在の子どもの実態と課題について考えてみる。	
		「学校」という学びの場の変遷と「子どもの遊」びについて理解する。	
7限	日本の教育制度	単線型、複線型について理解できる。	
		近年の教育制度改革について考えてみる。	
8限	保育・教育制度	保育の歩みについて理解できる。	
		幼保一元化の道のりについて理解する。	
9限	教職とはなにか	教育現場の実際（日常業務から学級経営、行事計画等）について理解する。	
		子どもの支援・カウンセリングについて理解する	
10限	教育の方法と内容	幼稚園教育要領、学習指導要領について理解できる。	
		幼児教育、特別支援学校における「遊び」の指導について理解できる。	
11限	教育課程（カリキュラム）と評価	幼稚園、小学校、特別支援教育のカリキュラムについて理解できる。	
		学習評価について理解できる。	
12限	教育と福祉	教育と福祉、医療機関との連携について考えてみる。	
		様々な福祉サービスについて理解する。	
13限	教職の専門性	教職の専門性の問題について考えてみる。	
		教育者の資質や専門性を支える教師の研修について理解する。	
14限	障がいとはなにか	様々な障害種について理解する。	
		近年の発達障がい、LD、ADHD等について理解する。	
15限	現代における教育の課題と教育観について	家庭の教育力の低下とどのような家庭教育が求められているかを考えてみる。	
		幼児教育（保育）について意見を述べあう。	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 造形表現（指導法）	<b>教員名</b> 深澤 義博	
<b>科目時間数</b> ： 22.5 <small>（スクーリング舎）</small> 限	<b>授業の種類</b> ： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： 必修・選択	<b>配当学年</b> ： 1年次 <b>開講時期</b> ： 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  幼児の造形の発達に関する絵画と構成の表現活動を、自らの造形活動を通して学ぶ。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  幼児の造形の発達に関する内容や実践的な表現活動内容の研究を行い、幼児の造形活動に対して適切な援助と教育を行える能力を養成する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。</p>		
	使用教材	出版社
学生用・教員用 共通	造形表現指導法	近畿大学九州短期大学通信教育部
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（                      ）</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有・無</p> <p><b>【内容】</b> 高等学校教員としての実務経験</p>		

科目名 造形表現（指導法）		科目時間総数 15 限	教員名 深澤 義博
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	1、風景画	学校周辺のからの風景を写生する	
2 限		写生の主題決定→場所選定→下書き（レイアウト）	
3 限		〃	
4 限		①主と従 ②目線の位置 ③遠近感	
5 限		着彩 ①淡彩から不透明水彩	
6 限		着彩 ②混色、重色、補色	
7 限		着彩 ③タッチ、点描技法等の工夫	
8 限		着彩完成、鑑賞、自己評価	
9 限	2、自然物からのデザイン	対象物の観察（断面も含め）	
10 限	（平面構成）	対象物からの印象をもとに下書き	
11 限		（レイアウト、強張、デフォルメ、直線・曲線）	
12 限		着色 （混色、重色、グラデーション、濃淡、タツ）	
13 限		〃	
14 限		〃	
15 限		着色完成、鑑賞、自己評価	

科目名	造形表現（指導法）	科目時間総数	7.5 限	教員名	深澤 義博
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容			
1 限	①自己表現	名前をデザインする。			
2 限	〃	提出と評価。			
3 限	②自己表現	模様をつくる。			
4 限	〃	提出と評価。			
5 限	③自己表現	思い出とイメージ。			
6 限	〃	提出と評価。			
7 限	立体表現	好きな魚を制作する。平面、立体による複合制作。			
8 限	〃	〃			
9 限	〃	提出と評価。			
10 限	イメージ表現	不思議な動物の立体表現			
11 限	〃	〃			
12 限	〃	〃			
13 限	不思議な動物プレゼン	提出と評価。			
14 限	制作活動について	各種課題から指導法への展開とまとめ。			
15 限	美術教育について	まとめのレポート。幼児教育において造形表現の意味とは。			

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 音楽表現（指導法）	<b>教員名</b> 小玉充子	
<b>科目時間数</b> ： 7.5 限	<b>授業の種類</b> ： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： 必修・選択	<b>配当学年</b> ： 1年次 <b>開講時期</b> ： 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  実践的表現活動（オペレッタ）を通して、音楽表現の分野について幅広い知識と柔軟性に富んだ発想力、表現力を身に付ける。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  創造豊か、感情豊かな成長のために求められる保育の環境設定や援助法について、実践的表現活動（オペレッタ）を通して学ぶ。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
プリント資料適宜配布		
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（音楽室A・B）</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度                  5. 実技試験                      6. その他（                      ）</p>		
<p><b>【備考】</b></p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 無  <b>【内容】</b> ピアノ講師としてのとしての実務経験有り</p>		

科目名 音楽表現(指導法)		科目時間総数 7.5 限	教員名 小玉 充子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	作ろうオペレッタ(I) (タイトル未定)	(1日目)	当日までにやっておくこと
2 限		・全員で台本を読み合わせる ・歌唱部分を全員で練習 ・グループごとに配役を決める ・役ごとに読み合わせ→歌ってみる ・舞台の背景(美術)衣装、小物などをアイディアを出しながら作製開始 ・それぞれを作製しながらも歌、せりふの練習は続ける	(備考)約2週間前に資料を配布する ・グループを決める ・配役は事前に決めておいたほうが良い ・伴奏者、リーダー(1名)を決めておく ・伴奏者は練習しておくこと ・あらかじめ材料を調達しておくこと ・スムーズに行く
3 限		・伴奏者は練習しながらも、作製している人のためにBGMとして流す ・伴奏の練習を休んでいるときは、一緒に作製する	
4 限		全員集合して歌唱練習(ここまでの伴奏は講師。台本を暗記、暗譜してくる)	
5 限		(2日目)	
6 限	作ろうオペレッタ(II)	・全員集合して歌唱練習(ここからは、伴奏者全員で弾く) ・グループに分かれて美術の仕上げ作業→振付の確認をする	
7 限		振付けの仕上げに向けてまとめる(決定)	
7.5 限		最終リハーサル(グループごとの時間の割り振り当日決める)	講師より助言する
		全員集合して発表する 片付け→清掃して解散(最後までしっかりやる)	終了後、全員で後 講師より講評する

※後日提出で、感想、反省点のレポートを書かせる(全員)

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 環境（指導法）	<b>教員名</b> 松好 伸一	
<b>科目時間数</b> ： 7.5 限	<b>授業の種類</b> ： <input type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> ： 1年次 <b>開講時期</b> ： <input type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                      1. 幼稚園や施設などで、遠足や自然探索の目的で利用される動物公園が、どのような施設であるのかを知り、その役割を推察する。2. 幼児や老人、障害者と動物を触れ合わせるために、保育者や援助者はどんなことに留意し、援助していかなければならないかを学ぶ。3. 自然の中で、学生自身が観察・発見をすることによって、自然と人間との共存や環境を守る大切さを実感する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                      子どもを取り巻く環境の変化を把握し、子どもたちの生きる力を培うための保育の工夫、自然体験、社会体験などの具体的生活体験を重視した保育、特に子どもと自然とのかかわりを深める保育の実践的指導能力の育成を目指す。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                      当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	事例で学ぶ保育内容「環境」	萌文書林
<p><b>【使用教室】</b>  <input checked="" type="checkbox"/> 1. HR      2. 介護実習室      3. 家政実習室      4. 視聴覚室                      5. PC実習室      6. 接遇実習室      7. その他（盛岡市動物公園）</p>		
<p><b>【評価方法】</b>  <input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験      <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート      3. 出席      <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度                      5. 実技試験      6. その他（ ）</p>		
<p><b>【備考】</b>                      出席、態度、意欲、レポート、実践発表の総合点、60点以上を合格、単位認定。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無  <b>【内容】</b> 幼稚園教諭としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
環境(指導法)		7.5 限	松好 伸一
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	動物公園の動物、自然環境、役割等の実地調査と観察	盛岡市動物公園体験学習	
		公園内の動物の生態観察と公園散策・調査	
2 限		自然観察・調査、昆虫採集	
		動物公園の職員によるレクチャー	
3 限	実地調査、観察についてレポート作成	・小動物の飼育について（パワーポイント）	
		・動物園の役割や仕事内容について学ぶ	
4 限		うさぎ等に実際に触れる直接体験	
		「動物公園見学の感想と考察」	
5 限	グループワーク「ネイチャーゲーム」の考案	・子どもと環境について考察する。	
		・動物公園の役割について考察する。	
6 限	まとめ	「動物の生態のまとめ」	
		ネイチャーゲームを考える（グループワーク）	
7 限		ネイチャーゲームの提案と実践	
		自分に似た葉の発表会	
7.5 限		子どもと自然とのかかわりについて検証する。	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 言葉（指導法）	<b>教員名</b> 阿部 温子	
<b>科目時間数</b> ： 7.5 限	<b>授業の種類</b> ： <u>講義</u> ・ <u>演習</u> ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： <u>必修</u> ・ 選択	<b>配当学年</b> ： 1年次 <b>開講時期</b> ： 前期・後期・ <u>集中</u>	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育内容「言葉」を理解し、言語環境の構成・言葉の力を育む指導を実践できるようになる。</li> <li>・ いろいろな児童文化財を学び実践する中で、言語表現の技法を高めていく。</li> </ul> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>保育内容「言葉」の目標・ねらい・内容を理解し、保育者としての子どもとの関わり方について技法を学び、実践できる力を身に付ける。（講義・実技講演・創作絵本の実施）</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技法等について学び、その技法を実践できるようになる。</li> <li>・ 児童文化財の活用を通して保育を構想することが出来る。</li> </ul>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	[新訂]子どもと言葉	萌文書林
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      <u>4. 視聴覚室</u></p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（                      ）</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      <u>2. レポート</u>                      <u>3. 出席</u>                      <u>4. 授業態度</u></p> <p>5. 実技試験                      <u>6. 提出物</u></p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>①出席・態度・意欲—30点      ②創作絵本提出—30点      ③レポート—40点 合計100点中60点以上 合格</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <u>有</u> 無</p> <p><b>【内容】</b> 幼稚園教諭としての実務経験</p>		

科目名		言葉（指導法）	科目時間総数	7.5 限	教員名	阿部 温子
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容			
1	限	言葉の発達の重要性について知る	オリエンテーション 講義の全体像			
2	限					
3	限		子どもの発達における絵本の役割について知る			
4	限	絵本の創作				
5	限	↓				
6	限	↓				
7	限	絵本の発表会	各自創作した絵本を見合いながら、絵本の良さ、大切さ等を学ぶ			
7.5	限	まとめ	講義のまとめと確認のレポート			

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 乳児保育 I	<b>教員名</b> 諏訪 泉
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 3年次
<b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 乳児の発達の意味を知り、毎日の活動の一つ一つがより良いものとなるよう環境を整え、必要な援助について学び、保育者の役割を理解する</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 3歳未満児の発育発達と発達課題、保育の内容、保育の実践の方法を学習し、知識と技能の基礎を身につけ、子どものあるがままの姿を捉え、保育することができる力を養う。子育てを担う保護者を支援する者としての保育者の役割を考え、保護者の良き理解者としての知識や技能を習得する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>	
<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	『乳児保育 I』保育士を育てる⑤ 一藝社
<p><b>【使用教室】</b> 1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>	
<p><b>【評価方法】</b> 1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>	
<b>【備考】</b>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無</p> <p><b>【内容】</b> 保育士としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
乳児保育 I		15 限	諏訪 泉
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション	講義内容と乳児保育の重要性	
	保育理論	乳児保育とは	
2 限		社会の変化と乳児保育の変遷	
		社会の変化と乳児保育の変遷	
3 限		乳児保育の役割と機能	
		乳児保育の役割と機能	
4 限		乳児保育における養護と教育	
		乳児保育における養護と教育	
5 限	実践と向き合う	保育所における乳児保育	
		保育所における乳児保育	
6 限		児童福祉施設における乳児保育	
		児童福祉施設における乳児保育	
7 限		地域型保育事業等における乳児保育	
		地域型保育事業等における乳児保育	
8 限	子育て支援	乳児が育つ家庭への子育て支援	
		乳児が育つ家庭への子育て支援	
9 限	保育士としての視座	乳児保育の基本的姿勢	
		乳児保育の基本的姿勢	
10 限		乳児保育と保育者の役割り	
		乳児保育と保育者の役割り	
11 限	実際の保育から	乳児期の生活と環境	
		乳児期の生活と環境・乳児期の遊びと環境	
12 限		乳児期の遊びと環境	
		乳児期から移行期への保育	
13 限		乳児期から移行期への保育	
		乳児保育における計画・記録・評価	
14 限		乳児保育における計画・記録・評価	
		乳児保育における連携と協働	
15 限	今後の乳児保育	乳児保育の質を高める取り組み	
		まとめ	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 乳児保育Ⅱ	<b>教員名</b> 松好 伸一	
<b>科目時間数</b> ： 7.5 限	<b>授業の種類</b> ： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： 必修・選択	<b>配当学年</b> ： 3年次	
<b>開講時期</b> ： 前期・後期・集中		
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 乳児を取り巻く社会的環境・状況を把握し、乳児の豊かな発達を保障するための保育者としての役割を実践と新聞作成を通し、理解を深める</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 3歳未満児の発育発達と発達課題、保育の内容、保育の実践の方法を学習し、知識と技能の基礎を身につけ、子どものあるがままの姿を捉え、保育することができる力を養う。子育てを担う保護者を支援する者としての保育者の役割を考え、保護者の良き理解者としての知識や技能を習得する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	『乳児保育Ⅱ』保育士を育てる⑥	一藝社
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>出席、授業態度、意欲、提出物、小テストにて評価</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b>                      有                      ・                      無</p> <p><b>【内容】</b> 保育士、幼稚園教諭としての実務経験</p>		

科目名 乳児保育Ⅱ		科目時間総数 7.5 限	教員名 松好 伸一
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限		オリエンテーション、授業内容説明	
	理論と実践	乳児保育の基本	
2 限		乳児期の養護の実践	
		乳児期の子どもの学び	
3 限	計画	乳児保育における指導計画の実際	
		乳児期の健康と安全	
4 限	実際の保育	6か月未満児の保育・生活と遊び	
		7か月～1歳未満児保育	
5 限		7か月～1歳未満児の生活と遊び	
		1歳児の保育・生活と遊び	
6 限		2歳児の保育・生活と遊び	
	様々な乳児保育	地域型保育事業等における乳児保育	
7 限		特別な配慮を必要とする乳児の保育	
		乳児保育の課題と対応	
7.5 限	確認テスト	まとめ	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育実習Ⅱ	<b>教員名</b> 橋場 早苗
<b>科目時間数</b> : 45	<b>限</b> <b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>
<b>必修・選択の別</b> : 必修・ <u>選択</u>	<b>配当学年</b> : 3年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・ <u>集中</u>
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 1. 今までの実習経験を活かしつつ、保育現場での実践体験を通して、保育者の働きを学び、保育者を志すものとしての自身の課題に向き合う。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。既習の知識や経験を踏まえ、子ども保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解する。保育士としての自己の課題を明確化する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>	
	<b>使用教材</b>
学生用・教員用 共通 ”	保育実習 保育園実習日誌
	<b>出版社</b> 中央法規 県内保育者養成校
<p><b>【使用教室】</b> 1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室              6. 接遇実習室                      <u>7. その他</u> ( 実習園</p>	
<p><b>【評価方法】</b> 1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      <u>6. その他</u> ( 実習評価</p>	
<p><b>【備考】</b> 評価について：実習評価により評価する。</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <u>有</u> 無 <b>【内容】</b> 保育士としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
保育実習Ⅱ		45 限	橋場 早苗
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
45 限	子ども理解と援助方法	①子どもの育ちを理解し、それに応じた保育士の援助や役割、及び 保育の内容や展開について学ぶ	
		②その場に応じた子どもへの対応と保育について理解する	
		・自由遊びの子どもの	
		・延長保育の子どもの様子	
		・障がいを持つ子どもの支援の実際	
		・問題のある子どもや保護者に対する対応について	
		③母子・父子家庭への支援について	
		④延長保育・休日保育・育児相談など子育て支援事業の理解	
	部分実習	⑤保育の計画 指導案の立案	
		・実習指導者の指導に従い、子どもの様子、クラスの様子を理解し 立案する。	
		・朝の会・帰りの会・設定保育・給食時間等の時間を受け持つ	
	全日実習	⑥保育の計画 指導案の立案	
		・保育士としての自己の課題を明確化する	
		・子どもの動き、心をくみ取り、臨機応変な保育方法を学ぶ	
		・個々の発達理解と集団としての行動の在り方の理解	
	自己課題達成	⑦家庭支援を含めた多様な保育所の機能や社会的役割とその意味に ついて学ぶ	
		⑧乳幼児保育について考え、子どもの最善の利益にかんがみた子ども 観・保育観を身に付ける。	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育実習Ⅲ	<b>教員名</b> 竹内 愛美	
<b>科目時間数</b> ： 45 限	<b>授業の種類</b> ： 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>	
<b>必修・選択の別</b> ： 必修・ <u>選択</u>	<b>配当学年</b> ： 3年次 <b>開講時期</b> ： 前期・後期・ <u>集中</u>	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 施設を取り巻く家庭と地域の生活実態にふれ、家庭福祉ニーズに対する理解力を深め、子育てを支援するために必要とされる能力を養うことを目的とする。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 児童福祉施設等（保育所以外）の役割や機能について実践を通して、理解を深める。家庭と地域の生活実態にふれて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解する。保育士としての自己の課題を明確化する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通 ”	保育実習事前指導 【保育実習Ⅲ】施設実習日誌	近畿大学九州短期大学通信教育部 ”
<p><b>【使用教室】</b> 1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      <u>7. その他</u>（実習施設）</p>		
<p><b>【評価方法】</b> 1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      <u>6. その他</u>（実習評価）</p>		
<p><b>【備考】</b> 評価について：実習評価により評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <u>有</u> 無 <b>【内容】</b> 障害児施設職員としての実務経験</p>		

保育実習Ⅲ		科目時間総数 45 限	教員名 竹内 愛美
教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容	
45限	児童（利用者）の最善の利益への配慮について理解	実習施設の理念、目標等から、その意味を理解 保育士の援助の方法や対応から、その姿勢を理解	
	養護・支援全般に参加し、養護・支援技術を習得	施設の養護・支援活動に参加し、技術を習得 保育士の職務を理解し、日々の生活を通してその役割を習得	
	養護・支援全般に参加し、養護・支援技術を習得	施設の養護・支援活動に参加し、技術を習得 保育士の職務を理解し、日々の生活を通してその役割を習得	
	児童（利用者）の個人差、ニーズについて理解、その対応方法を習得	児童（利用者）に共感し、受容する態度を習得 児童（利用者）の個人差に応じた対応方法の習得	
	児童（利用者）の個人差、ニーズについて理解、その対応方法を習得	児童（利用者）の発達の違いに応じた支援方法を理解 生活環境に伴うニーズの理解	
	援助計画の理解	ケース記録の閲覧、個別支援計画の理解 立案方法の理解	
	家庭とのコミュニケーションの方法を具体的な事例を通して理解	日常の保護者との対応を通してコミュニケーションの方法を理解	
	地域社会との連携について具体的に理解	地域の子育てニーズと施設の役割について理解 地域支援事業等の実際に触れ、地域の保育ニーズを理解	
	施設保育士として職業倫理を理解	守秘義務の遵守について实际的に理解 保育士の具体的な職業倫理について理解	
	自己の課題を明確化する	施設保育士に必要な資質や支援技術について理解 実習を総括し、実習を通して得た問題や課題を確認	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育実習事前事後指導Ⅱ	<b>教員名</b> 諏訪 泉	
<b>科目時間数</b> : 3.75 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・ <u>選択</u>	<b>配当学年</b> : 3年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・ <u>集中</u>	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>既習の内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解を深め、指導計画の作成や記録などの保育の実践力を養う。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>既習の内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解を深め、指導計画の作成や記録などの保育の実践力を養う。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通 ”	保育実習 【保育実習Ⅱ】保育園実習日誌	中央法規 県内保育士養成校統一様式
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. <u>HR</u>                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p> <p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. <u>筆記試験</u>                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p> <p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79~70点)C(69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <u>有</u> 無</p> <p><b>【内容】</b> 保育士としての実務経験</p>		

科目名 保育実習事前事後指導Ⅱ		科目時間総数 3.75 限	教員名 諏訪 泉
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	保育所理解	・DVDと講義で保育所の機能と役割の理解を深める	
	乳幼児の発達と理解	・DVDと講義で乳児の発達への理解を深める	
	”	・DVDと講義で1歳半～3歳までの発達への理解を深める	
2 限	”	・DVDと講義で3歳児の発達への理解を深める	
	”	・DVDと講義で4歳～就学までの発達への理解を深める	
	子どもの理解と 保育士の役割	・行動と障がいの理解と関わりについて	
3 限	”	・集団の援助と個別の援助	
	”	・写真でのワークやロールプレイを通し、子どもの気持ちと具体的な関わりに気がつく	
3.75 限	”	・保育教材について	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育実習事前事後指導Ⅲ	<b>教員名</b> 高橋立	
<b>科目時間数</b> : 3.75 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・ <u>選択</u>	<b>配当学年</b> : 2年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・ <u>集中</u>	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>既習の内容を基盤に、実習施設の理解、子ども（利用者）や家庭への支援について理解を深め、援助の方法や支援のあり方など実践力を養う。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>既習の内容を基盤に、実習施設の理解、子ども（利用者）や家庭への支援について理解を深め、援助の方法や支援のあり方など実践力を養う。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	保育実習事前指導	近畿大学九州短期大学通信教育部
" "	【保育実習Ⅲ】施設実習日誌	" "
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. <u>HR</u>                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. <u>筆記試験</u>                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <u>有</u> 無</p> <p><b>【内容】</b> 障害児施設職員としての実務経験</p>		

科目名 保育実習事前事後指導Ⅲ		科目時間総数 3.75 限	教員名 高橋立
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	実習課題の設定	実習研究で学んだ実習に求められる内容に即した実習課題の設定	
		設定された実習課題を「動機」「課題達成方法」に分類し、実習計画に盛り込む	
2 限		実習後における、自身の実習体験の振り返りと実習課題の考察	
		設定された実習課題を「動機」「課題達成方法」に分類し、実習計画に盛り込む	
3 限	実習課題の考察	実習後における、自身の実習体験の振り返りと実習課題の考察	
	実習報告書の作成	実習報告会に向けた実習報告書の作成	
3.75 限	実習報告会	実習報告会	

科目名 幼児と言葉		教員名 阿部 温子	
科目時間数： 7.5 限		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・選択		配当学年：1年次	開講時期： 前期・後期・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> この科目は、5領域を理解し、保育を総合的に計画・実践するための専門科目であり、他の領域と関連付けながら、領域「言葉」のねらい及び内容の理解を深め、幼児の興味関心や発達を踏まえた上で、言葉の力を伸ばす保育を構想する力の修得を目指す。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> ・幼児教育の基本と領域「言葉」のねらい及び内容を理解した上で、「言葉」の持つ機能・役割を学び、各年齢ごとの言葉の獲得・発達過程・指導援助のあり方を具体的に考察する。また、園生活での遊び、子どもの様子などの写真や動画を取り入れ、それぞれの場面における子どもの表情や言葉を通して、幼児理解を深める。 ・言葉を通して心を育む児童文化の種類・役割・技法等を学ぶ。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目において、保育専門職として必要な知識と技法等について学び、その技法を実践することができるようになる。</p>			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	[新訂]子どもと言葉	萌文書林	
<p><b>【使用教室】</b> 1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>			
<p><b>【評価方法】</b> 1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他 (                      学習状況 ※実習評価に含める</p>			
<p><b>【備考】</b> ①出席・態度・意欲—30点      ②試験—50点      ③提出物—20点 合計100点中60点以上 合格</p>			
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b>有・無</p>			
<p><b>【内容】</b>幼稚園教諭としての実務経験</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
幼児と言葉		7.5 限	阿部 温子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	人の生活と言葉	子どもにとって言葉とは言葉の意義と機能を学ぶ	
2 限	子どもの言葉の発達過程	誕生から幼児期後期までの言葉の発達過程を理解する	
3 限		幼児の言葉の発達と子ども同士の相互作用について学ぶ	
4 限	領域「言葉」のねらいと内容	領域「言葉」のねらいと内容について学ぶ	
5 限	児童文化財について	子どもの発達における児童文化財の役割について知る	
6 限		児童文化財を通しての援助と関わり	
7 限	試験		
7.5 限	学びの再確認	試験の見直しをして学びの再確認をする	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 幼児と人間関係	<b>教員名</b> 阿部 温子
<b>科目時間数:</b> 7.5 限	<b>授業の種類:</b> 講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別:</b> 必修・選択	<b>配当学年:</b> 1年次
<b>開講時期:</b> 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 現代の幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、自分なりの考えを持ち、他人の意見と比較しながら学びを深めていくようにする。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 幼児を取り巻く人間関係を把握し、領域「人間関係」の基礎的知識を身に付け、他者との関係や集団との関係の中で人と関わる力が育つことを理解する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 領域「人間関係」における基礎的事項を理解し、保育者の援助などについて具体的な知識・技術の基礎を習得できるようになる。</p>	
	<b>使用教材</b>
学生用・教員用・共通	幼児と人間関係
	<b>出版社</b>
	同文書院
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>	
<p><b>【備考】</b></p> <p style="text-align: center;">*筆記試験で60点以上、授業態度、演習問題等で総合的に評価する</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b>                      有                      ・                      無</p>	
<p><b>【内容】</b>                      幼稚園教諭としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
幼児と人間関係		7.5 限	阿部 温子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	領域「人間関係」とは？	現代社会と幼児の人間関係について	
	〃	領域「人間関係」のねらいと内容	
2 限	保育者の関わり方について	個と集団の育ち、保育者の関わり方	
	〃	〃	
3 限	〃	保育者としての「集団づくり」	
	〃	対話から生まれる「協同的な学び」	
4 限	幼児理解と評価	関わりを通じた幼児理解と評価の視点	
	〃	〃	
5 限	多様な子ども支援	特別な支援を必要とする子ども理解と援助	
	〃	子どものそだちに対する家庭の影響	
6 限	幼保・小の連携	幼児教育・保育と小学校との接続の課題	
	〃	〃	
7 限	子どもにおける性の課題	性の多様性と保育者の援助	
	多文化共生世界における課題	幼児教育における多文化共生	
7.5 限	〃	まとめ	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 幼児と環境	<b>教員名</b> 松好 伸一	
<b>科目時間数</b> : 7.5 限	<b>授業の種類</b> : <u>講義</u> ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : <u>必修</u> ・ 選択	<b>配当学年</b> : 1 年次 <b>開講時期</b> : <u>前期</u> ・ 後期 ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児教育の基本及び領域「環境」のねらいと内容を理解する。</li> <li>・ 「環境とかかわる力」の発達について理解する。</li> <li>・ 自然環境や社会環境などの具体的生活体験を重視した保育を設定し実践する。</li> </ul> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>幼児教育の基本及び領域「環境」のねらい・内容・変遷について学修する。「環境にかかわる力」の発達について学修する。保育の実践例を通して具体的生活体験を重視した保育、特に子どもの自然とのかかわりを深める保育を自ら設定する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>自然環境や社会環境などの具体的生活体験を重視した保育、特に子どもの自然との関わりを深める保育を自ら設定して実践的に指導できる。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
	テキスト「最新保育講座9 保育内容「環境」	ミネルヴァ書房（2019年）
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. <u>HR</u>                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（                      ）</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. <u>筆記試験</u>                      2. <u>レポート</u>                      3. 出席                      4. <u>授業態度</u></p> <p>5. 実技試験                      6. <u>その他</u>（                      ）</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：試験・レポートの点数、及び授業態度を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <u>有</u> 無</p> <p><b>【内容】</b> 幼稚園教諭・保育士としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
幼児と環境		7.5 限	松好 伸一
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	第1章 幼児教育の基本(p11～p16)  春の生活と活動	環境を通しての教育(p17～p23)  保育者のさまざまな役割(p25～p32)  戸外活動「春の自然散策」虫探し&植物採集	
2 限	第2章 子どもの育ちと領域「環境」(p35～40)  第3章 自然に親しみ、植物や生き物に触れる(p49～p52)  夏の生活と活動	具体的事物とのかかわり(p42～46)  自然を取り入れてあそぶ(p55～p61)  植物を育てる(p63～p70)  生き物に親しみ、命を大切に(p67～p70)	
3 限	第4章 ものや道具にかかわって遊ぶ(p73～p83)  秋の生活と活動	集団あそびの環境づくり  ものの性質や仕組みに気づく(p86～p92)	
4 限	第5章 文字や標識、数量や図形に関心をもつ(p101～p110)  「環境」指導の実際	身近なものを大切に、公共心を育む(p95～p97)	
5 限	第6章 遊びや生活の情報に興味をもち、地域に親しむ(p127～)	数や数字に親しむ(p112～p124)  遊びのなかで情報を使う(p137～p145)	
6 限	第7章 子どもと環境のかかわりをとらえる視点(p155～p163)	日本の文化や異なる文化に触れる(p148～p152)  好奇心をもつ、探求する(p164～p169)	
7 限	第8章 幼児教育の現代的課題と領域「環境」(p173～p179)  冬の生活と活動	現代社会における子どもと環境(p180～p189)  理想の保育室の環境図	
7.5 限		領域「環境」のまとめ	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 図画工作Ⅱ	<b>教員名</b> 深澤 義博
<b>科目時間数</b> ： 15 限	<b>授業の種類</b> ： 講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> ： 必修・選択	<b>配当学年</b> ： 1年次
<b>開講時期</b> ： 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  絵画・立体造形・色彩と構成に関して基礎知識と表現技術を学び、幼児の造形活動に対して適切な援助と造形教育を行える能力を養う。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  幼児の造形教育に携わる者にとって必要とされる絵画・立体造形・色彩と構成に関する基礎知識と表現技術について学び、幼児の造形活動に対して適切で充実した援助と造形教育を行える能力を養成する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。</p>	
	<b>使用教材</b>
学生用・教員用 共通	図画工作
	<b>出版社</b>
	近畿大学九州短期大学通信教育部
<p><b>【使用教室】</b>                  1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>	
<p><b>【評価方法】</b>                  1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度                  5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>	
<p><b>【備考】</b>                  評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 無  <b>【内容】</b> 高等学校教員としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
図画工作Ⅱ		15 限	深澤義博
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1 限	オリエンテーション	美術教育についてと理解 他	
	課題説明①	明度段階（7段階）色鉛筆	
2 限	課題①	合評会と理論	
	課題説明②	名前からの発想（レタリング）色彩の魅力 色鉛筆	
3 限	課題②	合評会と理論	
	課題説明③	色彩対比（2色対比・7段階）色鉛筆	
4 限	課題③	合評会と理論	
	課題説明④	明度段階（7段階）絵具	
5 限	課題④	合評会と理論	
	課題説明⑤	色彩対比（2色対比・7段階）絵具	
6 限	課題⑤	合評会と理論	
	課題説明⑥	顔（ハイコントラスト表現）絵具 色鉛筆	
7 限	課題⑥	課題⑥の制作	
	課題⑥	課題⑥の制作	
8 限	課題⑥	合評会と理論	
	課題説明⑦	イメージの表現（直線による季節表現）絵具	
9 限	課題⑦	課題⑦の制作	
	課題⑦	合評会と理論	
10 限	課題説明⑧	イメージ表現（曲線による音表現）	
	課題⑧	課題⑧の制作	
11 限	課題⑧	合評会と理論	
	課題説明⑨	デッサン（手を描く 色鉛筆 絵具 他）	
12 限	課題⑨	課題⑨の制作（着彩）	
	課題⑨	合評会と理論	
13 限	課題説明⑩	写実絵画からの展開（不思議な手 絵具 色鉛筆 他）	
	課題⑩	課題⑩の制作	
14 限	課題⑩	合評会と理論	
	課題説明⑪	表情の立体化（おめん制作 絵具 紙皿 ボンド 他）	
15 限	課題⑪	課題⑪の制作	
	課題⑪	合評会と理論 まとめ レポート	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 社会福祉	<b>教員名</b> 細 田 重 憲
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	<b>配当学年</b> : 1年 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  社会福祉は、保育や子育て支援、介護、障害者支援、生活保護など広汎な分野で私たちの生活を支えている。社会福祉の歴史と理念、制度の概要、援助のための組織と技術などを理解することにより、保育士としての視点の形成や多職種他連携の必要性理解などの下地をつくりたい。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  社会福祉の総論（理念、歴史、実施体制、実施組織など）と各論（高齢者、障害者などの分野別、専門職、専門的技術）について大まかに学んでいく。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  社会福祉の総論（理念、歴史、実施体制、実施組織など）と各論（高齢者、障害者などの分野別、専門職、専門的技術）について大まかに学んでいく。</p>	
	使用教材
	出版社
	「コメディカルのための社会福祉概論」第4版 講談社
<b>【使用教室】</b>	
1. HR	2. 介護実習室
5. PC実習室	6. 接遇実習室
	3. 家政実習室
	7. その他 ( )
4. 視聴覚室	
<b>【評価方法】</b>	
1. 筆記試験	2. レポート
5. 実技試験	6. その他 ( )
	3. 出席
	4. 授業態度
<b>【備 考】</b>	
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。	
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	
<b>【内容】</b> 福祉相談センター所長としての実務経験	

科目名		科目時間総数	教員名
社会福祉		15 限	細田重憲
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション 社会福祉とは ①	○ 学習目的、範囲、授業の進め方、参画の仕方を理解する ○ 社会福祉という言葉の意味、基本的理念について理解する	
2 限	社会福祉のとらえ 方・歴史の変遷①	○ 社会福祉には広義と狭義などのとらえ方があることを理解する ○ 社会福祉の定義の変遷、社会保障との関係について理解する	
3 限	社会福祉の歴史の変 遷②	○ 社会福祉の法制度、考え方の変遷、特に20世紀後半からの福祉制 度改革の意味などについて理解する。	
4 限	子ども家庭支援と社 会福祉	○ 子ども家庭支援策の必要性を理解し人口の推移等から説明できる ○ 子ども家庭支援における福祉と保健、教育等の連携を説明できる	
5 限	社会保障と社会福祉	○ 我が国の社会保障制度の体系と方法を理解し、その中での社会福 祉、社会手当、公的扶助の役割について説明できる。	
6 限	社会福祉の制度と実 施体系	○ 社会福祉の制度体系を理解し、実施主体の種類、役割について説明 できる。	
7 限	障害児・者の福祉①	○ 障害の定義、我が国における数、福祉制度の仕組みについて理解 し、それ ぞれの障害の暮らしにくさについて考えてみる。	
8 限	障害児・者の福祉②	○ 障害児に対する施策の体系を理解する。 ○ 特別支援教育、母子保健、障害基礎年金等の関連施策を理解する	
9 限	高齢者の福祉①	○ 高齢化率、後期高齢者の動向、今後の人口予測などを学び、説明で きるようになる。	
10 限	高齢者の福祉②	○ 介護保険制度、高齢者の住まいに係る施策等について理解し、課題 はどこにあるか考えてみる。	
11 限	低所得者の福祉	○ 生存権、生活保護制度の原理、被保護者の現状、生活困窮者自立支 援法等の低所得者施策について理解する。	
12 限	社会福祉における相 談援助	○ 相談援助の方法(個別援助、集団援助)、理論、専門職による援助過 程について学び、保育者としてのかかわり方を考えてみる。	
13 限	社会福祉における利 用者保護の仕組み	○ 「利用者」保護の意義、必要性、その仕組みと実際について理解す る。	
14 限	子ども子育て支援に おける課題	○ 社会的養護、ひとり親世帯、子どもの虐待とDVなど直面している 問題について理解し、自分の考えをまとめる。	
15 限	まとめ	○ これまでの学習のまとめ、期末試験のガイダンス等	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b>	子ども家庭福祉	<b>教員名</b>	赤羽 哲朗
<b>科目時間数</b>	15 限	<b>授業の種類</b>	講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b>	必修・選択	<b>配当学年</b>	2年
		<b>開講時期</b>	前期・後期・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉ニーズについて理解する。</li> <li>・ 児童・家庭福祉制度の発展の歴史やニーズの動向について理解する。</li> <li>・ 児童の権利について理解する。</li> <li>・ 相談援助活動において必要となる児童・家庭福祉制度や児童・家庭福祉に係る他の法制度について理解する。</li> </ul> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際</li> <li>・ 児童・家庭福祉制度の発展の歴史</li> <li>・ 児童の権利条約及び児童家庭福祉に関わる法律</li> <li>・ 児童家庭福祉の実施機関と専門職</li> <li>・ 児童福祉施設の種別と運営内容</li> <li>・ 児童虐待の防止と支援</li> <li>・ 児童虐待とDVの関連、女性福祉の取組の概要</li> <li>・ 社会的養護の現状と課題、今後の施策展開の方向</li> <li>・ ひとり親世帯、障害を持つ子どもへの支援</li> <li>・ 母子保健施策の概要</li> <li>・ 児童健全育成施策の概要</li> <li>・ わが国における保育の歴史、現状、今後の課題</li> <li>・ 少子化対策と子育て支援</li> <li>・ 子ども家庭福祉に関わる専門職としての保育士に求められるもの</li> </ul> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>当該科目について、保育士として必要な知識を習得するとともに、子ども家庭福祉に関わる専門職としての保育士の役割の重要性について理解を深める。</p>			
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>	
児童家庭福祉	児童家庭福祉-子どもと家庭を支援する 第3版 (大津泰子著)	ミネルヴァ書房	
<b>【使用教室】</b>			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ( )	
<b>【評価方法】</b>			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ( )		
<b>【備考】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補完資料を配布し、専門用語の意味や根拠法令等の適切な理解を促すとともに、関連の新聞報道等を紹介し、自らに身近なものとして授業の理解を深めるための一助とする。</li> <li>・ 現実社会の動向に積極的に関心に向け、より幅広い視点で対象者のニーズや援助のあり方を捉え、具体的実践につなげる姿勢を持つ。</li> <li>・ 深刻化しつつある子ども虐待の予防や早期発見、早期対応、さらには家庭への支援にあたって、保育所及び保育士の果たす役割の重要性を認識し、実践に活かすための基本的理解を得る。</li> </ul>			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b>		有 ・ 無	
<b>【内 容】</b> 児童相談所、福祉事務所、障害者施設等での実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
子ども家庭福祉		15限	赤羽 哲朗
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成内容	
1限	現代社会と子ども家庭福祉①(少子高齢社会と子どもの健全育成)	少子化の現状やその要因、影響を理解し、現代社会における子ども家庭福祉の意義や目指す方向について理解する。	
2限	現代社会と子ども家庭福祉②(家族形態の変容及と家族機能の変化)	家族の変化や育児不安等の子育てをめぐる問題、子どもが育つ環境の変化とその影響等について理解する。	
3限	子ども家庭福祉の歴史①(イギリス、アメリカ、日本における子ども家庭福祉の歴史)	イギリス及びアメリカを中心に諸外国における子ども家庭福祉の歴史について理解する。	
4限	同上	日本の子ども家庭福祉の歴史を概観し、児童福祉から子ども家庭福祉へと施策・制度の広がりをみている今日の状況について基本的な理解を得る。	
5限	子ども家庭福祉の理念と法律	子ども家庭福祉の基本となる児童福祉法の理念や児童の権利条約の内容を理解し、子どもに関わる専門職としての実践に活かす。	
6限	同上	児童福祉六法や子ども家庭福祉に関連する法律について理解する。	
7限	子ども家庭福祉の機関と専門職	子ども家庭福祉に関わる国、地方自治体の役割分担や審議機関、実施機関や子ども家庭福祉の財政と費用について基本的な理解を得る。	
8限	同上	各関係機関に配置される専門職員の名称や役割を理解する。	
9限	児童福祉施設	児童福祉施設の定義、施設の種類及び役割、今後の課題等について理解を深める。	
10限	子ども家庭福祉サービス	児童虐待の防止と支援、児童虐待とドメスティックバイオレンスとの関連や養護を必要とする子どものための施策について理解する。	
11限	同上	社会的養護を必要とする子どものための施策について理解する。	
12限	同上	ひとり親世帯のための施策、障害のある子どもへの施策について理解する。	
13限	同上	母子保健施策、健全育成施策について理解する。	
14限	保育サービス	保育サービスの内容及び保育所入所の仕組み、認定子ども園について理解する。 子ども・子育て支援制度による保育サービスや認可外保育サービス、保育に関する課題について理解し、専門職としての実践に活かす。	
15限	少子化対策と子育て支援	これまでの少子化対策の流れや仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)、新たな少子化対策と子育てを応援する取組みについて理解する。	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 音楽（理論）	<b>教員名</b> 大縄 方子	
<b>科目時間数</b> ： 15 限	<b>授業の種類</b> ： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> ： 1年次	
<b>開講時期</b> ： 前期 ・ 後期 ・ 集中		
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>幼児の音楽教育に必要な基礎的知識、楽譜が伝える「音楽」を正しく演奏するための基礎を身につける。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>楽譜の読み方や譜面上に記載された約束事を、理論によって学ぶ。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>基本的な譜面上の約束事や楽譜の読み方を正しく理解できるようになる。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	音楽（理論）	近畿大学九州短期大学通信教育部
" "	音楽（理論） レポート設題集	"
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（ 1-301 ）</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他（                      ）</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>&lt;単位認定条件&gt;</p> <p>筆記試験80点＋出席・授業態度等20点＝100点満点 60点以上を合格とする</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b>                      有 ・ 無</p>		
<p><b>【内容】</b>                      声楽・ピアノ講師</p>		

科目名 音楽（理論）		科目時間総数 15 限	教員名 大縄 方子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1 限	音の高低・譜表	五線、音名、幹音と派生音、音部記号について学ぶ	
2 限	大譜表	大譜表を見て鍵盤上の正しい音を弾くことができる	
3 限	音符・休符の長さ	音符の長さを理解することにより正しくリズム打ちができる	
4 限	拍子	拍子記号を理解し、拍子を数えながらリズム遊びができる	
5 限	変化記号	変化記号を理解し、臨時記号のある楽譜を正しく読める	
6 限	反復記号	複雑な反復記号の楽譜の正しい演奏順を答えることができる	
7 限	長音階	長音階の成り立ちを理解し、正しく弾くことができる	
8 限	長音階・短音階	長音階の復習と、短音階の成り立ちを学ぶ	
9 限	短音階	3種類の短音階の違いを理解し、正しく弾くことができる	
10 限	調号と調	調号を見て何調なのかを正しく判断することができる	
11 限	近親調・転調	ピアノ教本を用い調判定をしながら調の違いを耳で確認する	
12 限	音程（完全系）	完全系の音程を正しく答えられる	
13 限	音程（長短系）	長短系の音程を正しく答えられる	
14 限	和音・コードネーム	三和音を理解し、コードネームを見て簡単な伴奏ができる	
15 限	復習	問題演習	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育原理	<b>教員名</b> 廣瀬洋子
<b>科目時間数</b> ： 15 限	<b>授業の種類</b> ： 講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> ： 必修・選択	<b>配当学年</b> ： 2年次 <b>開講時期</b> ： 前期・後期・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  保育原理では、保育の基本・原則を学習することを目的とし、他の科目の基礎となるものである。国がこれまでの経緯をもとに、保育というものをどのように定め、保育者に求められる資質は何かを理解する。昨今の多様化する保育形態を理解し、保育所・幼稚園・認定こども園の目的、内容、方法等に触れ、三施設の共通点や相違点を正確に理解する。現代における保育の原理、つまり根本は、乳幼児が各目的により設置されたどの施設に入所・入園したとしても、子どもの育ちに違いがあってはならないのだという事を修学する。社会人として保育に携わる立場に置かれた際、根本的に、健全な子どもの育ちを支えるべく人材の育成を、最終的な目的とねらいとする。</p>	
<p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  保育理念等を取り扱い、保育に関わる法令、制度について理解する。その後、保育所・幼稚園・認定こども園に触れ、共通点・相違点を理解する。保育の方法、計画や評価を学習した後、子どもの理解に基づき保育のあり方に重点を置く。地域とのつながり、障害児の受け入れ、保育の歴史などを学び、幼保一元化、一体化等、日本の保育の現状を理解する。</p>	
<p><b>【授業における達成課題】</b>                  上記ねらいを踏まえ以下の3点を達成できるようにする。                  ①保育に関わる法令・制度を理解し、要点を掴む。                  ②保育士の社会的役割と責任について、説明できる。                  ③子どもを理解することが保育の出発点であることの意味を理解し、実践につなげる。</p>	
使用教材	出版社・編著
学生用・教員用 共通	保育原理 子どもの保育の基本理論の理解  萌文書林・岡田耕一
<p><b>【使用教室】</b>                  ①. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      ④. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>	
<p><b>【評価方法】</b>                  ①. 筆記試験                      2. レポート                      ③. 出席                      ④. 授業態度                  5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>	
<p><b>【備考】</b>                  評価について：筆記試験、レポートの点数、及び授業態度を総合的に評価しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有・無  <b>【内容】</b> 幼稚園教諭、主幹教諭、教頭、園長としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
	保育原理	15 限	廣瀬 洋子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	保育について	本講義の概要説明 保育者に求められる資質	
	保育について	保育の理念 子どものための保育 社会的役割と責任	
2 限	保育について	保育の理念 子どものための保育 社会的役割と責任	
	子どもと保育に関する法令	子どもと家庭福祉における保育と関係法令	
3 限	子どもと保育に関する法令	子どもと家庭福祉における保育と関係法令	
	保育所について学ぶ	保育所保育指針の改定 保育所保育指針とはなにか 目的と役割 保育の目標	
4 限	保育所について学ぶ	保育における養護、育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 保育に関わるねらい及び内容 乳児保育に関わるねらい及び内容	
	保育所について学ぶ	1歳児以上3歳児未満児の保育に関わるねらい及び内容 3歳児以上5歳の保育に関するねらい及び内容 保育所と小学校との連携の強化	
5 限	幼稚園について学ぶ	幼稚園教育要領の変遷 幼稚園教育要領と幼稚園教育 幼稚園教育の目的、	
	幼稚園について学ぶ	幼稚園教育要領の変遷 幼稚園教育要領と幼稚園教育 幼稚園教育の目的、	
6 限	幼稚園について学ぶ	幼稚園教育の基本 幼稚園今日お育において育みたい資質・能力 幼稚園教育のねらいと内容	
	幼保連携型認定こども園について学ぶ	幼保連携型認定こども園の目的・目標・内容	
7 限	幼保連携型認定こども園について学ぶ	教育と保育を一体的に行う幼保連携型認定こども園の教育・保育とは 幼保連携型認定こども園の子育て支援	
	保育所保育の方法	環境を通して行う保育の必要性 保育所保育指針に示された「環境を通して	
8 限	保育所保育の方法	環境を通して行う保育の必要性 保育所保育指針に示された「環境を通して	
	保育所保育の方法	保育所保育の方法	
9 限	保育の計画と評価	保育の計画 保育の過程	
	保育の計画と評価	学びを実習につなげる	
10 限	保育の計画と評価	学びを実習につなげる	
	子どもの理解に基づく保育	子どもの発達過程の理解と保育 個人差に応じた保育	
11 限	子どもの理解に基づく保育	観察と記録に基づく子ども理解	
	地域社会で行う子育ての支援	保育所における子育て支援 幼稚園における子育て支援	
12 限	地域社会で行う子育ての支援	幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園以外の施設で行われる子育て支援 地域の人たちによる子育て支援 学生に出来る子育て支援	
	障害児を受け入れる保育	障害児保育について 保育現場における障害児保育の実際	
13 限	障害児を受け入れる保育	保護者及び関係機関との連携 特別な配慮が必要となる子ども	
	保育の歴史	幼稚園の歴史 保育所の歴史	
14 限	保育の歴史	幼児教育・保育をめぐる動向 欧米の教育・保育思想	
	日本の保育の現状	子ども・子育て支援新制度の誕生 幼保一元化に向けて	
15 限	日本の保育の現状	保育所職員に資質・専門性の向上を目指す 保育・育児における情報機器の利用	
	日本の保育の現状	保育者に求められる資質とは	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 社会的養護 I	<b>教員名</b> 佐藤 雅子		
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習		
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> : 1 年次	<b>開講時期</b> : 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会的養護の理念、制度、方法などの基本的な内容について理解する。</li> <li>・ 子どもの人権擁護と、社会的養護における被措置児童虐待等について理解する。</li> <li>・ 社会的養護を必要とする子どもの状況やその背景を知り、家庭養育優先原則の枠組みやその必要性を理解した上で、子どもとの関わり方を考えることができる。</li> </ul> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>朝日新聞編集委員のルポルタージュ等を使用して個人ワークを行いながら、社会的養護を必要とする子どもたちの状況やその背景を具体的に理解できるようにする。その上で、社会的養護の理念、制度、方法や枠組みについて講義する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会的養護の理念、制度、方法などの基本的な内容について説明できる。</li> <li>・ 子どもの人権擁護と、社会的養護における被措置児童虐待等について説明できる。</li> <li>・ 社会的養護を必要とする子どもの状況や背景を知り、家庭養育優先原則の視点に立って子どもとの関わり方を考えることができる。</li> </ul>			
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>	
学生用	新基本保育シリーズ6 「社会的養護 I」	公益財団法人 児童育成協会	
教員参考用	「児童養護施設の子どもたち」	株式会社 高文研	
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      <input checked="" type="checkbox"/> 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>			
<p><b>【評価方法】</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>			
<p><b>【備考】</b></p>			
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p><b>【内容】</b> 社会福祉士としての実務経験</p>			

科目名		社会的養護 I	科目時間総数	15 限	教員名	佐藤 雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容			
1	限	社会的養護の理念と概念①	社会的養護とは何か 社会的養護の基本理念	ルポルタージュ等を使用したワーク		
2	限	社会的養護の理念と概念②	社会的養護の原理			
3	限	社会的養護の理念と概念③	社会的養護の原理			
4	限	社会的養護の理念と概念④	社会的養護の基盤づくり			
5	限	子どもの人権擁護と社会的養護①	子どもが家庭で育つ権利保障 子どもの権利の視点 権利のとらえ方と権利擁護に向けた取り組み			
6	限	子どもの人権擁護と社会的養護②	児童養護施設における虐待 虐待要因			
7	限	社会的養護における保育士の倫理と責務	対人関係における倫理、支援における倫理の必要性 専門職の倫理としての職業倫理（保育士、社会福祉士）			
8	限	社会的養護にかかわる専門職	児童福祉施設で働く専門職			
9	限	社会的養護の制度と法体系	社会的養護の制度の根幹			
10	限	社会的養護の基本原則	児童福祉法の2016年改正 児童の代替的養護に関する指針 新しい社会教育ビジョン			
11	限	里親制度の実際	【DVD学習】里親世帯のインタビュー動画から学ぶ			
12	限	社会的養護とファミリーソーシャルワーク	ファミリーソーシャルワーク ソーシャルワークの視点からのアプローチ			
13	限	社会的養護とファミリーソーシャルワーク	【演習】事例のアセスメント演習			
14	限	社会的養護の対象と支援のあり方	措置（代替養育）に至る理由 代替養育の対象と支援			
15	限	振り返り	・ 1年間の授業のまとめ・振り返り			

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 社会的養護Ⅱ	<b>教員名</b> 佐藤 雅子
<b>科目時間数</b> : 7.5 限	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> : 2年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会的養護における「施設養護」「家庭的養護」「家庭養護」の機能と役割を理解する。</li> <li>・ 社会的養護の現状をふまえ、「家庭養育優先原則」と関係機関の役割を理解する。</li> <li>・ 事例検討を通じて被虐待児とその家族への支援の考え方を学ぶ。</li> <li>・ 社会的養護における子どもとのコミュニケーションスキルを学ぶ。</li> </ul> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>社会的養護の関係機関等の役割について、DVDや関係者へのインタビューを通じてより具体的に理解できるように授業を進める。事例検討、里親委託児童とのコミュニケーションスキルについても、演習・実技を取り入れる。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会的養護の現状と「家庭養育優先原則」及び「施設養護」「家庭的養護」「家庭養護」の違いについて、より具体的に説明できる。</li> <li>・ 事例検討を通じて被虐待児とその家族への支援について理解を深める。</li> <li>・ 社会的養護における子どもとのコミュニケーションスキルを意識できるようになる。</li> </ul>	
	使用教材
出版社	
学生用	※教員が準備した資料及びワークシートを使用
教員参考用	「新しい絆の作り方 －特別養子縁組・里親入門－ NHK厚生文化事業団 福祉ビデオシリーズ
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      <input checked="" type="checkbox"/> 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      <input checked="" type="checkbox"/> 6. その他 (スクーリング当日の課題作成 )</p>	
<p><b>【備考】</b></p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p><b>【内容】</b> 社会福祉士としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
社会的養護Ⅱ		7.5 限	佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	「社会的養護」の概要 児童養護施設における 養育	【講義】社会的養護Ⅰの振り返り 【演習①】「施設養護」「家庭的養護」の実際 児童養護施設「みちのく・みどり学園」DVDから 違いを整理する。	
2 限	里親制度の特徴と養育 の実際	【演習②】里親制度の特性と養育の実際 「家庭養育優先原則」に基づき、 施設養護、家庭的養護との違いを整理する。	
3 限	虐待事例における支援 の考え方①	【事例検討①】 家庭における児童虐待への支援事例	
4 限	虐待事例における支援 の考え方②	【事例検討②】 社会的養護における家族再統合に向けた支援事例	
5 限	社会的養護の実際と関 係機関の役割①	【講話・演習①】 児童相談所の職員、養育里親の講話 学生からのインタビュー	
6 限	社会的養護の実際と関 係機関の役割②	【講話・演習②】 児童養護施設の里親支援専門相談員の講話 学生からのインタビュー	
7 限	社会的養護のコミュニ ケーションスキル	【演習・実技】 里親トレーニング・プログラム 「フォスタリングチェンジプログラム」の体験	
7.5 限	まとめ	【課題】レポート作成	



科目名		科目時間総数	教員名
子ども家庭支援論		15 限	鈴木 由美子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1 限	子育て家庭と社会	家族形態の変化、家庭の機能の役割変化を理解できる	
2 限	〃	社会環境変化と家庭の動向との関連を理解できる	
3 限	〃	環境変化による子育て困難の現状を理解できる	
4 限	〃	子育て家庭に対する支援の必要性、意義を理解できる	
5 限	保育士による支援	子育て家庭支援での保育士の役割を理解できる	
6 限	〃	子育て家庭支援の対象と内容を理解できる	
7 限	〃	保育士に求められる支援の基本的態度を理解できる	
8 限	〃	保育士による相談・支援への心配りを理解できる	
9 限	子育て支援体制	子育てに関わる法・国の施策を理解できる	
10 限	〃	子育て家庭を支える専門機関を理解できる	
11 限	〃	子育て支援の制度、事業の内容を理解できる	
12 限	〃	保育所・幼稚園での支援のあり方を理解できる	
13 限	〃	在宅子育て家庭における支援を理解できる	
14 限	配慮を要する子育て家庭	虐待行為家庭への支援のあり方を理解できる	
15 限	〃	ひとり親・外国籍家庭等への支援を理解できる	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 幼児への特別な支援	<b>教員名</b> 佐々木 全
<b>科目時間数</b> : 7.5 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> : 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> : 2年次 <b>開講時期</b> : 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                      ノーマライゼーションの理念が浸透している現代社会において、障がいのある子もない子も共に育つ場としての保育園保育の在り方及び様々な障がいに対する理解と対応について学び、障がい児保育についての識見を深める。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                      様々な障がいについて理解し、子どもの理解や援助の方法、環境構成等について学ぶ。障がいのある子どもの保育の計画を作成し、個別支援及び子どものかかわりの中で育ち合う保育実践について理解を深める。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                      当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>	
	<b>使用教材</b>
学生用・教員用 共通	新・保育講座15 よくわかる障害児保 ミネルヴァ書房
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>	
<p><b>【備考】</b></p> <p style="text-align: center;">・ 適宜演習題を課す。                      ・ ノートを使用する。各自準備すること。</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有</p> <p><b>【内容】</b> 特別支援学校教員、高等学校教員                      大学及び大学院教員</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
幼児への特別な支援		7.5 限	佐々木 全
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	保育現場にいる障害のある子ども①	<p>(1) 本講義の進め方についてのガイダンス  (2) 保育現場にいる障害のある子どもの概要を知る。  *障害のある子どもがいる現状についてインクルーシブの観点から説明できる。</p>	
2 限	障害の特徴と保育の実際	<p>知的障害、自閉症スペクトラム障害等についての概要ならびに保育の要点について知る。  *障害の理解とそれに基づく支援の実際について例示し、かつその要点を説明できる。</p>	
3 限	乳幼児期の発達課題と障害特性①	<p>発達課題の概要ならびに、愛着形成について知る。  *愛着に関する重要事項について説明できる。</p>	
4 限	乳幼児期の発達課題と障害特性②	<p>発達課題の概要ならびに、運動発達、基本的な生活習慣、言語・コミュニケーションについて知る。  *上記内容に関する重要事項について説明できる。</p>	
5 限	障害児保育の仕組み	<p>障害児保育の仕組みについて知る。  *障害児保育の仕組みに関する重要事項について説明できる。</p>	
6 限	障害児とライフコース	<p>乳幼児健康診断と就学相談などについて知る。  *知的障害及び保育、教育の経緯に関する重要事項について説明できる。</p>	
7 限	インクルーシブ保育	<p>インクルーシブ教育システム等の重要事項を知り、保育園、幼稚園における支援体制作りの要点について知る。  *支援体制を例示し、かつその要点を説明できる。</p>	
7.5 限	家族に対する支援	<p>家族（保護者やきょうだい）の心理と支援の必要性について知る。  *上記内容に関する重要事項について説明できる。</p>	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 障害児保育	<b>教員名</b> 松好 伸一
<b>科目時間数</b> : 7.5 限	<b>授業の種類</b> : <u>講義</u> ・ <u>演習</u> ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> : <u>必修</u> ・ 選択	<b>配当学年</b> : 2年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・ <u>集中</u>
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  障害者差別解消法の施行，保育所保育指針，幼稚園教育要領，幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改定に伴い，育みたい姿，幼児期の終わりまでに育ってほしい姿，合理的配慮など，ノーマライゼーションからインクルーシブへの転換期にある障害児保育を，保育所，幼稚園，幼保連携型認定こども園での障害児保育を通して理解を深めていく。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  保育所，幼稚園，幼保連携型認定こども園，それぞれの園における障害児保育の特徴や，障害児保育を利用する家庭の状況などを実例を示しながら，保育者に必要な知識，技術，理念などを学ぶ。また，家庭支援，子育て支援の視点や，障害児が在籍するクラスの健常児への配慮なども併せて学び，障害児保育Ⅱ求められるものの認識を深める。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において，保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>	
	<b>使用教材</b>
学生用・教員用 共通	新・保育講座15 障害児保育
	<b>出版社</b>
	ミネルヴァ書房
<p><b>【使用教室】</b>                  1. <u>HR</u>                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. <u>視聴覚室</u>                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p> <p><b>【評価方法】</b>                  1. <u>筆記試験</u>                      2. <u>レポート</u>                      3. <u>出席</u>                      4. 授業態度                  5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p> <p><b>【備考】</b></p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <u>有</u> ・ 無  <b>【内容】</b> 幼稚園教諭・保育士としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
障害児保育		7.5 限	松好 伸一
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	保育現場にいる障害のある子ども①	(1) 本講義の進め方についてのガイダンス (2) 保育現場にいる障害のある子どもの概要を知る。 *障害のある子どもがいる現状についてインクルーシブの観点から説明できる。	
	保育現場にいる障害のある子ども②		
2 限	乳幼児期の発達課題と障害特性①	発達課題の概要ならびに、愛着形成について知る。 *愛着に関する重要事項について説明できる。	
	乳幼児期の発達課題と障害特性②③	発達課題の概要ならびに、運動発達、基本的な生活習慣について知る。 *運動発達、基本的な生活習慣に関する重要事項について説明できる。	
3 限	乳幼児期の発達課題と障害特性④	発達課題の概要ならびに言語・コミュニケーションについて知る。 *言語・コミュニケーションに関する重要事項について説明できる。	
	障害児保育の仕組み	障害児保育の仕組みについて知る。 *障害児保育の仕組みに関する重要事項について説明できる。	
4 限	障害児とライフコース①	乳幼児健康診断と就学相談などについて知る。 *知的障害及び保育、教育の経緯に関する重要事項について説明できる。	
	障害児とライフコース②		
5 限	障害の特徴と保育の実際①	知的障害、自閉症スペクトラム障害等についての概要ならびに保育の要点について知る。 *障害の理解とそれに基づく支援の実際について例示し、かつその要点を説明できる。	
	障害の特徴と保育の実際②		
6 限	障害の特徴と保育の実際③		
	障害の特徴と保育の実際④		
7 限	インクルーシブ保育①	インクルーシブ教育システム等の重要事項を知り、保育園、幼稚園における支援体制作りの要点について知る。 *支援体制を例示し、かつその要点を説明できる。	
	インクルーシブ保育②		
7.5 限	インクルーシブ保育③		
	(テスト)		

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 子どもの食と栄養	<b>教員名</b> 小番 由紀子
<b>科目時間数:</b> 7.5	<b>限</b> <b>授業の種類:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習
<b>必修・選択の別:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	<b>配当学年:</b> 2年次 <b>開講時期:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>          小児の発育・発達特性、心身の発達段階に応じた栄養法、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、保育・幼児教育の公共的使命を理解する。心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食、食育の重要性を理解し、実践と理論を結びつけ保育者として適切な食事を提供することができるよう、各時期の栄養法を理解し、調理技能の習得を目指す。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>           小児の発育・発達を促す食事、アレルギー食品対応の菓子・弁当作り</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>          当該科目において、専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>	
	<b>使用教材</b>
	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	新 保育ライブラリ 子どもの食と栄養
<b>【使用教室】</b>	
1. <input checked="" type="checkbox"/> HR            2. 介護実習室            3. <input checked="" type="checkbox"/> 家政実習室            4. 視聴覚室 5. PC実習室            6. 接遇実習室            7. その他 (            )	
<b>【評価方法】</b>	
1. <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験            2. レポート            3. 出席            4. <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 5. 実技試験            6. その他 (            )	
<b>【備考】</b>	
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<b>【内容】</b>	

科目名		科目時間総数	教員名
子どもの食と栄養		7.5 限	小番 由紀子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	食生活の現状と意義	社会環境の変化に伴う私たちの生活と食生活の変容、生活習慣病とその原因について学ぶ。 子どもの健康・栄養の特性とその重要性を学ぶ。	
	乳児期の栄養	乳児期の特徴と望ましい栄養摂取について学ぶ。 乳児期（出生から1年未満）の食形態を学ぶ。	
2 限		乳汁栄養法の特徴的な食形態の理解。 離乳栄養の意義・離乳の進め方について学ぶ。 授乳栄養の利点及び調乳の方法を学ぶ。	
		幼児期の特徴と望ましい栄養摂取について学ぶ。	
		幼児期の食行動の発達について学ぶ。	
3 限		間食の必要性和望ましい与え方について学ぶ。	
		幼児食の献立作成の注意点について学ぶ。	
		幼児食の献立作成（普通食）	
4 限	栄養と栄養素	五大栄養素の確認と、その特徴・体内での働きを学ぶ。	
		各栄養素を多く含む食品と、それらの効果的な摂取方法について学ぶ。	
		小児期における小児栄養の特徴と意義を知る。	
5 限	発育・発達と栄養・食生活	エネルギー産生と消費のしくみを学ぶ。 食事摂取基準を学び、バランスの良い食事とは・ベストな食事摂取量とは、を学ぶ。	
	発育・発達と栄養・食生活	食事摂取基準を学び、バランスの良い食事とは・ベストな食事摂取量とは、を学ぶ。	
6	妊婦・授乳婦の栄養	妊娠期・授乳期の栄養・食生活の重要性、望ましい栄養摂取について理解する。 妊娠期にみられるトラブルとはなにか。その原因と対応について学ぶ。	
	学齢期・思春期の栄養	学童期・思春期の特徴と望ましい具体的な栄養摂取について学ぶ。	
7 限	栄養上の問題と健康 食物アレルギーの対応	学校給食の意義、家庭・地域との連携の方法・考え方・活動の仕組みを学ぶ。	
		学齢期・思春期の食生活の実際を学び、生活習慣病予防を含む身体的・精神的特性を学ぶ。	
		食物アレルギーの原因と対処について学ぶ。	
7.5 限	児童福祉施設における食生活と栄養	小児期の食生活における事故の発生原因について学ぶ。障害のある子どもの食生活・実際を学ぶ。	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 子どもの食と栄養	<b>教員名</b> 小番 由紀子
<b>科目時間数:</b> 7.5	<b>限</b> <b>授業の種類:</b> <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習
<b>必修・選択の別:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	<b>配当学年:</b> 2年次 <b>開講時期:</b> 前期・後期 <input checked="" type="checkbox"/> 集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  小児の発育・発達特性、心身の発達段階に応じた栄養法、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、保育・幼児教育の公共的使命を理解する。心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食、食育の重要性を理解し、実践と理論を結びつけ保育者として適切な食事を提供することができるよう、各時期の栄養法を理解し、調理技能の習得を目指す。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  小児の発育・発達を促す食事、お弁当作り</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において、専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>	
	<b>使用教材</b>
	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	新 保育ライブラリ 子どもの食と栄養
	北大路書房
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. <input checked="" type="checkbox"/> HR            2. 介護実習室            3. <input checked="" type="checkbox"/> 家政実習室            4. 視聴覚室                  5. PC実習室            6. 接遇実習室            7. その他 (            )</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験            2. レポート            3. 出席            4. <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度                  5. 実技試験            6. その他 (            )</p>	
<p><b>【備考】</b></p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b>    有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	
<p><b>【内容】</b></p>	

科目名		科目時間総数	教員名
子どもの食と栄養		7.5 限	小番 由紀子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	アレルギー対応、幼児食の献立・お弁当	グループに分かれて、幼児期後半を対象とした献立作成を行う。	
		〃	
2 限		実習	
		実習	
3 限		実習	
	手作りおやつ	グループに分かれて、献立作成を行う。	
4 限		実習	
		実習	
5 限	行事食	行事と行事食を知る。食に関する地域との連携を学ぶ。	
		行事食の意義とそれを伝えていくことの必要性を学ぶ。	
6 限	食育の基本と内容・方法	学校給食・保育所における食育の必要性と意義について学ぶ。	
		食育の現状と問題点を知り、食育の方法について学ぶ。特別な配慮を要する子どもの食と栄養を知る。	
7 限		食育の具体的展開と教材について学び、実践出来るようになる。	
		児童福祉施設における食に関する指針と給食の役割を知る。	
7.5 限		食の安全（感染症、食中毒等）、施設における衛生管理を学ぶ。	



科目名		科目時間総数	教員名
子どもの保健		15 限	中村 和歌子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	子どもの心身の健康と保健の意義	健康の概念と健康指標、我が国の小児保健水準、育児環境と精神保健	
	精神機能の発達と保健	子どもの心の育ち、言語・社会・情緒の発達、発達に影響する要因	
2 限	身体発育と保健	発育には原則が有る、乳幼児の計測の仕方	
	同上	身体発育値を評価する、身長、体重のバランス・肥満とやせ	
3 限	運動機能の発達と保健	新生児の運動機能の発達・乳児の運動機能の発達	
	同上	幼児の運動機能の発達・学童期以降の運動機能の発達	
4 限	生理機能の発達と保健	消化吸収・排泄	
	同上	循環、呼吸、心拍、血圧	
5 限	同上	自律神経・体温・水分代謝と発熱	
	同上	睡眠・感覚器官・免疫	
6 限	精神機能の発達と保健	子どもの心の育ち、言語・社会・情緒の発達	
	同上	発達に影響する要因	
7 限	心身の健康状態とその把握	健康状態の観察のポイント、頭部・頸部・胸・腹部・四肢・皮膚	
	同上	子どもの心身の健康、生活習慣や行動上の問題、乳幼児の健康診査	
8 限	子どもの疾病の予防及び適切な対応	子どもの疾病の特徴、重要な感染症	
	同上	予防接種	
9 限	同上	消化器・呼吸器・循環器疾患	
	同上	泌尿器・生殖器・中枢神経系・代謝内分泌疾患	
10 限	同上	血液、腫瘍性疾患・アレルギー疾患	
	同上	整形外科疾患、その他の疾患	
11 限	同上	新生児マス・スクリーニング、疾病異常と支援体制	
	同上	他職種間の連携・協働	
12 限	日常における養護の方法	子どもの抱き方、おんぶの仕方、食事の与え方、口腔内の衛生、沐浴・入浴の仕方	
	同上	衣類の着せ方、排泄・寝かせ方、おもちゃの選び方、子どもへの声掛けの仕方	
13 限	よく起こる事故について	子どもの事故の特徴、怪我や事故の種類	
	同上	事故防止、安全管理	
14 限	救急処置について	手足の腫れる. やけど. 出血. けいれん. 不随意運動	
	同上	救急時対応・発熱&熱中症・咳&ゼーゼー・頭痛・嘔吐	
15 限	試験のpoint	まとめ	
	同上	まとめ	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 子どもの健康と安全	<b>教員名</b> 中村 和歌子	
<b>科目時間数:</b> 7.5	<b>限</b> <b>授業の種類:</b> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別:</b> 必修・選択	<b>配当学年:</b> 2年次 <b>開講時期:</b> 前期・後期・ <b>集中</b>	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  子どもの身近な怪我や事故に対して、適切な応急処置及び救急処置に対応出来る技能を習得する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  グループワーク・グループ討議を行い、モデル人形を使用し、身近な疾患・怪我・事故に対処出来るように講義を進める。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>		
	使用教材	出版社
	子どもの保健演習ノート	診断と治療社
	子どもの保健テキスト	診断と治療社
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      <b>4. 視聴覚室</b></p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      <b>2. レポート</b>                      3. 出席                      <b>4. 授業態度</b></p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <b>有</b>・無</p> <p><b>【内容】</b> 看護師としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
子どもの健康と安全		7.5 限	中村 和歌子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1	限 子どもの保健と安全について	子どもの発達を知る	
		身体測定	身長・体重・頭囲・胸囲（モデル人形で測定）
2	限 子どもの健康状態の観察	バイタルサインの測定法	
		同上	子どもの体調不良時の主な症状と評価、対応
3	限 日常における養護の方法	子どもの抱き方、おんぶの仕方	
		同上	おむつ交換、沐浴（モデル人形で演習）
4	限 まとめ	グループでまとめ	
		同上	プレゼンテーション
5	限 子どもに起こりやすい事故	よく起こる事故について知ろう	
		同上	事故や怪我の時の対応
6	限 子どもの誤飲について	子どもが誤飲してしまう物の大きさを確かめよう	
		同上	チャイルドマウスを作ってグループで確認
7	限 救急処置	心肺蘇生法	
		同上	AED（自動体外式除細動器）の使用法、モデル人形での演習
7.5	限 まとめ	グループでまとめ	
		同上	プレゼンテーション

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 子育て支援	<b>教員名</b> 佐藤 雅子						
<b>科目時間数</b> ： 7.5 限	<b>授業の種類</b> ： 講義 ・ 演習 ・ 実習						
<b>必修・選択の別</b> ： 必修・選択	<b>配当学年</b> ： 2年次						
<b>開講時期</b> ： 前期・後期・集中							
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ソーシャルワークの基礎、援助関係形成のためのコミュニケーションの方法や面接技術を学び、体得する。</li> <li>・ 具体的な事例を通じて情報収集やヒアリング、アセスメント、支援計画作成までの一連の流れを経験し、相談援助過程や関係機関との連携について理解する。</li> </ul> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>ソーシャルワークの基礎と援助関係の形成、相談援助過程及び関係機関との連携について、場面観察やロールプレイ、事例検討を取り入れながら、経験的に学習する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 援助関係形成のためのコミュニケーションや面接のポイントを説明できる。</li> <li>・ 具体的な事例について、グループで協力してアセスメント及び支援計画作成を行うことができる。</li> <li>・ アセスメントや支援計画作成、関係機関との連携について説明できる。</li> </ul>							
	<b>使用教材</b>						
<b>出版社</b>							
学生用	※教員が準備した資料及びワークシートを使用						
教員参考用	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none;">「社会福祉士相談援助演習」</td> <td style="border: none;">中央法規出版株式会社</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">「子育て支援」</td> <td style="border: none;">公益財団法人 児童育成協会</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">「マイクロカウンセリング技法」</td> <td style="border: none;">株式会社 風間書房</td> </tr> </table>	「社会福祉士相談援助演習」	中央法規出版株式会社	「子育て支援」	公益財団法人 児童育成協会	「マイクロカウンセリング技法」	株式会社 風間書房
「社会福祉士相談援助演習」	中央法規出版株式会社						
「子育て支援」	公益財団法人 児童育成協会						
「マイクロカウンセリング技法」	株式会社 風間書房						
<b>【使用教室】</b>							
1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )							
<b>【評価方法】</b>							
1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他 (スクーリング当日の課題作成 )							
<b>【備考】</b>							
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無							
<b>【内容】</b> 社会福祉士としての実務経験							

科目名		科目時間総数	教員名
子育て支援		7.5 限	佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1	限 社会福祉援助の基本 コミュニケーションの 方法①	<b>【講義】</b> 人の理解と環境の理解、バイステイックの7原則、 ソーシャルワークの展開過程、コミュニケーションの方法 <b>【ワーク①】</b> 子どもとのコミュニケーション <b>【ワーク②】</b> 保護者とのコミュニケーション	
2	限 コミュニケーションの 方法②		
3	限 面接技法①	<b>【講義】</b> 面接技法 <b>【場面観察】</b> 保護者との面談（マイクロカウンセリングDVD） <b>【ワーク①】</b> 相談場面のコメント検討 →ロールプレイ <b>【ワーク②】</b> 相談場面のコメント検討 →ロールプレイ <b>【課題】</b> 社会資源調べ	
4	限 面接技法②		
5	限 事例検討①	<b>【講義】</b> 事例検討の方法と社会資源 子育て支援の事例提示 <b>【ワーク①】</b> ジェノグラム作成、保護者ヒアリングのポイント整理	
6	限 事例検討②	<b>【ワーク②】</b> 保護者へのヒアリング演習 →ロールプレイ <b>【ワーク③】</b> アセスメントシート作成	
7	限 事例検討③	<b>【ワーク④】</b> 支援計画作成 →全体発表	
7.5	限 まとめ	<b>【課題】</b> レポート作成	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 健康Ⅱ	<b>教員名</b> 高橋 裕貴子	
<b>科目時間数</b> ： 7.5	<b>限</b> <b>授業の種類</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	<b>配当学年</b> ： 2年次 <b>開講時期</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  領域「健康」に関する保育内容とその方法を理解し、子どもの健康に必要な知識とその指導・援助の技術、技能を獲得する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  子どもの全面的な発達を促すために、人間の身体や健康、それにかかわる環境についての理解を深め、子どもの健康に必要な知識とその指導、援助の技術、技能を獲得する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	健康 <理論編>	教育情報出版
<p><b>【使用教室】</b></p> 1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )		
<p><b>【評価方法】</b></p> <input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他 (                      )		
<p><b>【備考】</b></p> 評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p><b>【内容】</b></p>		

科目名		科目時間総数	教員名
健康Ⅱ		7.5 限	高橋 裕貴子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	現代人の健康と生活	人類の生活と健康観の変遷について	
	〃	ライフサイクルと健康について	
2 限	県是な心身の発育・発達に見る乳幼児期の発	身体的発達とその仕組みについて	
	〃	乳幼児期の発達課題についての理解	
3 限	乳幼児期・ 児童期の子ども の健康な生活と領域「健康」に関する 保育内容とその方法	子どもを取り巻く生活環境についての理解・幼稚園保育所との家庭連携について	
	園における健康づくりの ための保育指導	幼児期の発育・発達と健康づくりについて	
4 限	園における健康づくりの ための保育指導	健康な生活リズムについて・基本的な生活習慣の確立について	
	園における保険・安全 衛生の管理	生活に必要な生活習慣について・健康管理について	
5 限	健康保育における四季 の生活と遊び	四季における生活と遊びについて、それぞれの特徴を知る	
	〃		
6 限	保育の中の健康行事と 安全教育	年間行事の立て方と避難訓練などについて	
	〃		
7 限	健康生活と遊びの科学	遊びの行動観察について	
	新しい時代を生きる子ども と健康	子どもの健康チェック・現場における子どもの健康課題	
7.5 限	〃		

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 劇あそび (指導法)	<b>教員名</b> 廣瀬 洋子	
<b>科目時間数</b> : 7.5 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 1年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。</li> <li>2. 感じたことや考えたことを様々な方法で表現にしようとする。</li> <li>3. 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。</li> </ol> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>領域「表現」を観点に、発達段階に応じた子どもの遊び（ごっこ遊び、劇あそび）の内容と意義について学習する。伴う表現活動（歌う、演奏する、踊るなど）の演習課題を通し、感じたり、考えたり、想像したり、創造する力を養う。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・領域「表現」の「ねらい」「内容」について理解する。</li> <li>・子どもの発達に即した遊びの過程を理解し、どのような援助が必要か考えることができる。</li> <li>・子どもの表現を育てうる実践力と指導法を見に付ける。</li> </ul>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
プリント資料適宜配布		
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有・無</p> <p><b>【内容】</b> 幼稚園教諭としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
劇あそび（指導法）		7.5 限	廣瀬 洋子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	劇あそびとは	劇あそびとは何か。劇あそびのねらい。劇あそびの導入の仕方。	
2 限	ペープサート作り①	絵本の選択、脚本・台本作り、配役（担当）決め	
3 限	ペープサート作り②	ペープサート・大道具・小道具・音響（効果音）の作成	
4 限	ペープサート作り③	ペープサート・大道具・小道具・音響の作成	
5 限	ペープサート劇の練習	台本読み。セリフの練習。ペープサートの動かし方。効果音や歌の取り入れ方。	
6 限	ペープサート劇の練習	台本読み。セリフの練習。ペープサートの動かし方。効果音や歌の取り入れ方。	
7 限	ペープサート劇の発表会	グループごとにペープサート劇の発表会を実施。他のグループの発表を見ることで、様々なことに気づく。	
7.5 限	振り返り	グループごとに振り返りシート&評価表を記入し、お互いの良さに気づき、今後の課題を探る。	



科目名 保育の心理学		科目時間総数 15限	教員名 青山 慶
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	第1章 発達心理学の課題	オリエンテーション	
		発達心理学とはなにか	
2限	↓	発達研究のテーマ	
	第2章 発達についての理論	発達理論についての視点	
3限	↓	初期の発達理論	
		現代の発達理論	
4限	第3章 言語の発達	言語とは	
	↓	言語獲得の 仮説	
5限	↓	言語発達の道筋	
	第4章 知的発達	感覚運動期から形式的操作期へ	
6限	↓	発達の段階的構造化	
		記号と表象	
7限	第5章 環境と発達	スキールズとダイの研究	
	↓	初期経験の影響	
8限	↓	知能と環境	
	第6章 感情の発達	知・情・意の働き、内発的動機づけ	
9限	↓	感情の種類	
		情動の発達、情動の種類	
10限	第7章 社会性の発達	社会化への道、社会的交流と遊び	
	第8章 道徳性の発達	道徳性についての3つの考え方	
11限	↓	道徳性の発達	
	第9章 青年期の発達	青年期とは、身体の発達	
12限	↓	青年期の心理的な特徴	
		青年の余暇活動	
13限	第10章 成人期の生活	就職、結婚	
	↓	余暇	
14限	↓	女性の時代、中高年層の悩み	
	第11章 老年期の生活	高齢者の生き方、就労意欲	
15限		生きがい、老人の病い	
	第12章 現代社会と発達	現代社会と能力、コンピテンスの発達と教育	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 子ども家庭支援の心理学	<b>教員名</b> 佐藤 雅子	
<b>科目時間数:</b> 15                      限	<b>授業の種類:</b> (講義) ・ (演習) ・ 実習	
<b>必修・選択の別:</b> (必修) ・ 選択	<b>配当学年:</b> 2年次 <b>開講時期:</b> 前期 ・ (後期) ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達的に理解し、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する。</li> <li>・ 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。</li> <li>・ 子育て家庭をめぐる現代の社会状況と課題を理解する。</li> </ul> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>子どもが育つ社会や家庭、心理学的な生涯発達の視点に立ち、具体的な事例を取り扱いながら講義を進める。前半は主として自己覚知につながる個人ワーク、後半はグループワークを取り入れる。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会的背景や生涯発達という視点から家族、家庭の意義や機能を理解し、説明できる。</li> <li>・ 多様な課題を抱える家庭を包括的にとらえ、事例のアセスメントができる。</li> <li>・ ライフコースという視点から自分史を振り返り、対人援助職としての自己覚知を深める。</li> </ul>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用	新基本保育シリーズ9 「子ども家庭支援の心理学」	公益財団法人 児童育成協会
教員参考用	新・社会福祉士養成講座 「心理学理論と心理的支援」	中央法規出版株式会社
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. (視聴覚室)</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. (筆記試験)                      2. レポート                      3. 出席                      4. (授業態度)</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> (有) ・ 無</p> <p><b>【内容】</b> 社会福祉士としての実務経験</p>		

科目名		子ども家庭支援の心理学		科目時間総数	15 限	教員名	佐藤 雅子
時間数		教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容			
1	限	家族・家庭の意義と機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭、親族、世帯</li> <li>・家族の定義、機能の変化</li> </ul> <p style="text-align: right;">【自分史ワーク】</p>			
2	限	家族関係・親子関係の理解		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族のライフサイクル、システム理論</li> <li>・ジェノグラム・エコマップ</li> </ul>			
3	限	子育ての経験と親としての育ち		<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠出産～産後まで</li> <li>・周囲の人との関係と親としての育ち</li> </ul>			
4	限	子育てを取り巻く社会的状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出産・子育てをめぐる社会的状況</li> <li>・子ども・子育て支援制度の概要</li> </ul>			
5	限	乳児期の発達		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児期、乳児期</li> <li>・言葉の発達</li> <li>・アタッチメントの視点からみた保育者との関係性</li> </ul>			
6	限	幼児期の発達		<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知、言語、社会性、自我の発達</li> <li>・初期経験の重要性、保育場面における遊びの発達</li> </ul>			
7	限	学童期の発達		<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知、社会性の発達</li> <li>・学童期の発達をふまえた教育支援</li> </ul>			
8	限	青年期の発達		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体、認知、自己の発達</li> <li>・アイデンティティの確立</li> </ul>			
9	限	成人期・中年期の発達		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人期、中年期</li> <li>・職業、結婚と子育て</li> </ul>			
10	限	高齢期の発達		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢期における心と身体の発達</li> <li>・高齢者福祉</li> </ul>			
11	限	ライフコースと仕事・子育て		<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女のライフコースの歴史的変化と特徴</li> <li>・性役割分業とライフコース</li> <li>・ライフコースの視点を生かした子育て支援</li> </ul>			
12	限	多様な家庭とその理解		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント演習（生活困窮世帯、ひとり親家族の事例）</li> </ul>			
13	限	多様な家庭とその理解		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント演習（障がいのある子どもがいる世帯の事例）</li> </ul>			
14	限	多様な家庭とその理解		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント演習（多問題家族の事例）</li> </ul>			
15	限	振り返り		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の授業のまとめ・振り返り</li> </ul>			

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 教育課程総論	<b>教員名</b> 阿部 温子	
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> : 1年次	
<b>開講時期</b> : 前期 ・ 後期 ・ 集中		
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 教育課程の意義と編成の基本を学び、長期・短期の指導計画を作成できる基礎的な力をつける</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 子どもたちの実態に即して、指導計画を編成することができるようになるために必要な基礎的な力を養う。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得できるようになる。</p>		
	使用教材	出版社
学生用・教員用 共通	あたらしい幼児教育課程総論 幼稚園教育要領 保育所保育指針  幼保連携型認定こども園教育・保育要領	同文書院 フレーベル館  〃
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p style="text-align: center;">*筆記試験で60点以上、授業態度、演習問題等で総合的に評価する</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b>                      有                      ・                      無</p>		
<p><b>【内 容】</b>                      幼稚園教諭としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
教育課程総論		15 限	阿部 温子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	幼児期の性質	乳幼児期の発達	
1 限	〃	幼児期の発達課題、生涯学習における幼児期の意義	
2 限	教育課程の意義と方向	教育課程の概念、教育観とカリキュラムの類型	
2 限	〃	幼児教育の教育課程	
3 限	幼稚園教育と保育所保育	幼稚園の保育所の基本的な性格(制度、現状など)	
3 限	〃	保育のあり方、幼児教育の先哲、環境を通して行う教育	
4 限	教育課程編成の基準	教育課程に関する法制	
4 限	〃	幼稚園教育課程の基準の変遷	
5 限	幼児教育課程の基本	環境と保育、幼児期にふさわしい生活の展開	
5 限	〃	依存の生活から自立、幼児の主体的な生活	
6 限	〃	遊びと仕事、遊びを通しての総合的な指導	
6 限	〃	自発的活動を促す働きかけ、一人一人の発達の特性に応じた指導	
7 限	基礎となる幼児の姿	「遊び」の理論、「遊び」の教育的意義	
7 限	〃	「楽しさ」をどうとらえるか。	
8 限	目的・目標・ねらい・内容	幼稚園教育の目的と目標、園の教育目標の性格、設定、改善	
8 限	〃	「ねらい」「内容」とその領域、領域と教科の違い	
9 限	教育課程の編成と指導計画の作成	教育課程編成の手順	
9 限	〃	「指導」の意義	
10 限	〃	指導計画の意義	
10 限	〃	指導計画の作成について、内容と手順	
11 限	教育課程の評価	教育評価の意義、指導計画と指導の評価	
11 限	〃	教育課程の評価の内容と指導計画の評価との関連	
12 限	教育課程の実例	具体例の比較・検証	
12 限	指導計画の実例	〃	
13 限	指導計画(長期)の作成	具体例を基に長期(I期)の指導計画を作成	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
14 限	指導計画(短期)の作成	具体例を基に短期(1日)の指導計画を作成	
15 限	〃	〃	
15 限	まとめ	各章ごとに行った演習の振り返り	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 教育方法論	<b>教員名</b> 阿部 温子
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> : 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> : 1年次
<b>開講時期</b> : 前期 ・ 後期 ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  保育者として、これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法・技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技術を身に付ける。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  幼児教育・保育の方法について教科書や資料を基に知識を得ながら、自分の考えを持ち、グループワークで他人の意見も聞きながら、理解を深めていくようにする。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  幼児教育・保育の方法について基礎的な知識を理解し、自分なりの考察ができるようになる。</p>	
	<b>使用教材</b>
	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	幼児教育・保育のための教育方法論
	ミネルヴァ書房
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      科目終末試験                      )</p>	
<p><b>【備考】</b></p> <p style="text-align: center;">*レポート提出で受験資格取得</p> <p style="text-align: center;">*筆記試験60点以上で単位取得</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b>                      有                      ・                      無</p>	
<p><b>【内 容】</b>                      幼稚園教諭としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
教育方法論		15 限	阿部 温子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	教育方法の基礎理論	自分の保育観、子ども観とは？	
	〃	〃	
2 限	〃	フレーベルの理論とは？	
	〃	〃	
3 限	環境を通して行う教育	「環境」とは何か？	
	〃	子どもの育ちと環境について	
4 限	〃	人的環境の保育者の役割	
	〃	〃	
5 限	主体的・対話的で深い学び	アクティブラーニングについて	
	〃	〃	
6 限	〃	幼児教育と「主体的・対話的で深い学び」	
	〃	〃	
7 限	幼児教育の評価	幼児理解に基づいた評価の考え方と方法	
	〃	幼児理解の方法としての記録	
8 限	幼児教育・保育における遊び	幼稚園教育要領における遊び	
	〃	「遊び」＝「学び」について	
9 限	〃	豊かな遊びと学び	
	〃	〃	
10 限	幼児教育・保育における計画	カリキュラム・マネジメントについて	
	〃	教育課程・全体的な計画、指導計画	
11 限	幼児教育・保育におけるICTの活用	幼稚園・保育所におけるICT	
	〃	幼児教育・保育を支援するためのICT活用	
12 限	〃	情報活用能力と幼児教育・保育	
	〃	〃	
13 限	幼児教育・保育のこれから	子どもたちに求められる力	
	〃	〃	
14 限	〃	保育の質を高めるために	
	〃	〃	
15 限	まとめ	レポート課題と試験対策について	
	〃	〃	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 教職概論	<b>教員名</b> 佐々木 全	
<b>科目時間数</b> ： 15 限	<b>授業の種類</b> ： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： 必修・選択	<b>配当学年</b> ： 1年次	
<b>開講時期</b> ： 前期・後期・集中		
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 教育とは何か、教職とは何かを学び、今教育現場で何が求められているのかの理解を深め、教師・保育士の役割について考察し、自らが志向する教師・保育士像を明確にする。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 教師・保育士の役割と倫理及び専門職としての責務を理解し、社会の期待に応える保育を遂行するための基礎的知識を習得する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 教師・保育士として必要な教育観、子ども観、職業観を自らが志向する教師・保育士像を交えて考察、説明できる。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	<改訂>教職入門 未来の教師に向け	萌文書林
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b> ・ 適宜演習題を課す。 ・ 毎時終了前の5分間を、リアクションペーパーの記入時間とする。 ・ ノートを使用する。各自準備すること。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有</p> <p><b>【内容】</b> 特別支援学校教員、高等学校教員 大学及び大学院教員</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
教職概論		15 限	佐々木全
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1 限	教育とは何か	教育の動機、目的の概説、教育観の概説 *教育の対象だった自分と教育を担う自分の立場を対比し説明できる。	
2 限	子どもと共に生きる教師の生	教師を目指す上で大事な意識の概説、指導力の概説 *教育の対象だった自分と教育を担う自分の立場を対比し、教師を目指す動機と目指したい教師像を説明できる。	
3 限	日本における教師の歴史	明治～大正、昭和～現在の概説 *教師を巡る史的経緯を説明し、教師の使命について自分の考えを説明できる。	
4 限	現代社会の子ども	社会的発達概説、仲間と地域の概説 *現代の子どもを取り巻く状況を説明し、その教育的ニーズについて自分の考えを説明できる。	
5 限	幼稚園・保育所の生活と遊び	1日の生活の概説、遊びの概説 *幼稚園・保育所の生活について、自らの幼児期の体験を題材にして、その活動における教育的意図を分析し説明できる。	
6 限	小学校での学習と専科教員	小学校の概説、授業の概説 *小学校の生活について、自らの幼児期の体験を題材にして、その活動における教育的意図を分析し説明できる。	
7 限	学校を支える人々とその仕事	小学校の概説、授業の概説 *小学校の生活について、自らの学童期の体験を題材にして、その活動における教育的意図を分析し説明できる。	
8 限	これまでの総括と演習	これまでの学びをふりかえる。 *学習内容の要点を踏まえ、教師・保育士として必要な教育観、子ども観、職業観について、自らの考えを説明できる。	
9 限	カウンセリングマインド	カウンセリングマインドの概説、特別支援の概説 *子どもや保護者一人一人への対応について、その必要性とそれに応じた方法論について具体的な事例に即して考案し説明できる。	
10 限	教師をめぐる新しい動き	国際化の概説、情報化の概説 *国際化、情報化の状況において求められる教育のあり方について自分の考えを説明できる。	
11 限	教師をめぐる法律	教育法規の概説、教育の改革動向の概説 *コンプライアンス（法令遵守）の必要性について、日常生活における自分（現実我）と、目指す教師像（理想我）を対比させ自分の考えを説明できる。	
12 限	これまでの総括と演習	これまでの学びをふりかえる。 *学習内容の要点を踏まえ、教師・保育士として必要な教育観、子ども観、職業観について、自らの経験を交え具体的に考え説明できる。	
13 限	教育改革とこれからの教師	教育の改革動向の概説 *教育改革の経緯を説明し、これからの社会に求められる教師像と、それに比して現在の自分が習得すべき課題を説明できる。	
14 限	教師の専門性と研修	専門性の概説、研修についての概説 *教師の専門性向上をめざす意義とそのための研修のあり方について説明し、かつ、現在の自分が興味関心を有する専門分野について考え説明できる。	
15 限	総括	これまでの学びをふりかえる。 *教師の現状に関する具体的な逸話をもとに、教師・保育士として必要な教育観、子ども観、職業観について具体的に考え説明できる。	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 教育実習事前事後指導	<b>教員名</b> 橋場 早苗
<b>科目時間数</b> : 7.5 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 2年次
<b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>①幼稚園の機能と役割について学ぶ。                  ②幼稚園教諭の職務と役割を理解する。                  ③幼稚園の子どもたちの発達段階を理解し計画を立案する。                  ④教育実習の目的や意義を理解する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>幼稚園の機能や内容、教育実習の目的や意義を理解すること、専門教育科目で習得した知識や技能と幼稚園における教育実践とを具体的に統合することによって教育実習に対する意欲や課題意識を高める。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>	
	<b>使用教材</b>
	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	幼稚園事前実習指導
"	幼稚園実習実習日誌（1回目）
	近畿大学九州短期大学通信教育部
	"
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（                      ）</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他（                      ）</p>	
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：試験の結果、A(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有・無</p> <p><b>【内容】</b> 幼稚園教諭としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
教育実習事前事後指導		7.5 限	橋場 早苗
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	幼稚園実習の内容理解	スクーリングの日程・内容についての説明	
		ビデオ視聴「幼稚園の一日」観察と考察（振り返り）	
2 限		①幼稚園実習で学ぶこと ②幼稚園現場での新しい動き	
		〃	
3 限	実習事前準備、心構えの再確認	幼稚園教育の特色・実習の心構え等の確認テスト	
	実習事後についての理解	実習事後について・実習報告書の記入の仕方・実習のお礼状の書き方	
4 限		・実習評価について・実習事後の園とのやり取りについて	
		〃	
5 限	実習の実際と演習・まとめ	グループワーク・模擬保育（子どもの心を引き付ける工夫）	
		〃	
6 限		〃	
		〃	
7 限		〃	
		〃	
7.5 限		まとめ	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育内容総論	<b>教員名</b> 阿部 温子	
<b>科目時間数</b> : 7.5 限	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> : 1年次 <span style="margin-left: 50px;"><b>開講時期</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中</span>	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                      保育の内容とは何か、それを保育という営みの中でどのように展開するのか、多面的に捉えながら理解する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                      幼稚園、保育所、認定こども園の違いと共通する点を踏まえた上で、保育内容・保育の全体的構造を理解する。また保育の多様な展開に対応できる知識や技術を身に付ける。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                      当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得できるようになる。</p>		
	使用教材	出版社
プリント資料適宜配布		
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      <input checked="" type="checkbox"/> 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート                      <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席                      <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p style="text-align: center;">*レポートの内容、授業態度等で評価する</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b>                      <input checked="" type="checkbox"/> 有                      ・                      無</p>		
<p><b>【内容】</b>                      幼稚園教諭としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
保育内容総論		7.5 限	阿部 温子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	保育の特性	幼稚園と保育所の保育の特性について理解する	
	保育の基本	基本を踏まえた保育について確認する	
2 限	〃	〃	
	〃	〃	
3 限	養護と教育の一体	保育所保育指針に基づく保育内容の理解	
	〃	〃	
4 限	〃	“事例”を通しての一体的保育についての理解	
	こども理解と発達の捉え方	こどもを“みる”ことの意味について探る	
5 限	〃	こどもの“行為”に現れる意味について探る	
	〃	発達を“過程”として捉えることによる「こども理解」	
6 限	〃	様々な事例により考える	
	あそびの総合性	自発的なあそびによる総合性に理解を深める	
7 限	〃	具体的事例により考える	
	保育の多様化とこれからの課題	少子化時代の子育て支援と保育制度について	
7.5 限	〃	認定子ども園について	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 教育実習	<b>教員名</b> 橋場 早苗	
<b>科目時間数</b> : 108	<b>限</b> <b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>	
<b>必修・選択の別</b> : <u>必修</u> ・ 選択	<b>配当学年</b> : 2.3年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・ <u>集中</u>	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  ①幼稚園の1日の生活の流れと生活や遊びの概要を理解する。②遊び・生活場面での子どもの発達段階を理解する。③幼稚園教諭の職務と役割を学ぶ。④幼稚園教諭としての保育技術の習得と態度を育成する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  幼児教育に関する知識、技能を活用しながら体験的、総合的に認識を深め、幼児教育に関わる理論と実践を統合していく。前期実習では、幼稚園においてどのような活動がどのような方法で行われているかを把握する。後期実習では、部分、前日実習を通して、幼稚園教諭としての教育技術の習熟および態度の育成、家庭との連携の内容・方法を理解する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	幼稚園事前実習指導	近畿大学九州短期大学通信教育部
"	幼稚園実習実習日誌 (1回目)	"
"	幼稚園実習実習日誌 (2回目)	"
<p><b>【使用教室】</b>                  1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      <u>7. その他</u> ( 実習園</p>		
<p><b>【評価方法】</b>                  1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度                  5. 実技試験                      <u>6. その他</u> ( 実習評価</p>		
<p><b>【備考】</b>                  評価について：実習評価により評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <u>有</u> 無  <b>【内容】</b> 幼稚園教諭としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
教育実習		108 限	橋場 早苗
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
54 限	(2年次) 「観察・参加実習」 I. 幼児の姿を理解する II. 保育者の姿から保育の手がかりを得る III. 教材や用具などの環境を把握する iv. 幼児の実態に合わせた保育を考える	①観察・参加実習 (園や幼児の様子を観察する)	
		・園の1日の生活の流れを理解する。	
		・幼児の名前を覚え、園生活での様子を観察する。	
		・幼児同士のかかわりや友達関係について観察する。	
		②観察・参加実習 (幼児に対する教師のかかわりの仕方を観察する)	
		・教師が幼児にどのようにかかわっているのかを観察する。	
		・クラスの特徴や教師の援助について理解する。	
		・幼稚園教諭の職務と役割を学ぶ。	
		③観察・参加実習 (1人1人の幼児理解と活動内容)	
		・遊びや生活の場面での幼児の発達段階を知る。	
		・生活の中でどのような活動がどのような方法で行われているのかを学ぶ。	
		④観察・参加実習 (教材や資料などを把握する)	
	・環境設定の工夫や留意点について学ぶ		
	・教材や用具の選択や数量の確保がどのように行われているのかを知る。		
	「部分実習」保育の一部分を担当する実習…1人1人の幼児が充実した楽しい生活を過ごせるような保育内容を考える。	⑤部分実習…保育の一部分を担当する実習	
		・朝の活動の部分実習…出席確認・朝のうた・手遊び等	
		・中心活動の部分実習…製作・ゲーム・体操等	
		・昼食の部分実習…給食の準備・お当番活動・食事の援助等	
		・帰りの活動の部分実習…絵本・紙芝居・手遊び・帰りのうた (等)	
		⑥部分実習 (部分実習の留意点)	
		・担任教師の指導のもとに指導計画を立案する。	
		・幼児の実態を把握し、実態に即した活動内容を考える。	
	「全日実習」1日の保育をすべてを担当する実習…一日の流れを意識し、指導計画を立案する。	⑦全日実習…1日の保育をすべてを担当する実習	
		・担任教師の指導のもとに指導計画を立案する。	
・「ねらい」「内容」「環境構成」「活動」「援助」を考える。			
・幼児の興味・関心を考慮し適切な指導を心がける。			
実習のまとめ	⑧実習の評価・反省		
	・実習を振り返り、自己評価・反省・今後の課題を探る。		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
54	(3年次)「観察・参加実習」Ⅰ. 幼児の姿を理解する Ⅱ. 保育者の姿から保育の手がかりを得る Ⅲ. 教材や用具などの環境を把握する iv. 幼児の実態に合わせた保育を考える	①観察・参加実習(幼児に対する教師のかかわりの仕方を観察する)
		・教師が幼児にどのようにかかわっているのかを観察する。
		・クラスの特徴や教師の援助について理解する。
		・幼稚園教諭の職務と役割を学ぶ。
		②観察・参加実習(1人1人の幼児理解と活動内容)
		・遊びや生活の場面での幼児の発達段階を知る。
		・生活の中でどのような活動がどのような方法で行われているのかを学ぶ。
		・幼児同士のかかわりや友達関係について観察する。
		③観察・参加実習(教材や資料などを把握する)
		・環境設定の工夫や留意点について学ぶ
		・教材や用具の選択や数量の確保がどのように行われているのかを知る。
		「部分実習」保育の一部分を担当する実習…1人1人の幼児が充実した楽しい生活を過ごせるような保育内容を考える。
	・朝の活動の部分実習…出席確認・朝のうた・手遊び等	
	・中心活動の部分実習…製作・ゲーム・体操等	
	・昼食の部分実習…給食の準備・お当番活動・食事の援助等	
	・帰りの活動の部分実習…絵本・紙芝居・手遊び・帰りのうた(等)	
	⑤部分実習(部分実習の留意点)	
	・担任教師の指導のもとに指導計画を立案する。	
	・幼児の実態を把握し、実態に即した活動内容を考える。	
	・活動の意味や目的を明確にする。	
	・前後の活動から部分指導を行う関連性を考える。	
「全日実習」1日の保育をすべてを担当する実習…一日の流れを意識し、指導計画を立案する。	⑦全日実習…1日の保育をすべてを担当する実習	
・担任教師の指導のもとに指導計画を立案する。		
・「ねらい」「内容」「環境構成」「活動」「援助」を考える。		
・幼児の興味・関心を考慮し適切な指導を心がける。		
・発達段階を考慮し各年齢で成長の過程に沿った活動を取り入れる。		
・時期(季節感)を考えた活動を準備する。		
・十分な教材研究を行い活動の展開を予測し、ねらいを達成できるようにする。		
実習のまとめ	⑧実習の評価・反省	
・実習を振り返り、自己評価・反省・今後の課題を探る。		



科目名 教育相談		科目時間総数 15 限	教員名 東 信之
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1. 2限	教育相談シラバス	教育相談の学びについて理解する。	
	理論と技法	教育相談の理論と主な技法について理解する。	
3. 4限	理論と技法	教育相談の理論と主な技法について理解する。	
	登園しぶり	登園しぶりの原因、背景、指導について理解できる	
5. 6限	観察法	観察法について理解する。	
	個別理解と集団理解	個と集団の関係における発達について理解できる。	
7. 8限	育児不安	保護者の育児不安の背景、保護者への配慮について理解する。	
	養育困難	保護者が育児不安になる原因、育児不安への対処について理解する。	
9. 10限	児童虐待	児童虐待の背景、保護者への支援について理解する。	
	保護者の精神疾患	保護者の精神疾患について、その特徴と支援について理解する。	
11. 12限	幼児の不応行動	幼児のさまざまな不応行動、指導の方法について理解する。	
	発達障がい	発達障がいの特徴、支援の方法について理解する。	
13. 14限	教育相談体制	園での教育相談体制について理解する。	
	外部機関	地域を含めたさまざまな教育相談機関について理解する。	
15限	まとめ	教育相談の学びについて振り返る。	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育・教職実践演習	<b>教員名</b> 橋場 早苗
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 3年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  ①保育者としての資質能力を総点検する。②自己課題を見つけだし、不足している知識・技能の補いを自己学習によって獲得する。③乳幼児への理解力や保育技術が保育実践の場で発揮できるようになる。④学級運営や集団作りの視点を学び、指導力を身につける。⑤社会性や対人関係能力を身につける。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  保育者として必要な資質能力を確実に身につけているかどうか確認し、保育の現場で求められる実践力の形成を目指す。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>	
	<b>使用教材</b>
学生用・教員用 共通	保育・教職実践演習
	<b>出版社</b>
	近畿大学九州短期大学通信教育部
<p><b>【使用教室】</b>                  1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>	
<p><b>【評価方法】</b>                  1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度                  5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>	
<p><b>【備考】</b>                  出席 (20点) 、提出物 (20点) 、意欲・態度 (30点) 、レポート (30点)                  合計100点中60点以上合格</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 無  <b>【内容】</b> 幼稚園教諭としての実務経験</p>	

科目名 ども福祉 保育・教職実践演習		科目時間総数 15 限	教員名 橋場 早苗
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	イントロダクション (授業概要と授業方法)	「保育・教職実践演習」の意義とねらい	
		・実習を終えた学生に保育者としての最小限必要な資質能力が形成されているか振り返り定着を目指す。	
2 限		↓ 資質能力が形成されているか振り返り定着を目指す。	
	学びを通して得られた知識と技術の確認	↓ これまでの学修を振り返る「保育・教職実践演習」の趣旨の理解	
3 限	グループワーク・学級経営や集団作り	創作活動を取り入れたプログラム、まとめと発表	
		↓ ・新しい園の構想（ハード面・ソフト面）	
4 限	保育者に求められる基本的事項と保育技術	「保育とは、保育者の仕事とは」	
		↓ ・保育者の社会的使命と役割	
5 限		↓ ・専門職としての保育者の仕事	
		「自ら育つ保育者となるために」	
6 限		↓ ・保育者に求められる基本的事項と人間関係能力	
		↓ ・保育者に求められる保育技術	
7 限	保育者としての資質・能力の総点検	「履修カルテ」作成の意義	
		「履修カルテ」の作成（履修カルテ①、履修カルテ②）	
8 限	保育実践と自己課題	「履修カルテ」の活用（振り返りと自己課題の確認）	
		保育者としての自己課題から研究課題設定	
9 限		↓ ・自己課題を見つけだし不足している知識・技能の	
		↓ 補いを自己学習によって獲得する。	
10 限	グループワークとフィールドワーク（保育内容を体系的・系統的に理解すると共に、保育実践の基本的な事項や保育技術を身に付ける。）	グループ毎に研究テーマ・内容についての研究討議	
		課題研究（内容、アプローチの仕方）	
11 限		課題研究（調べ学習、アンケート作成、事例研究等）	
		課題研究（事前準備、内容のまとめ）	
12 限		課題研究（園訪問、アンケート調査、実践活動等）	
		課題研究（実態調査、職場体験、大学訪問等）	
13 限		課題研究の調査結果のまとめ（パワーポイント）	
		フィールドワークで何を学んだのか、振り返りと評価	
14 限	成果報告（プレゼンテーション）	研究発表①	
		研究発表②	
15 限		↓	
	保育者としての使命感・責任感・倫理観について学ぶ	振り返りとまとめ	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育・教職実践演習	<b>教員名</b> 橋場 早苗
<b>科目時間数</b> : 7.5 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 3年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>① 保育者としての資質能力を総点検する。                  ② 保育者としての人間性を高め、保育・教職に対する使命感や責任感、倫理観を醸成する。                  ③ 保育実践における保育内容等への指導力を身に付ける。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>保育者として必要な資質能力を確実に身につけているかどうか確認し、保育の現場で求められる実践力の形成を目指す。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>	
	<b>使用教材</b>
学生用・教員用 共通	保育・教職実践演習
	<b>出版社</b>
	近畿大学九州短期大学通信教育部
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度                  5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>	
<p><b>【備考】</b></p> <p>出席 (20点) 、提出物 (20点) 、意欲・態度 (30点) 、レポート (30点)</p> <p style="text-align: right;">合計100点中60点以上合格</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 無</p> <p><b>【内容】</b> 幼稚園教諭としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
保育・教職実践演習		7.5 限	橋場 早苗
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	保育の場における保育実践力とは何かを省察する。	保育・教職実践演習、授業の概要について	
		授業の目標（観点別行動目標）	
2 限		講義 「保育の場における保育実践力とは」	
		演習 ①3年間の学びを通して	
3 限		②グループワーク	
		「創作活動を取り入れたプログラム、理想の幼稚園・保育園作り」	
4 限	保育者の使命と役割について理解し、保育者に求められる資質能力について確認する。	講義 ①地域社会における保育所の社会的使命と役割	
		②保育所保育士の使命と責任、役割	
5 限		③昔と今、子育ての変化と子どもの生活の変化について	
		④どのような保育者が望まれるのか、保育実践力とは	
6 限		演習 グループワーク「理想の幼稚園・保育園の園目標、保育	
7 限		方針、カリキュラム、行事予定等、パワーポイントや製作	
7.5 限		活動を通して学ぶ」	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育実習事前事後指導 I (保育所)	<b>教員名</b> 諏訪泉		
<b>科目時間数</b> : 3.75	限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 3年次	<b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  保育実習の意義・目的を理解するとともに、実習に臨む心構えを作る。実習の課題・目的を達成するために事前の準備や学習を深める。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  保育実習を円滑に行うために、保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習の意義・目的を理解するとともに、実習に臨む心構えを作る。実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>			
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>	
学生用・教員用 共通 ”	保育実習 保育所実習日誌	中央法規 県内保育士養成校	
<p><b>【使用教室】</b>                  1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>			
<p><b>【評価方法】</b>                  1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度                  5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>			
<p><b>【備考】</b>                  遅刻、欠席、時間欠課なく受講、意欲（事前準備を含む）、授業態度、提出物、試験を総合して評価する。</p>			
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 無  <b>【内容】</b> 保育士としての実務経験</p>			

科目名 保育実習事前事後指導Ⅰ(保育所)		科目時間総数 3.75 限	教員名 諏訪泉
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	保育とは何か	①保育士資格とその背景 ②国家資格としての保育士	
		③保育実習の意義と目的 ④なぜ保育所と施設で実習するのか	
		⑤保育士の仕事	
		⑥実習生に望まれること	
		⑦資格取得を目指す人へ望まれること	
2 限	試験	作文「今までの私、これからの私」	
	実技「あいさつ」	テーマ「あいさつ」 折り紙・新聞紙・体を使った交流	
	〃	〃	
3 限	指導案作製と実践	・各自指導案を作成しグループごとに実践する。	
		↓	
3.75 限	まとめ	指導案の検討会とまとめ	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育実習事前事後指導 I (施設)	<b>教員名</b> 高橋立	
<b>科目時間数</b> : 3.75 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 2年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>保育実習を円滑に行うために、保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習の意義・目的を理解するとともに、実習に臨む心構えを作る。実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>保育実習を円滑に行うために、保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習の意義・目的を理解するとともに、実習に臨む心構えを作る。実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	施設実習ガイド	萌文書林
" "	保育園実習日誌	岩手県保育士養成校
" "	施設実習日誌	"
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79~70点) C (69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 無</p> <p><b>【内容】</b> 障害児施設職員としての実務経験</p>		

科目名 保育実習事前事後指導Ⅰ（施設）		科目時間総数 3.75 限	教員名 高橋 立
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	実習課題の設定①	実習研究で学んだ実習に求められる内容に即した実習課題の設定	
	実習課題の設定②	設定された実習課題を「動機」「課題達成方法」に分類し、実習計画に盛り込む	
2 限	実習課題の設定③	設定された実習課題を「動機」「課題達成方法」に分類し、実習計画に盛り込む	
	実習課題の考察	実習後における、自身の実習体験の振り返りと実習課題の考察	
3 限	実習報告書の作成①	実習報告会に向けた実習報告書の作成	
	実習報告書の作成②	実習報告会に向けた実習報告書の作成	
3.75 限	実習報告会	実習報告会	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育実習 I (保育所)	<b>教員名</b> 松好伸一	
<b>科目時間数</b> : 45 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>	
<b>必修・選択の別</b> : <u>必修</u> ・ 選択	<b>配当学年</b> : 3年次 <b>開講時期</b> : 前期 ・ 後期 ・ <u>集中</u>	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  保育現場での実践を通して、保育者の働きを学び、 保育者を志すものとしての自身の課題に向き合う。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  既習の知識や技能を基盤として、総合的に関連づける力、保育実践に知識や技能を応用する力を養う。保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>		
	使用教材	出版社
学生用・教員用 共通 " "	保育実習 保育園実習日誌	中央法規 県内保育者養成校
<p><b>【使用教室】</b>                  1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      <u>7. その他</u> ( 実習園</p>		
<p><b>【評価方法】</b>                  1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度                  5. 実技試験                      <u>6. その他</u> ( 実習評価</p>		
<p><b>【備考】</b>                  評価について：実習評価により評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <u>有</u> 無  <b>【内容】</b> 保育士としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
保育実習Ⅰ（保育所）		45 限	松好伸一
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
45 限	保育所の機能や役割	①観察・参加実習（園や幼児の様子を観察する）	
	観察・参加実習（子ども）	・園の1日の生活の流れを理解する。	
		・幼児の名前を覚え、園生活での様子を観察する。	
		・幼児同士のかかわりや友達関係について観察する。	
	観察・参加実習（保育士の動き）	②観察・参加実習（幼児に対する保育士の援助について）	
		・保育士が子どもにどのようにかかわっているのかを観察する。	
		・クラスの特徴や保育士の援助について理解する。	
	子ども理解	・保育士の職務と役割を学ぶ。	
		③観察・参加実習（1人1人の子ども理解と活動内容）	
		・遊びや生活の場面での幼児の発達段階を知る。	
	部分実習	・1日の生活がどのような流れで行われているのかを学ぶ。	
		・午睡時の準備、子どもの動きについて知り、援助方法を学ぶ	
		④観察・参加実習（教材や資料などを把握する）	
		・環境設定の工夫や留意点について学ぶ	
		・清潔・安全の確保について学ぶ。	
		⑤部分実習…保育の一部分を担当する実習	
		・朝の活動の部分実習…出席確認・朝のうた・手遊び等	
		・中心活動の部分実習…製作・ゲーム・体操等	
		・昼食の部分実習…給食の準備・お当番活動・食事の援助等	
		・帰りの活動の部分実習…絵本・紙芝居・手遊び・帰りのうた（等）	
全日実習	⑥部分実習（部分実習の留意点）		
	・実習指導者のもとに指導計画を立案する。		
	・子どもの実態を把握し、実態に即した活動内容を考える。		
	・活動の意味や目的を明確にする。		
	・前後の活動から部分指導を行う関連性を考える。		
	⑦全日実習…1日の保育をすべて担当する実習		
	・実習指導者の指導のもとに指導計画を立案する。		
	・「ねらい」「内容」「環境構成」「活動」「援助」を考える。		
・子どもの興味・関心を考慮し適切な指導を心がける。			
・時期（季節感）を考えた活動を準備する。			
・十分な教材研究を行い活動の展開を予測し、ねらいを達成できるようにする。			
⑧実習の評価・反省		・実習を振り返り、自己評価・反省・今後の課題を探る。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
	子どもたちの発達過程の理解と適切な援助	<p>①観察・参加実習（幼児に対する教師のかかわりの仕方を観察する）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が幼児にどのようにかかわっているのかを観察する。</li> <li>・クラスの特徴や教師の援助について理解する。</li> <li>・幼稚園教諭の職務と役割を学ぶ。</li> </ul> <p>②観察・参加実習（1人1人の幼児理解と活動内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや生活の場面での幼児の発達段階を知る。</li> <li>・生活の中でどのような活動がどのような方法で行われているのかを学ぶ。</li> <li>・幼児同士のかかわりや友達関係について観察する。</li> </ul> <p>③観察・参加実習（教材や資料などを把握する）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境設定の工夫や留意点について学ぶ</li> <li>・教材や用具の選択や数量の確保がどのように行われているのかを知る。</li> </ul> <p>④部分実習…保育の一部分を担当する実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の活動の部分実習…出席確認・朝のうた・手遊び等</li> <li>・中心活動の部分実習…製作・ゲーム・体操等</li> <li>・昼食の部分実習…給食の準備・お当番活動・食事の援助等</li> <li>・帰りの活動の部分実習…絵本・紙芝居・手遊び・帰りのうた（等）</li> </ul> <p>⑤部分実習（部分実習の留意点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育指導者の指導のもとに指導計画を立案する。</li> <li>・子どもの実態を把握し、実態に即した活動内容を考える。</li> <li>・活動の意味や目的を明確にする。</li> <li>・前後の活動から部分指導を行う関連性を考える。</li> </ul> <p>⑧実習の評価・反省</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習を振り返り、自己評価・反省・今後の課題を探る。</li> </ul>
	専門職としての保育士の役割と職業倫理	<p>①保育士の業務内容を理解する</p> <p>②職員間の役割分担や連携を理解する</p> <p>③保育士としての役割と職業倫理の理解をする</p> <p>④子育て支援について学ぶ</p> <p>⑤延長保育について学ぶ</p> <p>⑥保護者支援にについて学ぶ</p>

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育実習 I (施設)	<b>教員名</b> 竹内愛美	
<b>科目時間数</b> : 45 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ (実習)	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・(選択)	<b>配当学年</b> : 2年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・(集中)	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>既習の知識や技能を基盤として、総合的に関連づける力、保育実践に知識や技能を応用する力を養う。保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>既習の知識や技能を基盤として、総合的に関連づける力、保育実践に知識や技能を応用する力を養う。保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	保育実習事前指導	近畿大学九州短期大学通信教育部
"	施設実習日誌	"
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (実習施設)</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (実習評価)</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：実習評価により評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> (有) 無</p> <p><b>【内容】</b> 障害者施設職員としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
保育実習 I (施設)		45 限	竹内愛美
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
45 限	実習施設についての理解 児童・利用者の理解	実習施設の概要理解・設立理念と養護、支援目標の理解 施設の生活に参加し、1日の生活の流れを理解	
	児童・利用者の理解 児童（利用者）のニーズの理解	施設の生活に参加し、1日の生活の流れを理解 児童（利用者）や保育士とともに生活し施設の生活状況を理解	
	児童（利用者）のニーズ理解	観察を通して、児童（利用者）の実態を理解 児童（利用者）と生活を共にし、積極的に関わることを通して、（利用者）のニーズを理解	
	児童（利用者）のニーズ理解	観察を通して、児童（利用者）の実態を理解 児童（利用者）と生活を共にし、積極的に関わることを通して、児童（利用者）のニーズを理解	
	援助計画の理解	援助計画の意味、援助の実態の理解 年齢、発達その他個人の特性などに応じた援助計画のあり方を理解	
	養護時術の習得	保育士の援助の実態を通して、養護技術を理解 児童（利用者）の個別性に配慮した養護のあり方を理解	
	児童（利用者）の最善の利益を具現化する方法を理解	児童（利用者）との関わりを通じて、児童（利用者）にとってよりよい生活や関わりのある方法について理解 児童（利用者）の最善の利益を追求する施設全体の取り組みについて理解	
	施設・家庭・地域社会との連携について理解	施設と家庭との連携、保育士と保護者との連携、地域の社会資源との連携について理解	
	保育士の倫理観を具体的に理解	守秘義務の遵守、個人のプライバシーがどのように守られているのか理解	
	安全及び疾病予防について理解	施設や保育士の児童（利用者）に対する安全配慮について理解	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 音楽（器楽）	<b>教員名</b> 中村千佳	
<b>科目時間数</b> ：            30	<b>限</b> <b>授業の種類</b> ： <u>講義</u> ・ <u>演習</u> ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ：            必修・ <u>選択</u>	<b>配当学年</b> ： 1年 <b>開講時期</b> ： <u>前期</u> ・ <u>後期</u> ・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 保育の現場で必要なピアノの基礎を段階的に習得することを目指す。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> ピアノ奏法についての基礎技能を身に付け、保育者として必要な演奏力を身に付ける。特に1年次においては正確な読譜力と音楽を自分で表現することの楽しさを得ることを目指す。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な技能を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
	音楽    ピアノ教本	近畿大学九州短期大学
<p><b>【使用教室】</b> 1. HR                    2. 介護実習室                    3. 家政実習室                    4. 視聴覚室 5. PC実習室            6. 接遇実習室                    <u>7. その他</u>（音楽室）</p>		
<p><b>【評価方法】</b> 1. 筆記試験                    2. レポート                    <u>3. 出席</u>                    <u>4. 授業態度</u> <u>5. 実技試験</u>                    6. その他（                    ）</p>		
<p><b>【備考】</b></p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b>                    <u>有</u>                    ・                    無</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b>                    ピアノ講師</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
音楽(器楽)		30 限	中村千佳
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	ピアノ実技	【幼児と音楽表現】	
2 限		音価の練習 5指の練習 ハ長調の音階 左手のコード	
3 限		ちょうちょう かえるの合唱 バイエル48番	
4 限		バイエル66番	
5 限		むすんでひらいて いとまき	
6 限		うさぎとかめ	
7 限		虫の声	
8 限		やきいもグーチーパー	
9 限		5指の練習ト長調 ト長調音階	
10 限		ちょうちょう	
11 限		ビーマーチ	
12 限		きらきらぼし	
13 限		バイエル97番	
14 限		バイエル73番	
15 限		バイエル78番	
16 限		5指の練習へ長調 へ長調音階	
17 限		左手のコード チューリップ	
18 限		ぶんぶんぶん	
19 限		ジングルベル	
20 限		お正月	
21 限		5指の練習ニ長調	
22 限		ニ長調音階 左手のコード	
23 限		とんとんとんとんひげじいさん	
24 限		おててを洗いましょう	
25 限		しゃぼん玉	
26 限		ミッキーマウスマーチ	
27 限		メリーさんのひつじ	
28 限		バイエル96番	
29 限		バイエル80番	
30 限		バイエル100番	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 音楽(器楽)	<b>教員名</b> 岩泉昌子	
<b>科目時間数</b> : 30 限	<b>授業の種類</b> : 講義・演習・実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 2年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                      保育現場に必要なピアノの基礎を、段階的に習得することを目指す。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                      ピアノ奏法についての基礎技能を身に付け、保育者として必要な演奏力をつける。歌は幼児教育に欠かせないものであり、音楽を自分で表現することの楽しさを得ることを目指す。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                      当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な技能を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
	音楽 ピアノ教本	近畿大学九州短期大学
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                      5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 ( 音楽室A・B</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度                      5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> (有) 無  <b>【内容】</b> ピアノ講師としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
音楽（器楽）		30 限	岩泉 昌子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	お花がわらった、先生とおともだち	へ長調、ハ長調のコード。片手奏、分担奏、ソロ演奏	
2 限	ことりのうた、こいのぼり	ニ長調のコード。片手奏、分担奏、ソロ演奏	
3 限	めたかの学校、とけいのうた	片手奏、分担奏、ソロ演奏。強弱の表現。	
4 限	あめふりくまのこ	ニ長調のコード。メロディの音価の確認。片手奏、分担奏、ソロ演奏	
5 限	おばけなんてないさ	ト長調。三連音符の弾き方。片手奏、分担奏、ソロ演奏	
6 限	つき	へ長調、分散和音。片手奏、分担奏、ソロ演奏	
7 限	とんぼのめがね	ハ長調、分散和音、片手奏、分担奏、ソロ演奏	
8 限	大きな栗の木の下で	ハ長調のコード。、片手奏、分担奏、ソロ演奏	
9 限	やさいもグーチーパー	ハ長調、分散和音。メロディのはずんだリズム。片手奏、分担奏、ソロ演奏	
10 限	どんぐりころころ	ハ長調。16分音符。同音連続の弾き方。片手奏、分担奏、ソロ演奏	
11 限	まつぼっくり	へ長調。歌詞に合ったメロディの弾き方。片手奏、分担奏、ソロ演奏	
12 限	たき火	ハ長調。片手奏、分担奏、ソロ演奏	
13 限	豆まき	ニ長調。片手奏、分担奏、ソロ演奏	
14 限	うれしいひなまつり	ハ短調。日本の旋律。片手奏、分担奏、ソロ演奏	
15 限	思い出のアルバム	ハ長調。メロディを美しく表現する。片手奏、分担奏、ソロ演奏	
16 限	おべんとう、おかえりのうた	ハ長調。元気よく楽しく弾く。	
17 限	おうま、かわいいかくれんぼ	へ長調。馬の足音をイメージして明るく弾く。	
18 限	おはなし	へ長調。歌詞を大切にやさしく。	
19 限	ハッピーバースデー	へ長調。ペダルも使ってみる。	
20 限	アイアイ	ハ長調。よく知っている曲。らてんのリズムにのる。	
21 限	ありさんのおはなし	ニ長調。かわいらしく弾く。	
22 限	おつかいありさん	ニ長調。軽い感じで演奏する。	
23 限	おんまはみんな、ぞうさん	へ長調。動物を思い浮かべてみる。	
24 限	森のくまさん	ハ長調。フレーズを意識してたのしく演奏する。	
25 限	かもつ列車	ハ長調。楽しく演奏する。	
26 限	せっけんさん	へ長調。優しいきもちで弾く。	
27 限	幸せなら手をたたこう	へ長調。弾むりずむで弾く。	
28 限	おもちゃのマーチ	へ長調。歌詞に合わせて表現する。	
29 限	ともだち讃歌	ハ長調。行進曲風に弾く。	
30 限	復習	今までの復習。	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 音楽（声楽）	<b>教員名</b> 大縄方子	
<b>科目時間数</b> ： 30 限	<b>授業の種類</b> ： 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> ： 1年次 <b>開講時期</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>「歌」は幼児教育に欠かせないものであり、保育者自身が範を示しうるために必要な技術を身につける。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>正しい発声法と読譜力の習得を目指し、練習曲を中心にグループ又は個人指導を行う。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>幼児教育の現場で保育者自身が範を示せるように、楽しくはっきりと声を出して歌えるようにする。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用共通	音楽Ⅰ（声楽教本・ピアノ教本）	近畿大学九州短期大学通信教育部
〃	音楽Ⅰ レッスンカード	〃
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      <input checked="" type="checkbox"/> 7. その他（音楽室A・B）</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席                      <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 5. 実技試験                      6. その他（                      ）</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>&lt;単位認定条件&gt;</p> <p>実技試験80点＋授業態度等20点＝100点満点 60点以上を合格とする</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b>                      <input checked="" type="checkbox"/> 有                      ・ 無</p>		
<p><b>【内容】</b>                      声楽・ピアノ講師</p>		

科目名 音楽（声楽）		科目時間総数 30 限	教員名 大縄方子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1 限	2度音程・3度音程	コールユーブンゲン1～5	★随時全体練習後個別チェックあり
2 限	3度音程・4度音程	コールユーブンゲン6～10	
3 限	4度音程	〃	コンコーネ1
4 限	〃	コールユーブンゲン11～13	〃
5 限	〃	〃	〃
6 限	〃	コールユーブンゲン14～15	〃
7 限	〃	〃	コンコーネ2
8 限	5度音程	コールユーブンゲン18～19	〃
9 限	〃	〃	〃
10 限	幼児の歌	大きな栗の木の下で	はをみがきましょう
11 限	〃	〃	〃
12 限	〃	はをみがきましょう	手をたたきましょう
13 限	〃	〃	〃
14 限	〃	〃	〃
15 限	試験準備	復習	試験対策
16 限	シンコペーション	コールユーブンゲン20～23	コンコーネ3
17 限	6度音程	コールユーブンゲン25～26	〃
18 限	〃	〃	〃
19 限	7度音程	コールユーブンゲン28～32	〃
20 限	〃	〃	コンコーネ5
21 限	転調	コールユーブンゲン34～40	〃
22 限	〃	〃	〃
23 限	幼児の歌	おかたづけ	まつぼっくり
24 限	〃	〃	〃
25 限	〃	あくしゅでこんにちは	かたつむり
26 限	試験準備	復習	試験対策
27 限	幼児の歌	たなばたさま	あめふりくまのこ
28 限	〃	〃	〃
29 限	〃	豆まき	先生とおともだち
30 限	〃	〃	〃

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 音楽（声楽）	<b>教員名</b> 小玉 充子	
<b>科目時間数</b> ： 30 限	<b>授業の種類</b> ： <input type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> ： 2年次 <b>開講時期</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 「歌」は幼児教育に欠かせないものであり、保育者自身が範を示しうるために必要な技術を身につける。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> ピアノ奏法についての基礎知識と保育者として必要な演奏力を身につける。特に1年次においては、正確な読譜力と発声法を習得し、模範を示しうるだけの技量を身につけることができるように歌唱による音楽表現の強化を図る。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な技能を習得する。</p>		
	使用教材	出版社
	音楽（声楽教本） 音楽（ピアノ教本） 音楽レッスンカード	近畿大学九州短期大学
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      <input checked="" type="checkbox"/> 7. その他（音楽室）</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 実技試験                      6. その他（                      ）</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：実技試験の結果、（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p><b>【内容】</b> ピアノ講師としてのとしての実務経験有り</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
音楽 (声楽)		30 限	小玉 充子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	幼児と音楽表現 ①コールユーブンゲン		声楽テキスト歌曲 ○腹式呼吸→発声法を通して詩を言葉にして (理解して) 伝える事を習得する ○選曲は四季折々に合わせ、選曲しながら歌う (2年目も継続)
2 限	二度音程		
3 限			
4 限	三度音程	③コンコーネNo1	
5 限			
6 限			
7 限	②四度音程		
8 限			
9 限		コンコーネNo2	
10 限			
11 限			
12 限			
13 限			
14 限	コールユーブンゲン 1～15までのまとめ	コンコーネNo1～2 まとめ	
15 限			
16 限	音楽表現技術 ①五度音源		④幼児の歌
17 限			ピアノ科目と連携しながら進めていく
18 限			まずは歌の指導から入る。
19 限			
20 限			
21 限			
22 限			
23 限	②六度音源		
24 限			
25 限		②コールユーブンゲン 七度音程	
26 限		③長音階・転調は 2年生から	
27 限			
28 限			
29 限	①、②のまとめ		
30 限			2年目まで続く

## 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> リトミック	<b>教員名</b> 山本範子	
<b>科目時間数:</b> 20	<b>限</b> <b>授業の種類:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 講義    ・    演習    ・    実習	
<b>必修・選択の別:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	<b>配当学年:</b> 3年次 <b>開講時期:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>  リトミックとは、何を目的にどのような活動をするのかを、年齢別の指導法を各自のリズムトレーニングを通して学ぶ。2拍子の基礎リズムを中心に、リズムを打ち、ステップし、即時反応・空間・想像力・集中力などを体験する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>  年齢別によるリトミックを理解した上で、子供たちと向かい合い、表現する喜びを深めることにより、音楽的感性の向上を図る。3歳児への指導法を各自のリズムトレーニングを通して学ぶ。2拍子の基礎リズムを中心に、リズムの持つ「タイム(T)」「スペース(S)」「エネルギー(E)」を体験する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>  3歳児向けのティーチングの内容を理解し応用出来ること。  2拍子の基礎リズムを中心にリズムトレーニングを行うことにより、リズムの持つ「タイム(T)」「スペース(S)」「エネルギー(E)」を体験し、各自のリズム感や向上が期待できる。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
	幼・保のためのリトミック3 カラーボード、スティック 資格認定リズム課題練習CD	特定非営利活動法人 リトミック研究センター
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                    2. 介護実習室                    3. 家政実習室                    4. 視聴覚室  5. PC実習室                    6. 接遇実習室                    7. その他 (                    )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                    2. レポート                    3. 出席                    4. 授業態度  5. 実技試験                    6. その他 (                    )</p>		
<p><b>【備考】</b></p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b>    <input checked="" type="checkbox"/> 有    ・    無  <b>【内容】</b> ピアノ講師としてのとしての実務経験有り</p>		

科目名 リトミック		20 限	教員名 山本範子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	リズム 1	①リトミックについて ②楽しいリトミックの経験(1) ③動きの体験	
2 限	リズム 2	①楽しいリトミックの経験(2) ②強弱・テンポ・空間・アクセントの体験 ③基礎的な動き(1) ④基礎リズム(1) 2拍子	
3 限	リズム 3	①楽しいリトミックの経験(3) ②基礎的な動き(2) ③基礎リズム(2) 2拍子 ④拍子(1)	
4 限	リズム演奏法 1	①リズムの演奏法(3歳児指導法) ②基礎リズム(3)	
5 限	ティーチング 1	①指導法を学ぶ(3歳児指導法) ②ステップリズム	
6 限	リズム演奏法 2	①リズムの演奏法(3歳児指導法)	
7 限	ティーチング 2	①指導法を学ぶ(3歳児指導法) ②ステップリズム	
8 限	リズム 4	①楽しいリトミックの経験(4) ②基礎リズム(3) 2拍子 ③拍子(2) ④リズムカノン導入	
9 限	ティーチング 3	①指導法を学ぶ(3歳児指導法) ②拍子(3) ③リズムカノン	
10 限	リズム演奏法 3	①リズムの演奏法(3歳児指導法) 【認定試験公示案内】	
11 限	リズム 5	①楽しいリトミックの経験(5) ②基礎リズム(4) ③拍子	
12 限	ティーチング 4	①3歳児指導法総括	
13 限	リズム 6	①楽しいリトミックの経験(6) ②リズムカノン	
14 限	リズム演奏法 4	①リズムの演奏法(3歳児指導法)	
15 限	リズム 7	認定試験に向けたリズム課題の練習(1)	
16 限	リズム 8	認定試験に向けたリズム課題の練習(2)	
17 限	試験	2級 資格認定試験	
18 限		発表会の練習	
19 限		↓	
20 限		↓	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 聴覚障害（手話）	<b>教員名</b> 我妻 信子	
<b>科目時間数</b> 20 限	<b>授業の種類</b> ： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： 必修・選択	<b>配当学年</b> ：3年次 <b>開講時期</b> ： 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 基本的な手話の知識・技術を習得することにより、聴覚障がい者への理解を深める</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 聴覚障害についての基本的な理解、「こどば・コミュニケーション」の果たす役割を考え、聴覚障害者を取り巻く社会的な環境を学ぶ。手話の基礎知識と技術を習得する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	手話を学ぼう 手話で話そう	社会福祉法人 全国手話研修センター
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（                      ）</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他（                      ）</p>		
<p><b>【備考】</b></p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有・無</p> <p><b>【内容】</b> 手話通訳士としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
聴覚障害（手話）		20 限	我妻 信子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション	授業の位置づけについて理解する	
	聴覚障がい者のコミュニケーション方法	手話の基礎知識 7つのコミュニケーション方法	
2 限		あいさつの単語 伝え合ってみましょう	
		名前を紹介 指文字	
3 限		聴覚障がい者の生活 私の大切な家族（ビデオ）	
		家族紹介	
4 限		家族紹介	
		家族紹介（グループ発表）	
5 限	聴覚障がい者の生活	高橋先生（聴覚障害の講師）講義	
		〃	
6 限	聴覚障がい者のコミュニケーション方法	数字（誕生日・時間・お金・・・）	
		〃	
7 限		趣味	
		趣味 自己紹介の練習	
8 限		高橋先生と交流	
		〃	
9 限		仕事	
		仕事	
10 限		あなたの家を紹介しましょう（地名・住所・交通機関・・・）	
		〃	
11 限		あなたの家を紹介しましょう（地名・住所・交通機関・・・）	
		〃	
12 限	保育現場で活用	保育所での会話	
		〃	
13 限		DVD読み取り（総復習）	
		期末試験	
14 限		卒業発表会にむけて手話劇（脚本・監督・歌⇒学生主体）	
		〃	
15 限		〃	
		〃	
16 限		〃	
		〃	
17 限		〃	
		〃	
18 限		〃	
		〃	
19 限		〃	
		〃	
20 限		リハーサル	
		発表会	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> PR (プレイルーム)	<b>教員名</b> 村上祐理香	
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ (演習) ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : (必修) ・ 選択	<b>配当学年</b> : 1年次 <b>開講時期</b> : (前期) ・ (後期) ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>①乳幼児のさまざまな遊びを体験する。                  ②乳幼児の遊びの重要性と子ども理解を深める。                  ③学んだことを活かし、自ら工夫し、実践する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>様々な子どもの遊びを経験し、学んだことを活かし保育で実践する。                  (製作活動、表現活動、模擬保育等)</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
プリント資料適宜配布	保育教材 (色画用紙、色紙、等) 素材 (牛乳パック、ペットボトル 毛糸、自然物、等)	
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 ( 保育実習室 )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度                  5. 実技試験                      6. その他 ( 目的達成度 )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：授業態度等、A(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ (無)</p>		
<p><b>【内容】</b></p>		

科目名		科目時間総数	教員名
PR (プレイルーム)		15 限	村上祐理香
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	PR (プレイルーム) とは	PRの授業内容について。自己紹介・親睦ゲーム	
	春の活動と遊び①	手遊びうた (季節のうた) の実践	
2 限		遊びの紹介 (うた・ゲーム・体操等)	
		春の散策 (お花見と子どもの遊び)	
3 限		春の季節感のある製作活動と遊び	
		〃	
4 限	↓	〃	
	夏の活動と遊び①	絵本・紙芝居の読み聞かせの仕方	
5 限		〃	
		体を動かす遊び (表現遊び)	
6 限		〃	
		色水遊び	
7 限		手作り保育教材の紹介と実践	
	↓	〃	
8 限	秋の活動と遊び①	作品発表会	
		〃	
9 限		秋のうた・楽器遊び	
		秋の遊び (秋の自然素材を使用した製作活動)	
10 限		〃	
		体操・ダンス (振付を考える)	
11 限		〃	
	↓	集団遊び (鬼ごっこ・伝承遊び等)	
12 限	冬の活動と遊び①	クリスマス製作	
		〃	
13 限		クリスマス会	
		冬の季節感のある製作と遊び	
14 限		〃	
		お正月遊び (伝承遊び)	
15 限		手作りおもちゃ (遊べるおもちゃ) 製作	
	↓	〃	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> PR	<b>教員名</b> 村上 祐理香
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 2年次
<b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  ①乳幼児のさまざまな遊びを体験する。                  ②乳幼児の遊びの重要性と子ども理解を深める。                  ③学んだことを活かし、自ら工夫し、実践する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  様々な子どもの遊びを経験し、学んだことを活かし保育で実践する。                  (製作活動、表現活動、模擬保育等)</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>	
	<b>使用教材</b>
プリント資料適宜配布	保育教材 (色画用紙、色紙、等) 素材 (牛乳パック、ペットボトル 毛糸、自然物、等)
<b>【使用教室】</b>	
1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 ( 保育実習室 )	
<b>【評価方法】</b>	
1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他 ( 目的達成度 )	
<b>【備考】</b>	
評価について : 出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79~70点) C (69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。	
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 無	
<b>【内容】</b>	

科目名		科目時間総数	教員名
PR		15 限	村上 祐理香
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	春の活動と遊び②	作品発表会	
		〃	
2 限		遊びの復習と今後の課題	
		生活のうた（手遊び・朝のうた・片付けのうた等）	
3 限		素材を利用した製作	
		〃	
4 限	↓	絵本・紙芝居の実践	
		〃	
5 限	夏の活動と遊び②	体を動かす遊び（体育的な遊び）	
		〃	
6 限		壁面製作（夏）	
		〃	
7 限		体操・ダンス	
		〃	
8 限	↓	身近な材料を使って遊ぶ（小麦粉・石・絵具等）	
		〃	
9 限	秋の活動と遊び②	作品発表会	
		〃	
10 限		手作り教材の活かし方（模擬保育）	
		〃	
11 限	↓	実習園の遊び・うたの紹介	
		〃	
12 限	冬の活動と遊び①	クリスマス会の考案（グループワーク）	
		〃	
13 限		クリスマス製作	
		クリスマス会	
14 限	↓	お正月遊び・伝承遊び	
		PRのまとめ（模擬保育）	
15 限	まとめ	発表会	
		〃	
	↓		

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 教育実習研究 I	<b>教員名</b> 橋場 早苗
<b>科目時間数</b> : 7.5 限	<b>授業の種類</b> : <u>講義</u> ・ <u>演習</u> ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> : <u>必修</u> ・ 選択	<b>配当学年</b> : 2年次 <b>開講時期</b> : <u>前期</u> ・ <u>後期</u> ・ 集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  ①幼稚園の一日の生活の流れと生活内容の概要を理解する。 ②幼児の発達段階や季節感を理解し保育の内容を計画する。 ③観察・部分・全日実習の方法を学び、教育実習の流れについて理解する。 ④実習記録の記入の仕方・指導計画の立案の仕方について学ぶ。 ⑤実習生としての事前の心構え、マナーを学ぶ。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  現場実習に臨むにあたり、学んだ理論、技能を基礎として、実践的力量を身につけるために、臨床的方法の授業を通して、意欲を持って実習に臨めるよう個々の目的（ねらい）を明確にする。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>	
	<b>使用教材</b>
<b>出版社</b>	
学生用・教員用 共通 "	幼稚園事前実習指導 幼稚園実習実習日誌（1回目）
	"
<p><b>【使用教室】</b>                  ①. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（                      ）</p>	
<p><b>【評価方法】</b>                  1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度                  5. 実技試験                      ⑥. その他（                      学習状況 ※実習評価に含める</p>	
<p><b>【備考】</b>                  ①出席・態度・意欲—40点      ②提出物（指導案等）—40点                  ③事前準備—20点                      合計100点中60点以上 合格</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <u>有</u> ・ 無  <b>【内容】</b> 幼稚園教諭としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
教育実習研究 I		7.5 限	橋場 早苗
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	実習の基礎編	「幼児期で養うべき生きる力の基礎とは」	
	実習の方法	実習の意義・目的・方法（事前学習）	
2 限	幼稚園理解	幼稚園理解（機能と役割、法的根拠）	
		幼稚園の1日の生活と遊びについて（発達段階の理解）	
3 限		保育の内容と実習形態（観察・部分・全日実習）	
	オリエンテーション	オリエンテーションに向けて（実習の準備、マナー）	
4 限		実習生の心構え9ヶ条・その他	
	実習課題の作成	実習課題について（課題の作成と提出）	
5 限		実習課題の活かし方	
	指導案の立案	指導計画の立案	
6 限		ねらい・題材設定の理由	
		活動内容（教師の援助と指導上の留意点）	
7 限	実習日誌の記録	反省・感想・今後の課題の書き方について	
		幼稚園教育要領について（解説と理解）	
7.5 限	まとめ	実習報告会用報告用紙の書き方について	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 教育実習研究Ⅱ	<b>教員名</b> 橋場 早苗
<b>科目時間数</b> : 5 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> : 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> : 3年次
<b>開講時期</b> : 前期 ・ 後期 ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  ①幼児の発達段階や実態を理解し、指導計画を立案する。②実習記録の記入の仕方、評価・反省・今後の課題の考察の仕方について学ぶ。③教育実習の内容の理解と実習生としての心構え、マナーを身に付ける。④前期実習を振り返り、実習課題を明確にすると共に実習への意欲を高める。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  後期実習に臨むにあたり、その目的、意義を再確認する。積極的に取り組み、前期実習の反省点を改善するよう努め、成果を高め、今後の課題を明確にする。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>	
	<b>使用教材</b>
	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通 〃	幼稚園事前実習指導 幼稚園実習実習日誌（2回目）
	近畿大学九州短期大学通信教育部 〃
<p><b>【使用教室】</b>                  1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（                      ）</p>	
<p><b>【評価方法】</b>                  1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度                  5. 実技試験                      6. その他（                      学習状況 ※実習評価に含める</p>	
<p><b>【備考】</b>                  出席（20点）、提出物（20点）、意欲・態度（30点）、レポート（30点）                  合計100点中60点以上合格</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無  <b>【内容】</b> 幼稚園教諭としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
教育実習研究Ⅱ		5 限	橋場 早苗
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	前期教育実習の振り返りと後期教育実習への課題	前期実習の振り返りと反省	
		自己評価（振り返りシート）	
		後期教育実習への課題と今後の取り組みについて	
2 限	実習課題の作成	実習課題の考案と作成	
		5月の子どもの様子や活動の内容と教師のかかわりについて	
3 限	指導案の作成	発達段階や子どもの実態に即した活動内容を考える	
		指導案の作成①	
		指導案の作成②	
4 限	実習日誌の記録について	実習日誌の記録の仕方と留意点①	
		実習日誌の記録の仕方と留意点②	
		観察実習・部分実習・全日実習のポイントと課題	
	実習事前準備の確認	オリエンテーション実施の確認と実習生のマナーについて	
		保育教材準備と環境	
		事前準備のまとめ	
5 限	実習事後について	実習報告書と実習報告会について	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育実習研究 I (施設)	<b>教員名</b> 竹内 愛美									
<b>科目時間数</b> : 5 限	<b>授業の種類</b> : <u>講義</u> ・ <u>演習</u> ・ 実習									
<b>必修・選択の別</b> : <u>必修</u> ・ 選択	<b>配当学年</b> : 2年次 <span style="margin-left: 20px;"><b>開講時期</b> : 前期・<u>後期</u>・集中</span>									
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 実習施設の役割と機能、保育の対象と保育内容及び職務内容を理解する。</p> <p><b>【DPとの関連】</b></p> <p>1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人（自己研鑽、臨機応変な対応）  <u>2.</u> 幅広い視野で保育を実践できる人（保育理念、保育観、実践力、応用力）          3. 地域の文化を大切にすることをもち、豊かな人間性を備えた人（創造性、表現力）</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>実習施設の役割と機能、保育の対象と保育内容および職務内容を理解し、実習課題を明確にする。計画に基づく養護内容や生活環境について学ぶ。支援計画、観察の視点、記録と考察の方法について理解する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>										
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: center;">使用教材</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">出版社</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">学生用・教員用 共通</td> <td style="padding: 5px;">施設実習ガイド</td> <td style="padding: 5px;">萌文書林</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">" "</td> <td style="padding: 5px;">施設実習日誌</td> <td style="padding: 5px;">岩手県保育者養成校</td> </tr> </table>		使用教材	出版社	学生用・教員用 共通	施設実習ガイド	萌文書林	" "	施設実習日誌	岩手県保育者養成校
	使用教材	出版社								
学生用・教員用 共通	施設実習ガイド	萌文書林								
" "	施設実習日誌	岩手県保育者養成校								
<p><b>【使用教室】</b></p> <p><u>1. HR</u>                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>										
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      <u>6. その他</u> (                      学習状況 ※実習評価に含める</p>										
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>										
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <u>有</u> 無</p> <p><b>【内容】</b> 障害者施設職員としての実務経験</p>										

科目名 保育実習研究Ⅰ（施設）		科目時間総数 5 限	教員名 竹内 愛美
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	施設実習の意義	施設実習の意義と目的を理解する 実習に向けた心構え、マナーがわかる	
2限	施設の理解	施設の概要、設置目的、役割、形態、主な職種について理解する。 施設実習でどのようなことを学んでくるかわかる。	
3限	障がいの理解	それぞれの障害の種類や特徴、関わり方や援助方法について理解する。	
4限	実習日誌の作成	実習調査票・出勤簿・評価表を作成する。	
5限	実習課題の作成 実習日誌の書き方 実習終了後	実習計画の作成① 実習日誌の書き方・注意事項を理解する。 毎日のねらいに基づいた振り返り、自己評価の確認ポイントが分かる。 お礼状、日誌、レポート、実習報告書の書き方、実習報告会の発表の仕方についてわかる。	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育実習研究 I (保育)	<b>教員名</b> 諏訪 泉	
<b>科目時間数</b> : 5 限	<b>授業の種類</b> : 講義・ <u>演習</u> ・実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・ <u>選択</u>	<b>配当学年</b> : 3年次 <b>開講時期</b> : <u>前期</u> ・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>既習の内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解を深め、指導計画の作成や記録などの保育の実践力を養う。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>既習の内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解を深め、指導計画の作成や記録などの保育の実践力を養う。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>		
	使用教材	出版社
学生用・教員用 共通 ”	保育実習 保育園実習日誌	中央法規 県内保育士養成校統一様式
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. <u>HR</u>                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p> <p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. <u>筆記試験</u>                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p> <p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <u>有</u> 無</p> <p><b>【内容】</b> 保育士としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
保育実習研究Ⅰ（保育）		5 限	諏訪 泉
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	実習目的と意義	保育実習の目的と内容、必要性の理解	
	保育所の役割と社会的責任	保育所保育指針から見る保育士の役割と社会的責任について	
	保育書の生活と保育士の役割	保育所の一日（0歳～1歳）（2歳）（3歳～5歳）	
		生活の流れから見る保育士の役割	
2 限	実習の視点と留意点	0歳～1歳の発達から見る実習の視点と留意点	
	”	2歳～3歳の発達から見る実習の視点と留意点	
	”	4歳～6歳の発達から見る実習の視点と留意点	
	”	実習に向けた姿勢とマナー、オリエンテーションについて	
	実習日誌の記入の仕方	記録の取り方のポイント、保育用語、実習課題の設定	
3 限	指導案の書き方	指導案の留意点とねらいの立て方	
	”	保育用語と文章の留意点	
	実習課題の設定	実習目標と自己課題の設定	
	指導案の作成	実習指導案の作成	
	実習直前指導	各年齢の発達の留意、実習課題、指導案、作成の留意事項の確認	
	”	実習のマナー等の再確認	
4 限	実習事後指導	ミニ報告会を通し実習の振り返りを行う	
	”	実習課題に対する自己評価	
	”	報告書の作成	
5 限	報告会	報告会	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育実習研究Ⅱ（保育）	<b>教員名</b> 諏訪 泉	
<b>科目時間数</b> ： 5 時間	<b>授業の種類</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： 必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<b>配当学年</b> ： 3年次 <span style="margin-left: 50px;"><b>開講時期</b>： <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期・集中</span>	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  保育所の役割と機能を理解し、子どもや家庭への支援、指導計画や記録などの保育の実践力を身に付ける。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  既習の内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解を深め、指導計画の作成や記録などの保育の実践力を養う。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通 〃	保育実習 【保育実習Ⅱ】保育所実習日誌	中央法規 県内保育士養成校
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. <input checked="" type="checkbox"/> HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（                      ）</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度                  5. 実技試験                      6. <input checked="" type="checkbox"/> その他（                      学習状況 ※実習評価に含める</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有    <input type="checkbox"/> 無</p> <p><b>【内容】</b> 保育士としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
保育実習研究Ⅱ（保育）		5	諏訪 泉
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	保育実習Ⅱの理解	保育実習Ⅱの内容（選択）理解、実習課題と自己課題	
	保育所の役割と機能	保護者、家庭支援、地域社会との連携（ビデオ視聴）	
2 限	0歳児保育のポイント	おむつ交換、トイレトレーニングの実践	
		清潔な環境構成、離乳食の援助について	
		沐浴の実践	
3 限	子ども保育の理解 ①	気になる子どもへの対応と援助について	
		①事例検討	
	保育実習事後指導	ミニ報告会、報告書作成	
4 限	子ども保育の理解 ②	気になる子どもへの対応と援助について	
	実習後の検討会	②事例検討 グループワーク	
		事例検討のまとめ	
5 限		振り返りと反省、今後の課題	
		報告会	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育実習研究Ⅲ（施設）	<b>教員名</b> 竹内 愛美	
<b>科目時間数</b> ： 5 限	<b>授業の種類</b> ： <u>講義</u> ・ <u>演習</u> ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： 必修・ <u>選択</u>	<b>配当学年</b> ：3年次 <b>開講時期</b> ： <u>前期</u> ・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 保育士として必要な資質、能力、技術を修得することを目的とする。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 既習の内容を基盤に、実習施設の理解、子ども（利用者）や家庭への支援について理解を深め、援助の方法や支援のあり方など実践力を養う。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>		
	使用教材	出版社
学生用・教員用 共通 " "	保育実習事前指導 【保育実習Ⅲ】施設実習日誌	近畿大学九州短期大学通信教育部 " "
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. <u>HR</u>                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（                      ）</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      <u>6. その他</u>（                      学習状況 ※実習評価に含める</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b><u>有</u> 無 <b>【内容】</b> 障害児施設職員としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
保育実習研究Ⅲ（施設）		5 限	竹内 愛美
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	実習施設の理解①	実習施設の概要の理解を深める	
	実習施設の理解②	実習する施設の設置理念と養護・支援の目標の理解	
	実習施設の理解③	実習する施設の設置理念と養護・支援の目標の理解	
2 限	子どものニーズの理解①	児童に対する社会的養護・支援の必要性を学ぶ	
	子どものニーズの理解②	児童個々のニーズについて理解する。	
	子どものニーズの理解③	児童個々のニーズに合わせた養護・支援の必要性について学ぶ	
	養護・援助技術の理解①	ニーズに合わせた実際の養護・支援方法について学ぶ	
	養護・援助技術の理解②	ニーズに合わせた実際の養護・支援方法について学ぶ	
	養護・援助技術の理解③	ニーズに合わせた実際の養護・支援方法について学ぶ	
3 限	援助計画の理解①	児童福祉法における、個別支援計画・自立支援計画の意義について学ぶ	
	援助計画の理解②	個別支援計画・自立支援計画について学ぶ	
	職員間連携の理解①	施設内の職員の職務について理解する	
4 限	職員間連携の理解②	職員間の連携の必要性、引き継ぎ方法の理解	
	施設・家庭・地域社会との連携の理解①	施設と家庭の連携の必要性について学ぶ	
	施設・家庭・地域社会との連携の理解②	地域社会とのつながりや関連する社会資源について理解する	
5 限	子どもの最善の利益の具体化についての理解①	児童にとってより良い生活とは何か考察する。	
	子どもの最善の利益の具体化についての理解②	より良い生活に向けた保育士の関わりについて考察する	
	子どもの最善の利益の具体化についての理解③	より良い生活に向けた施設全体の取り組みについて考察する	
	保育士の倫理観についての理解	守秘義務・プライバシーの保護の必要性について学ぶ	
	安全および疾病予防の理解	施設内での安全確保や疾病予防の必要性について学ぶ	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 実習研究演習	<b>教員名</b> 村上祐理香 鹿川道子	
<b>科目時間数</b> : 45 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="radio"/> 必修 ・ <input type="radio"/> 選択	<b>配当学年</b> : 1年次 <b>開講時期</b> : <input checked="" type="radio"/> 前期 ・ <input checked="" type="radio"/> 後期 ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>① 自らが調査研究・体験的学習を実践することを通して、実習の内容を理解し実習に向けての基礎的知識や技能を習得する。</p> <p>② 乳幼児や施設利用者の理解を深め、専門職としての保育者の使命や役割を学ぶ。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>調査や体験的学習を通して、保育に関する現状や子どもを取り巻く環境、子どもの姿を学び、実習に向けての基礎的知識や技能を習得する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>		
	使用教材	出版社
プリント資料適宜配布		
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      学習状況 ※実習評価に含める</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：試験の結果、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D (59点以下) の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="radio"/> 有                      <input type="radio"/> 無</p>		
<p><b>【内容】</b> 幼稚園教諭・保育士としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
実習研究演習		45 限	村上祐理香 鹿川道子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	幼稚園	ワーク①-1「幼稚園」ワーク①-2「幼稚園教諭とは」	
		調査報告会	
2 限		実習保育教材「名札製作」	
		〃	
3 限		体験実習事前準備「幼稚園の1日の流れ」「日誌の記録の仕方」	
		体験実習（月が丘幼稚園）…幼稚園の生活を体験する	
4 限	郷土と文化	ワーク①-3 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）	
		ワーク②「風土・風習・伝統文化・祭事・方言…」	
5 限		県立図書館での調査研究…地元の地域・文化を知る	
		郷土と文化「壁新聞作成」	
6 限		障がい者施設 交流と体験	
		↓	
8 限	子ども	ワーク③-1「3・4・5歳児について」	
9 限		観察実習（月が丘幼稚園）…各年齢の遊びの様子を観察する	
		ワーク③-2 観察実習のまとめと報告会（日誌提出）	
10 限	児童福祉施設	ワーク④-1「児童福祉施設について」	
		施設見学（岩手県立療育センター）	
11 限		〃	
	〃		
12 限	児童養護施設	ワーク④-2 施設見学のまとめと報告会	
		ワーク⑤-1「児童養護施設について」	
13 限		施設見学（青雲荘）	
	ワーク⑤-2 施設見学のまとめと報告会		
14 限	季節と遊び	ワーク⑥-1「季節感のある遊びと生活」	
		体験実習（月が丘幼稚園・なでしこ幼稚園その他）	
15 限		ワーク⑥-2 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）	
	障害と障害者支援施設	ワーク⑦-1「障害について」	
16 限		ワーク⑦-2「障害者支援施設について」	
		施設見学（夢つむぎ城南）	
17 限		ワーク⑦-3 施設見学のまとめと報告会	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
	保育所	ワーク⑧-1「保育所と保育士」	
18 限		ワーク⑧-2「0, 1, 2歳児について」	
		体験実習（保育所）	
19 限		〃	
		〃	
20 限		ワーク⑧-3 体験実習のまとめと報告会	
		まとめ	演習の振り返り（レポート提出）
21 限		子育て支援	ワーク①-1「子育て支援とは」
			ワーク①-2「子育て支援施設について」
22 限			施設見学（いわて子育てネット、子育て支援センター他）
	ワーク①-3 施設見学のまとめと報告会		
23 限	応急手当	上級救命救急講習会	
24 限		ワーク②-1「実習幼稚園の概要調査」	
		ワーク②-2「こどもと保育者のかかわりと援助」	
25 限		教育実習事前学習	体験実習（実習園または月が丘幼稚園）…実習園の様子を知る
		〃	
26 限		〃	
		ワーク②-3 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）	
27 限		教育実習事前準備	ワーク③-1 予想される子どもの姿に応じた教材研究
			教材研究、製作、指導案作成、ロールプレイング
28 限			ワーク③-2 教材発表会（指導案提出）
29 限	教育実習報告書作成（報告書提出）		
	教育実習事後学習	実習報告会	
30 限		〃	
		教育実習事後レポート作成	
31 限		教育実習の反省・考察・今後の課題	
	授産施設の学び	障がい者施設 交流と体験	
32 限			
33 限			
34 限			

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
35 限	保育実習（施設） 事前学習	ワーク④-1 「実習施設の概要調査」
36 限		実習施設見学（またはボランティア活動）
		〃
		〃
37 限		ワーク④-2 「施設見学の感想と考察」
		ワーク④-3 「実習課題の作成」
38 限	保育実習（施設） 事後学習	デイリープログラム、指導案作成
		介護実習（介護の基本）
39 限		保育実習報告書作成（報告書提出）
		実習報告会
40 限		〃
		保育実習の振り返り・反省・考察・今後の課題
41 限	まとめ	演習の振り返り（レポート提出）
	教育実習事前学習	ワーク①-1 「実習幼稚園の概要調査」
42 限		ワーク①-2 「子どもの姿に応じた指導案作成」
		ワーク①-3 予想される子どもの姿に応じた教材研究・製作
43 限	教育実習事後学習	教育実習報告書作成（報告書提出）
		実習報告会
44 限		〃
		教育実習事後レポート作成
45 限		教育実習の振り返り・反省・考察・今後の課題

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 実習研究演習	<b>教員名</b> 村上祐理香	
<b>科目時間数</b> : 30 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> : 2年次 <b>開講時期</b> : 前期 ・ 後期 ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>①自らが調査研究・体験的学習を実践することを通して、実習の内容を理解し実習に向けての基礎的知識や技能を習得する。</p> <p>②乳幼児や施設利用者の理解を深め、専門職としての保育者の使命や役割を学ぶ。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>調査や体験的学習を通して、保育に関する現状や子どもを取り巻く環境、子どもの姿を学び、実習に向けての基礎的知識や技能を習得する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>		
	使用教材	出版社
プリント資料適宜配布		
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      学習状況 ※実習評価に含める</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：試験の結果、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D (59点以下) の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無</p>		
<p><b>【内容】</b></p>		

科目名		科目時間総数	教員名
実習研究演習		30 限	村上祐理香
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	幼稚園	ワーク①-1「幼稚園」ワーク①-2「幼稚園教諭とは」	
		調査報告会	
		実習保育教材「名札製作」	
2 限		体験実習事前準備「幼稚園の1日の流れ」「日誌の記録の仕方」	
		体験実習（月が丘幼稚園）…幼稚園の生活を体験する	
		ワーク①-3 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）	
3 限	郷土と文化	ワーク②「風土・風習・伝統文化・祭事・方言…」	
		県立図書館での調査研究…地元の地域・文化を知る	
		郷土と文化「壁新聞作成」	
		障がい者施設 交流と体験	
4 限	子ども	ワーク③-1「3・4・5歳児について」	
		観察実習（月が丘幼稚園）…各年齢の遊びの様子を観察する	
		ワーク③-2 観察実習のまとめと報告会（日誌提出）	
5 限	児童福祉施設	ワーク④-1「児童福祉施設について」	
6 限		施設見学（岩手県立療育センター）	
		ワーク④-2 施設見学のまとめと報告会	
7 限	児童養護施設	ワーク⑤-1「児童養護施設について」	
8 限		施設見学（青雲荘）	
		ワーク⑤-2 施設見学のまとめと報告会	
9 限	季節と遊び	ワーク⑥-1「季節感のある遊びと生活」	
10 限		体験実習（月が丘幼稚園・なでしこ幼稚園その他）	
		ワーク⑥-2 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）	
11 限	障害と障害者支援施設	ワーク⑦-1「障害について」	
		ワーク⑦-2「障害者支援施設について」	
12 限		施設見学（夢つむぎ城南）	
		ワーク⑦-3 施設見学のまとめと報告会	
13 限	保育所	ワーク⑧-1「保育所と保育士」	
		ワーク⑧-2「0, 1, 2歳児について」	
14 限		体験実習（保育所）	
		ワーク⑧-3 体験実習のまとめと報告会	
15 限	まとめ	演習の振り返り（レポート提出）	
16 限	子育て支援	ワーク①-1「子育て支援とは」	
		ワーク①-2「子育て支援施設について」	
		施設見学（いわて子育てネット、子育て支援センター他）	
		ワーク①-3 施設見学のまとめと報告会	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
17 限	応急手当	上級救命救急講習会
18 限	教育実習事前学習	ワーク②-1 「実習幼稚園の概要調査」
		ワーク②-2 「こどもと保育者のかかわりと援助」
		体験実習（実習園または月が丘幼稚園）…実習園の様子を知る
		ワーク②-3 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）
19 限	教育実習事前準備	ワーク③-1 予想される子どもの姿に応じた教材研究
		教材研究、製作、指導案作成、ロールプレイング
		ワーク③-2 教材発表会（指導案提出）
20 限	教育実習事後学習	教育実習報告書作成（報告書提出）
		実習報告会
21 限		教育実習事後レポート作成
		教育実習の反省・考察・今後の課題
22 限	授産施設の学び	障がい者施設 交流と体験
23 限		↓
24 限	保育実習（施設） 事前学習	ワーク④-1 「実習施設の概要調査」
		実習施設見学（またはボランティア活動）
25 限		ワーク④-2 「施設見学の感想と考察」
		ワーク④-3 「実習課題の作成」
		デイリープログラム、指導案作成
		介護実習（介護の基本）
26 限	保育実習（施設） 事後学習	保育実習報告書作成（報告書提出）
		実習報告会
		保育実習の振り返り・反省・考察・今後の課題
27 限	まとめ	演習の振り返り（レポート提出）
28 限	教育実習事前学習	ワーク①-1 「実習幼稚園の概要調査」
		ワーク①-2 「子どもの姿に応じた指導案作成」
		ワーク①-3 予想される子どもの姿に応じた教材研究・製作
29 限	教育実習事後学習	教育実習報告書作成（報告書提出）
		実習報告会
30 限		教育実習事後レポート作成
		教育実習の振り返り・反省・考察・今後の課題

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 実習研究演習	<b>教員名</b> 橋場早苗	
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="radio"/> 必修 ・ <input type="radio"/> 選択	<b>配当学年</b> : 3年次 <span style="margin-left: 50px;"><b>開講時期</b> : <input checked="" type="radio"/> 前期 ・ <input checked="" type="radio"/> 後期 ・ 集中</span>	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>①自らが調査研究・体験的学習を実践することを通して、実習の内容を理解し実習に向けての基礎的知識や技能を習得する。</p> <p>②乳幼児や施設利用者の理解を深め、専門職としての保育者の使命や役割を学ぶ。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>調査や体験的学習を通して、保育に関する現状や子どもを取り巻く環境、子どもの姿を学び、実習に向けての基礎的知識や技能を習得する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>		
	使用教材	出版社
プリント資料適宜配布		
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      学習状況 ※実習評価に含める</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：試験の結果、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p> <p><b>【内容】</b> 幼稚園教諭・保育士としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
実習研究演習		15 限	橋場早苗
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	児童養護施設	ワーク⑤-1「児童養護施設について」	
		施設見学（青雲荘）	
		ワーク⑤-2 施設見学のまとめと報告会	
2 限	季節と遊び	ワーク⑥-1「季節感のある遊びと生活」	
		体験実習（月が丘幼稚園・なでしこ幼稚園その他）	
		ワーク⑥-2 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）	
3 限	障害と障害者支援施設	ワーク⑦-1「障害について」	
		ワーク⑦-2「障害者支援施設について」	
		施設見学（夢つむぎ城南）	
		ワーク⑦-3 施設見学のまとめと報告会	
4 限	保育所	ワーク⑧-1「保育所と保育士」	
		ワーク⑧-2「0, 1, 2歳児について」	
		体験実習（保育所）	
		〃	
		〃	
		ワーク⑧-3 体験実習のまとめと報告会	
5 限	まとめ	演習の振り返り（レポート提出）	
6 限	子育て支援	ワーク①-1「子育て支援とは」	
		ワーク①-2「子育て支援施設について」	
		施設見学（いわて子育てネット、子育て支援センター他）	
		ワーク①-3 施設見学のまとめと報告会	
7 限	応急手当	上級救命救急講習会	
8 限	教育実習事前学習	ワーク②-1「実習幼稚園の概要調査」	
		ワーク②-2「こどもと保育者のかかわりと援助」	
		体験実習（実習園または月が丘幼稚園）…実習園の様子を知る	
		〃	
		〃	
		ワーク②-3 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）	
9 限	教育実習事前準備	ワーク③-1 予想される子どもの姿に応じた教材研究	
		教材研究、製作、指導案作成、ロールプレイング	
		ワーク③-2 教材発表会（指導案提出）	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
10 限	教育実習事後学習	教育実習報告書作成（報告書提出）
		実習報告会
		〃
		教育実習事後レポート作成
		教育実習の反省・考察・今後の課題
11 限	授産施設の学び	障がい者施設 交流と体験
12 限	保育実習（施設） 事前学習	ワーク④-1 「実習施設の概要調査」
		実習施設見学（またはボランティア活動）
		〃
		〃
		ワーク④-2 「施設見学の感想と考察」
		ワーク④-3 「実習課題の作成」
		デイリープログラム、指導案作成
		介護実習（介護の基本）
13 限	保育実習（施設） 事後学習	保育実習報告書作成（報告書提出）
		実習報告会
		〃
		保育実習の振り返り・反省・考察・今後の課題
		まとめ
		演習の振り返り（レポート提出）
14 限	教育実習事前学習	ワーク①-1 「実習幼稚園の概要調査」
		ワーク①-2 「子どもの姿に応じた指導案作成」
		ワーク①-3 予想される子どもの姿に応じた教材研究・製作
15 限	教育実習事後学習	教育実習報告書作成（報告書提出）
		実習報告会
		〃
		教育実習事後レポート作成
		教育実習の振り返り・反省・考察・今後の課題

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 情報処理 (Word)	<b>教員名</b> 阿部 修巳		
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ (演習) ・ 実習		
<b>必修・選択の別</b> : (必修) ・ 選択	<b>配当学年</b> : 2年	<b>開講時期</b> : 前期 ・ (後期) ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 日常生活の中で高度化された人間生活に関する情報を理解し、進展する情報化社会の将来に主体的に対応できる能力の習得</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> WORDのさまざまな機能を活用し、表現力のある文書作成技能を習得する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。</p>			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	Word2019&Excel2019&Powerpoint2019	F O M出版	
教員用	WORD 2 0 1 9 基礎	//	
	WORD 2 0 1 9 ドリル	//	
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室              3. 家政実習室              4. 視聴覚室</p> <p>(5. PC実習室)              6. 接遇実習室              7. その他 (                      )</p>			
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験              2. レポート              (3. 出席)              (4. 授業態度)</p> <p>(5. 実技試験)              6. その他 (                      )</p>			
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> (有) ・ 無</p>			
<p><b>【内容】</b> プラント、工場機械生産設備の開発・設計の実務、及びその管理職（事務職、設計業務、製作・組立）</p>			

科目名 情報処理 (Word)		科目時間総数 15 限	教員名 阿部 修巳
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	WORD 表の作成	タッチメソッド、表のデザインの設定（セル結合、配置）、段落罫線	
2 限	〃	タッチメソッド、複雑な表作成	
3 限	〃	〃	
4 限	文書の編集	色々な書式の設定、スタイルの登録、ヘッダー・フッターの作成……	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	表現力を高める	オンライン画像、ワードアート、図・写真の挿入……	
8 限	〃	〃	
9 限	図形描画機能	図形の作成と書式の設定、図表の挿入、複数図形の組合せ……	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	文書作成練習	オンライン画像、ワードアート、図・写真の挿入……	
13 限	〃	各種書式の組み込み、図形、写真等を挿入した文書作成	
14 限	〃	〃	
15 限	確認試験	知識的要素・実技的要素の確認	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 情報処理 (Excel)	<b>教員名</b> 阿部 修巳
<b>科目時間数</b> : 10 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ (演習) ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> : (必修) ・ 選択	<b>配当学年</b> : 2年 <b>開講時期</b> : (前期) ・ (後期) ・ 集中
<p><b>〔授業の目的・ねらい〕</b> 表計算ソフトの機能を理解し、操作技能を習得する。</p> <p><b>〔授業全体の内容の概要〕</b> 表計算ソフトの機能を理解し、操作技能を習得する。</p> <p><b>〔授業における達成課題〕</b> 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。</p>	
	<b>使用教材</b>
学生用・教員用 共通	出版社
	Word2019&Excel2019&Powerpoint2019
	EXCEL2019 基礎・応用
	EXCEL2019ドリル
	FOM出版
	//
	//
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>(5. PC実習室)                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      (3. 出席)                      (4. 授業態度)</p> <p>(5. 実技試験)                      6. その他 (                      )</p>	
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> (有) ・ 無</p>	
<p><b>【内容】</b> プラント、工場機械生産設備の開発・設計の実務、及びその管理職（事務職、設計業務、製作・組立）</p>	

科目名 情報処理 (Excel)		科目時間総数 10 限	教員名 阿部 修巳
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	データの入力	Excelの概要、データの種類、演算記号	
2 限	〃	データの種類、演算記号、E x c e l 基本操作	
3 限	表の作成	関数（オートΣ）、罫線の設定、表示形式、配置、書式の設定	
4 限	〃	〃	
5 限	数式の入力	関数オートΣ（MAX、MIN……）、相対・絶対参照	
6 限	〃	関数（phonetic関数）、ふりがなの設定、ユーザ定義の表示形式 絶対参照・各種設定の復習	
7 限	表の印刷	ページ設定、印刷様式の設定、改ページ箇所の変更……	
8 限	グラフの作成	グラフ機能の概要、円グラフと棒グラフの作成……	
9 限	〃	複合グラフの作成、グラフィックの活用……	
10 限	確認試験	実技的要素の確認	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 茶道	<b>教員名</b> 佐々木 純子
<b>科目時間数</b> : 10	<b>限</b> <b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 3年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>          茶道をたしなみ、心得を理解、実践することで、本校の目指す「社会に適応できる人材、実践できる人材」の育成。更に人間性の面から「人に愛される人・信頼される人・尊敬される人」の育成。以って保育者として乳幼児に対し◇社会に適応できる人格の形成◇生きる力を育てていく保育環境としての重責を担う保育者となれることを目的・ねらいとする。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>          ◇茶道の約束（作法）、心得を学ぶ体験を通して、心を動かし自分を見つめ、相手の思いを分かりあい「感謝する心」・「おもてなしの心」などを身につけ、日常生活に活かせるようにする。          ◇日本古来の文化を継承する重要性を知る。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>          当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。</p>	
	<b>使用教材</b>
プリント資料適宜配布	出版社
<p><b>【使用教室】</b>          1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室          5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（                      ）</p>	
<p><b>【評価方法】</b>          1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度          5. 実技試験                      6. その他（                      ）</p>	
<p><b>【備考】</b>          評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/></p>	
<p><b>【内容】</b></p>	

科目名		科目時間総数	教員名
茶道		10 限	佐々木 純子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	1、オリエンテーション：授業目的・内容・進め方について ◎グループ 編成	講義 ①茶道履修の位置づけと心得 ②茶道の歴史について	
		茶菓をいただく	
2 限	2、茶室の作法について ◎抹茶を点てる ◎和菓子を食べる ..... ↓	①茶道具の名称・用途・扱い方を学ぶ	
		②茶室（和室）・水屋での作法を学ぶ	
		道具を使用、茶菓子をいただきながら、茶道に興味を持てるようになる。	
3 限		4～6コマを繰り返す。	
4 限	3、グループごとに「亭主」と「客」の役割を交互に繰り返しながら、茶道の心を理解していく。	①「亭主」として茶を点てる。「客」としてお茶をいただく。	
		②茶道の作法（約束事）を理解し、実践する。③準備・片づけをする。	
		④客をもてなす心「直心」「一期一会」の精神を体得・習得に努める。	
5 限	1、～3、をグループごとに順次行う。	①日本固有の文化である茶道とその精神に裏打ちされた作法と心得を習得・体得する。	
		②点前や一連の作法を見につけることと併せて、個々が主体性・思いやりをもって、実践するように努力する。	
6 限		③「亭主」「客」の役を実践しながら、その場に相応しい態度を意識して行動する。	
7 限		④場の雰囲気を感じ積極的に取り組む。	
		⑤お互いの人格を尊重し、更に個性を認め合える社会人、保育者になることを共通の目的とし、状況に応じて“子ども観”“保育観”“社会観”などの交換も交え、 <u>茶道を日常の中に活かす工夫</u> をする。	
8 限		○感謝の思いを感じて表現する○人・物、全てがかけがいのない存在であることに気づき、周囲に思いやりの気持ちを持って行動する。	
9 限	4、実技テスト	自己の取り組み・学習を確認しながら、落ち着いて臨む。	
	5、茶会に臨む～最後の茶席～	①グループごとに亭主・客の役割を分担して、学習の成果を確認する。	
		②点前の流れが習得された事は、茶道の精神の理解に繋がった点に気づき、これを日々の生活の糧にするように意識づける。	
10 限	自服をする	「自服」をして自分の努力を確認する。	
	道具の始末をする	使用した道具は、後輩に渡すために丁寧に整頓する。	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 華道	<b>教員名</b> 猿子 滋苑	
<b>科目時間数</b> ： 10 限	<b>授業の種類</b> ： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： <input checked="" type="radio"/> 必修 ・ <input type="radio"/> 選択	<b>配当学年</b> ： 3年次 <b>開講時期</b> ： 前期 ・ <input checked="" type="radio"/> 後期 ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>華道を通して日常生活における感性を磨き、美意識を高め、豊かな心の生活と創造力豊かな人間形成に役立てる。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>華道を通して日常生活における感性を磨き、美意識を高め、豊かな心の生活と創造力豊かな人間形成に役立てる。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通 " "	草月 テキスト 草月 ノート	草月 "
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="radio"/> 有    <input type="radio"/> 無</p> <p><b>【内容】</b> 華道師範としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
華道		10 限	猿子 滋苑
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	授業への準備	道具の出し入れ・道具の名称他	
	(一輪の花)	ハサミの使い方・植物の表裏・デッサン他	
	基本立真型	花型法の見方・長さの出し方・傾け方	
2 限	// (盛花)	水切り・水揚げ・デッサン	
	基本立真型	花木の整理の仕方	
	// (盛花)	自己紹介・デッサン	
	基本立真型	逆勝手	
	基本傾真型	逆勝手	
3 限	母の日のプレゼントの花	オアシスの使い方①	
	//	ラッピング	
	基本立真型	投 入	
	//	盛 花	
4 限	基本傾真型	投 入	
	//	盛 花	
	父の日のプレゼントの花	オアシスの使い方②	
	//	メッセージカード	
5 限	第一応用立真型	投 入(七夕)	
	//	盛 花	
	夏の花	投 入(漂白花材)	
	//	盛 花(ガラス花器)	
6 限	基本立真型	復 習(秋をいける)	
	基本傾真型	復 習	
	第一応用立真型	盛 花(実もの・紅葉等)	
	第一応用傾真型	投 入	
7 限	自由創作	ハロウィンをいける	
	//	//	
	第一応用傾真型	投 入	
	//	盛 花	
8 限	第二応用立真型	投 入	
	//	盛 花	
	第二応用傾真型	投 入	
	//	盛 花	
9 限	自由花	自由取花	
	//	自由創作	
	協同制作	クリスマス大作(協同作業)	
	//	//	
10 限	リース	クリスマスリース制作	
	//	//	
	行事の花	クリスマス花をいける	
//	//		

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 接遇マナー実践	<b>教員名</b> 吉田あかり	
<b>科目時間数:</b> 10 限	<b>授業の種類:</b> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別:</b> 必修・選択	<b>配当学年:</b> 3年次	
<b>開講時期:</b> 前期・後期・集中		
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>          組織において仕事をする為のあり方及び対人関係のあり方とその基本的な言動としての接遇マナーの基本を理解し、総合的に実践できる</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>          社会人となったとき、適切な考え方を持って対人関係を円滑にする行動ができるよう、社会人としての言葉遣い、電話応対、来客対応の基本等を学ぶ</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>          社会人として求められる心構えを身につけ、保育の現場における社会人、組織人としての接遇マナーの基本を学び、その技術を総合的に実践することができる</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用	社会で生きる実践ビジネスマナー プリント	ウイネット
<p><b>【使用教室】</b></p> 1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )		
<p><b>【評価方法】</b></p> 1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他 (                      )		
<p><b>【備考】</b></p> 評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有・無</p> <p><b>【内容】</b> マナー講師としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
接遇マナー実践		10 限	吉田あかり
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション 信頼を得る基本動作	授業の位置づけを理解する 身だしなみ、表情、挨拶とお辞儀を実践する	
2 限	言葉遣いの基本	話し方・聴き方の基本を実践し、感じの良い言葉遣いを習得する	
3 限	〃	敬語の基本を理解・実践し、ビジネス用語の基本を習得する	
4 限	電話応対の基本	電話の特性を理解し、電話の受け方の基本を習得し、実践できる	
5 限	〃	伝言メモの作成と電話のかけ方の基本を習得し、実践できる	
6 限	来客応対	接遇とは何かを理解し、お客様の受け付け方や名刺の取り扱い方を 実践できる	
7 限	〃	ご案内の仕方、お茶の出し方を実践できる	
8 限	訪問のマナー	訪問のマナーの基本を理解し、実践できる	
9 限	社会人としての心構え	社会人としての心構えを習得する 指示の受け方・報告の仕方を理解し、実践する	
10 限	理解度確認	理解度確認テスト・解説・まとめ	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育者のための体育実技	<b>教員名</b> 遠山 恵	
<b>科目時間数</b> : 7.5 限	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習	
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	<b>配当学年</b> : 3年 <b>開講時期</b> : 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  幼児体育において必要となる指導について正しく学ぶ。                  「遊び」の持つ本質としての楽しさや喜びを子どもに気が付かせる。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  ・各運動の基礎理論の理解                  ・使用する教材（用具）のねらいの理解                  ・実技の習得</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  当該科目について保育者が行う幼児体育に必要な知識と技術を習得する</p>		
	使用教材	出版社
<p><b>【使用教室】</b>                  1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      <input checked="" type="checkbox"/> 7. その他 ( <input type="checkbox"/> ダンススタジオ )</p>		
<p><b>【評価方法】</b>                  1. 筆記試験                      2. レポート                      <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席                      <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度  <input checked="" type="checkbox"/> 5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b>                  評価について：筆記試験は60点以上を合格とする。A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p><b>【内容】</b> 教育施設等での現場経験有り</p>		

科目名 保育者のための体育実技		科目時間総数 7.5 限	教員名 遠山 恵
限	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	マットを使用した運動	「倒立」「前転」「後転」「開脚前転・後転」「側転」の指導を理解し身に着ける	
2 限			
3 限	跳び箱を使用した運動	「開脚跳び」の正しい跳び方、指導方法を理解し身に着ける	
4 限			
5 限	縄を使った運動	「縄跳び」の正しい跳び方、指導方法を理解し身に着ける	
6 限	リズムダンス	リズムダンスの正しい指導方法を身に着ける	
7 限			
7.5 限	試験	模擬指導	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 保育者のためのウクレレ講座	<b>教員名</b> 竹内愛美						
<b>科目時間数</b> : 7.5 限	<b>授業の種類</b> : <u>講義</u> ・ <u>演習</u> ・ 実習						
<b>必修・選択の別</b> : <u>必修</u> ・ 選択	<b>配当学年</b> : 3年次 <b>開講時期</b> : <u>前期</u> ・ 後期 ・ 集中						
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  どんな場面でも活用できるウクレレの基礎を学び、弾き歌いができるようになる。今まで触れたことのない楽器に挑戦し、意欲を高める。</p> <p><b>【DPとの関連】</b></p> <p>① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人（自己研鑽、臨機応変な対応）                  ② 幅広い視野で保育を実践できる人（保育理念、保育観、実践力、応用力）                  ③ 地域の文化を大切にすることをもち、豊かな人間性を備えた人（創造性、表現力）</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>ウクレレについての基礎技能を身につけ、演奏力身につける。様々な曲を弾き歌いで表現し、楽しむ力を身に付ける。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>幼児曲の弾き歌いができるようになる。得意曲を持ち、楽譜を見なくても演奏できるようになる。</p>							
	<b>使用教材</b>						
学生用・教員用 共通	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">楽しいウクレレ弾き語り</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">ヤマハミュージック</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">簡単ウクレレ教室</td> <td style="padding: 2px;">リットーミュージック</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">ウキウキ気分でウクレレ保育</td> <td style="padding: 2px;">(株)世界文化社</td> </tr> </table>	楽しいウクレレ弾き語り	ヤマハミュージック	簡単ウクレレ教室	リットーミュージック	ウキウキ気分でウクレレ保育	(株)世界文化社
楽しいウクレレ弾き語り	ヤマハミュージック						
簡単ウクレレ教室	リットーミュージック						
ウキウキ気分でウクレレ保育	(株)世界文化社						
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>①. <u>HR</u>                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>							
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度                  ⑤. <u>実技試験</u>                      6. その他 (                      )</p>							
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>							
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有・<u>無</u></p> <p><b>【内容】</b></p>							

科目名 保育者のためのウクレレ講座		科目時間総数 7.5 限	教員名 竹内愛美
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	ウクレレについて	ウクレレの基本について学ぶ。 持ち方、チューニングができるようになる。	
2限	弾き歌い練習	ぞうさんを練習、見ないで弾き歌いができるようになる。	
3限	弾き歌い練習	おぼけなんてないさを練習、見ないで弾き歌いができるようになる。	
4限	弾き歌い練習	大きな栗の木の下でを練習、見ないで弾き歌いができるようになる。	
5限	弾き歌い練習	もりのくまさんを練習、見ないで弾き歌いができるようになる。	
6限	弾き歌い練習	やまのおんがくかを練習、見ないで弾き歌いができるようになる。	
7限	弾き歌い練習	やきいもグーチーパーを練習、見ないで弾き歌いができるようになる。	
7.5	試験	今まで学習した曲の中から試験をする。	



科目名 保育者のためのパソコン講座		科目時間総数 7.5 限	教員名 高橋 英里子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・PowerPointのグラフィック機能を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の目的および目指す目標について理解する。</li> <li>・フォトやペイントを使った、簡単な画像の加工を体験する。</li> <li>・PowerPointで絵を描いたり、画像の背景加工を体験する。PCを使って手軽にグラフィカルな表現ができる楽しさを体感する。</li> </ul>	
2 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PC環境・基礎知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCがデータを処理する仕組みを理解する。</li> <li>・画像の、ビットマップ形式とベクター形式の違いが判る。</li> <li>・画像解像度について基本的な原理を理解する。</li> <li>・フォントについて学び、環境によって使用の可否があることを理解する。</li> </ul>	
3 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりを作る①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光の三原色と色の三原色の違いや、色の特性について学び、PCは光の三原色で表現していることを知る。一方、園だよりはプリントであるため、色の三原色で表現していることを知る。</li> <li>・園だよりの内容を考え、準備をすることができる。</li> </ul>	
4 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりを作る②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PowerPointを用い、どのような構成やレイアウトにすれば、楽しく分かりやすい園だよりになるかを考えながら、創意工夫して作成することができる。</li> </ul>	
5 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりを作る③</li> <li>・ICTについて考察する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回に続き、園だよりを完成させる。</li> <li>・保育現場で普及することが多くなったICTについて、その役割や、どのように活用していくと良いか、考察する。</li> </ul>	
6 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なプログラミングに取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミングの仕組みについて知る。</li> <li>・小学生のプログラミング教育で使われるScratchをで、プログラミンを経験する。</li> </ul>	
7 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なプログラミングに取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回に続き、小学生のプログラミング教育で使われるScratchをで、プログラミンを経験する。</li> </ul>	
7.5 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング教育前に幼児期に身に付けるべきことを考察する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校でのプログラミング教育の目的を理解し、その前段階として幼児期に何を身に付ければ良いか考察する。</li> </ul>	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 就職研究	<b>教員名</b> 橋場 早苗	
<b>科目時間数</b> : 7.5 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> : 3年次	
<b>開講時期</b> : 前期 ・ 後期 ・ 集中		
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>働く意義を理解し、自己分析を行い、志望動機や自己PRを明確にし、就職活動、採用試験に臨む。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <p>働く意義を理解し、自己分析を行い、志望動機や自己PRを明確にし、就職活動、採用試験に臨む。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <p>自ら就職活動に意欲的に取り組み、就職を勝ち取ること。</p>		
	使用教材	出版社
プリント資料適宜配布		
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無</p>		
<p><b>【内容】</b></p>		

科目名		科目時間総数	教員名
就職研究		7.5 限	橋場早苗
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	就職をすることについて学ぶ	・ 校内の就職の流れと手続について知る	
		・ 自己覚知	
2 限		自分の良い点・改善点の理解	
		・ 就職の職種・就職する地域・就職情報の取り入れ方	
3 限		・ ハローワークの登録のしかたについて	
		・ 正しい履歴書の記入の仕方	
4 限		自己PRの書き方 練習	
		志望動機の書き方練習	
5 限		・ 面接について学ぶ	
		実際に練習し、考えをまとめて言えるようにする	
6 限		・ 就職希望先見学について（報告書の書き方）	
		・ 内定後のお礼状の書き方について	
7 限		下書きをする	
		清書をする	
7.5 限		・ 内定後の過ごし方について	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> ボランティア実践演習	<b>教員名</b> 村上 祐理香	
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 1年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  地域住民が自立して安心・安全に生活するためには、インフォーマルな支援が提供される仕組みづくりが不可欠であり、その一つの担い手としてのボランティアへの期待は益々高まっています。地域社会における福祉コミュニティの構築に、ボランティア活動が果たす役割と可能性について共に考え学ぶことを目的とします。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  今まで経験したボランティアについて振り返りを行い、被災地を含めた地域貢献を今後どのように取り組んでいくか考える機会を設ける。その後、ボランティア活動先の事前調査を行い、ニーズに合った支援ができるよう学生主体で取り組む。最終的には、活動終了後に報告会を実施し地域問題の共通理解を図るとともに、次年度以降の取り組み課題を明確にする。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア活動を通してコミュニケーション能力を高める。</li> <li>・ ボランティア活動を支える仕組み（災害ボランティア、NPOなど）を知る。</li> <li>・ 企画立案から活動先との連絡調整を自ら進んで行うことができる。</li> </ul>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
	地域に関わるパンフレット等	
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（                      ）</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他（                      ）</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：筆記試験、レポートの他、授業態度等を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 <input checked="" type="radio"/> 無</p>		
<p><b>【内容】</b></p>		

科目名		ボランティア実践演習	科目時間総数	15 限	教員名	村上 祐理香
時間数	教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容			
1 限	ボランティアとは何か		ボランティアの定義、今まで経験したボランティア活動の振り返り			
			ボランティア活動内容・地域について (被災地および内陸の支援先決定、活動先の希望調査)			
2 限			被災地・内陸での活動先と活動内容について (希望調査にもとづき2グループに分ける)			
			ニーズ調査とは			
3 限			活動先事前調査について			
			調査内容報告会 (有志による事前調査結果)			
4 限			内陸と被災地沿岸部をつなぐ活動と可能性			
	ボランティア活動の実際①		NPOとは (被災地、内陸それぞれ1件ずつNPOより講師派遣)			
5 限	ボランティア活動の実際②		ニーズに合った支援について具体化			
	ボランティア活動の実際③		ボランティア活動のマネジメント			
6 限	事前準備		グループワーク 企画・立案			
			グループワーク 計画に基づいた準備			
7 限	事前指導		コミュニケーションとは			
			各グループの計画を報告、全体で共通理解を行う			
8 限	ボランティア活動		・企画の調整と具体化			
			被災地・内陸での活動			
9 限			〃			
			〃			
10 限			〃			
			〃			
11 限			〃			
			〃			
12 限			〃			
			〃			
13 限			〃			
	事後指導		ボランティア実践報告会へ向けて			
14 限			報告会資料づくり			
			〃			
15 限			ボランティア実践報告会			
			今後の課題について			

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 地域福祉実践演習	<b>教員名</b> 村上祐理香	
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 2年次 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  学生自身が「地域福祉」とは何かを理解し実践していくために、必要とされる地域貢献や支援の実態を探り、自らが企画・運営をしていくことを目的とする。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  地域の実態を調査し、必要とされる地域貢献や支援を探り、学生自らが企画・運営をしていく演習と実践を軸とする。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  学生自らが企画した地域貢献（福祉）を実践する。実施内容が地域福祉に貢献できたかどうか、振り返りと成果報告会で検証する。実施回数は2回以上。</p>		
	使用教材	出版社
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      実践発表</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有・無</p>		
<p><b>【内容】</b></p>		

科目名 地域福祉実践演習		科目時間総数 15 限	教員名 村上祐理香
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	イントロダクション	地域福祉とは何か。地域福祉を考える。	
		パワーポイント	
2 限	地域福祉とは	地域福祉活動について考える。	
		地域福祉（貢献）の実際について話し合う。	
3 限		グループワーク ①地域福祉実践企画立案	
		②企画報告会	
4 限	実践活動	実践①	
5 限			
6 限			
	振り返りと報告会	成果報告会（振り返りシート）	
7 限	地域ボランティア活動	・地域のニーズについて考える ・企画準備	
8 限	実践活動	実践②	
9 限			
	報告会	活動・成果報告会（振り返りシート）	
10 限		互いの成果を共有する。	
	実践活動	被災地支援について考える ・企画準備	
11 限	実践	学生自身が連絡を取り合い、実践に移す	
12 限			
13 限			
	振り返りと報告会	活動・成果報告会	
14 限		互いの成果を共有する	
		問題点の共有	
15 限	まとめ	振り返りシート・授業のまとめと課題	
		〃	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 総合演習	<b>教員名</b> 橋場早苗		
<b>科目時間数</b> ： 10	<b>限</b> <b>授業の種類</b> ： 講義 ・ 演習 ・ 実習		
<b>必修・選択の別</b> ： 必修・選択	<b>配当学年</b> ： 3年次 <b>開講時期</b> ： 前期・後期・集中		
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 地域福祉実践の学びを深め、地域が求めている様々な役割を調べ、考え、実践し、社会を形成する一員としての学びを深める。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 地域貢献、被災地へのボランティア、保育科独自の役割として児童関係の施設等での関りを実践する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 地域福祉実践の理解が出来たか。また、自ら、あるいはグループとして協調性を養いながら積極的に活動できたか。</p>			
	使用教材	出版社	
<b>【使用教室】</b>			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ( )	
<b>【評価方法】</b>			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ( )		
<b>【備考】</b>			
評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79~70点) C(69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有			
<b>【内容】</b> 保育士としての職務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
総合演習		10 限	橋場早苗
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	イントロダクション	地域福祉とは何か。地域福祉を考える。	
		パワーポイント	
2 限	地域福祉とは	現在盛岡市で行われている地域福祉実践について学ぶ	
		・被災地や地域のボランティアのニーズを探る（グループワーク）	
3 限		・ボランティア企画と子育て支援施設の学び	
		・企画報告会	
4 限	子育て中の実態について学ぶ	・パパママサロン開設	
		・保育所DVD鑑賞	
5 限	子育て支援事例研究	・グループで問題提起      ・グループワーク	
6 限			
7 限	ボランティア活動	・グループごとに起案      ・企画報告会	
8 限	実践	・障がい・子ども・ビオトープ	
9 限			
10 限	まとめ	報告会準備	
		報告会	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 健康管理学	<b>教員名</b> 菊池 要子	
<b>科目時間数</b> ： 15 限	<b>授業の種類</b> ： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： 必修・選択	<b>配当学年</b> ： 3年次	
<b>開講時期</b> ： 前期・後期・集中		
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> WHOの健康の定義を理解したうえで、身体のしくみと疾患を知り、健康寿命を延ばすために、介護職ができることを考える。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> WHOの健康とは、を理解できる。 身体のしくみを理解できる。 日本人が患しやすい疾患について理解できる。 健康寿命を延ばすために我々ができることを考えられる。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 健康管理を理解し、バイタルサインを知り、正常異常、いつもと違う変化に気づくことができる。 医療者に的確に報告し連携をとることができる。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用・教員用 共通	健 康 管 理 学	近畿大学九州短期大学
<p><b>【使用教室】</b>          1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室          5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b>          1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度          5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> (有) ・ 無</p> <p><b>【内容】</b> 看護師として、病院や福祉施設にて実務経験有り</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
健康管理学		15 限	菊池 要子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	WHOの健康の定義 血液が持つ情報	自己紹介 左記を覚える。 貧血・血糖値など血液成分や検査値が教えてくれる情報を学ぶ。	
2 限	免疫と血液 体温と発熱	免疫とは何か・血液の働きと抗体について学ぶ。 体温が持つ意味・測定方法・基礎体温について理解する。	
3 限	ビタミン 人体を構成する元素と 鉱物質	ビタミンの健康に対する意義・歴史・それぞれのビタミンを学ぶ。 人体を構成している元素の意義・それぞれの元素を学ぶ。	
4 限	妊娠と育児 妊娠と育児	妊娠・新生児・小児の成長と発育・発育段階について理解する。 小児の生理・よくある病気・小児がんについて学ぶ	
5 限	感染症 がん（癌）	感染症・食中毒について理解できる。 “がん”とは？種類・原因と遺伝子などについて学ぶ	
6 限	がん（癌） エイズについて	“がん”細胞の発育・どこにできるか・遺伝するかを学ぶ。 エイズ&H I Vについて理解できる。偏見・検査・感染経路を学ぶ	
7 限	健康・体力と運動 生活におけるtraining	現代社会の健康阻害要因・運動不足の実態・運動・体力などを学ぶ。 運動処方・トレーニングの科学的基礎について学ぶ。	
8 限	介護職員初任者研修 介護職員初任者研修	第2分冊4章第2節；医療との連携とリハビリテーション 医療的ケアを理解する。訪問看護との連携	
9 限	介護職員初任者研修 介護職員初任者研修	※人形を使って、経管栄養・喀痰吸引を理解する。	
10 限	介護職員初任者研修 介護職員初任者研修	第3分冊6章；老化の理解/高齢者と健康	
11 限	介護職員初任者研修 介護職員初任者研修	※老人体験セットを使って実際に体験する	
12 限	介護職員初任者研修 介護職員初任者研修	第3分冊7章；認知症の理解 ※認知症関連映像を観る 認知症の人、本人の気持ちを理解する。支援方法を考える。	
13 限	介護職員初任者研修 介護職員初任者研修	第4分冊9章第2節；介護に関するこころのしくみの基礎的理解 第3節；介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
14 限	介護職員初任者研修 介護職員初任者研修	地域包括的ケアシステムについて理解できる。	
15 限	介護職員初任者研修 介護職員初任者研修	健康寿命を延ばすために、地域包括ケアシステムを活用した取り組みを考察できる。 各自の考えを発表し、理解を深め、まとめとする。	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 介護概論	<b>教員名</b> 加東恵
<b>科目時間数</b> ： 15 限	<b>授業の種類</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習
<b>必修・選択の別</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	<b>配当学年</b> ： 3年 <b>開講時期</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 多様化による専門職の役割の理解と実践力を身に付ける</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 援助の基本視点</li> <li>・ 保健福祉の制度</li> <li>・ 利用者の理解</li> <li>・ 介護の知識と方法</li> <li>・ 生活援助・相談援助</li> </ul> </p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目について、介護の基本、直接援助について学ぶ、介護職と他の職種との連携の重要性についてを理解する</p>	
	<b>使用教材</b>
	<b>出版社</b>
	介護職員初任者研修
	介護労働安定センター
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>	
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：筆記試験はA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p><b>【内容】</b> 福祉施設での現場経験有り</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
介護概論		15 限	加東恵
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション	授業の位置づけについて理解する	
	介護の基本的な考え方	介護環境の特徴	
2 限		在宅サービス・施設サービスについて学ぶ	
		3 限	
4 限	介護に関するところのしくみ	学習と記憶に関する基礎知識について理解する	
		感情と意欲	
		自己概念と生きがい	
		老化や障害の受け入れ	
5 限			
6 限	多様なサービスの理解	多様なサービスと介護職に仕事に就いて学ぶ	
		介護保険の概要	
7 限		介護保険制度下の介護（ケアプラン・実際の職務など）	
8 限	介護職の仕事内容や働く現場の理解	実際の介護職の仕事内容についての理解と現場についての現状を理解する	
9 限			
10 限	介護職の役割・専門職と多職種との連携	他職種との連携について理解する	
11 限			
12 限	介護職の職業倫理	介護職の職業倫理について学ぶ	
13 限	介護における安全の確保とリスクマネジメント	介護における安全の確保・介護職の責務について学ぶ	
		リスクマネジメントとは何か	
14 限	介護職の安全	介護職員の健康が介護の質に影響を与えることを理解する	
		介護職に起こりやすい障害	
15 限	全体まとめ	学習全体の振り返り	
		振り返りテスト	
	振り返りテスト	テスト	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 社会福祉基礎演習	<b>教員名</b> 佐藤雅子	
<b>科目時間数</b> ： 8 限	<b>授業の種類</b> ： <input type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	<b>配当学年</b> ： 3年 <b>開講時期</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 福祉サービスの提供に必要な社会福祉制度の基本的な知識を習得する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 介護保険制度、障害者総合支援法、公的年金制度の理解について、講義及び演習による授業を行う。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> ・ 介護保険制度の概要について説明できる。 ・ 障害者総合支援制度の概要について説明できる。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
	介護職員初任者研修テキスト第2分冊	介護労働安定センター
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. <input checked="" type="checkbox"/> 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験                      2. レポート                      3. <input checked="" type="checkbox"/> 出席                      4. <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p><b>【内容】</b> 介護の現場経験、社会福祉士としての実務経験あり</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
社会福祉基礎演習		8 限	佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	介護・福祉サービスの理解 と医療との連携 第1節 介護保険制度等	1 介護保険制度等創設の背景と目的・動向	
2 限		2 介護保険制度等創設の仕組みと基礎的理解	
3 限		3 介護保険制度の財源、組織・団体の機能と役割 4 医療保険制度の概要 5 年金制度の概要	
4 限	第3節 障害者総合支援法とその他の制度	1 制度創設の理念・背景と目的 《障がい者の状態像》	
5 限		2 制度の仕組みと基礎的理解	
6 限		3 個人の権利を守る制度の概要	
7 限	まとめ	【演習】 介護保険制度と障害者総合支援法の比較整理	
8 限		↓ 発表・まとめ	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 社会福祉援助技術	<b>教員名</b> 阿部 孝司
<b>科目時間数</b> ： 13 限	<b>授業の種類</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	<b>配当学年</b> ： 3年 <b>開講時期</b> ： 前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 介護サービス提供において中心的な役割を果たす福祉専門職に必要な社会福祉援助技術に関する基本知識の習得とケアプランの作成</p>	
<p><b>【授業全体の内容の概要】</b> ・福祉専門職に必要な社会福祉援助技術に関する基本知識</p>	
<p><b>【授業における達成課題】</b> 当該科目について、福祉専門職として福祉実践に必要な知識・技術を習得する</p>	
	<b>使用教材</b>
学生・教員	介護職員初任者研修テキスト
	<b>出版社</b>
	介護労働安定センター
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      課題分析とケアプラン作成</p>	
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：レポート、出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/>有 ・ 無</p>	
<p><b>【内容】</b> 福祉施設での現場経験有り</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
社会福祉援助技術		13 限	阿部孝司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	障害の基礎的理解 障害の医学的側面の基礎的知識	オリエンテーション 障害の概念とICFについて理解する 肢体不自由(身体障害)について理解する	
2 限	〃	内部障害について理解する	
	〃	聴覚障害・視覚障害について理解する	
3 限	〃	音声・言語・咀嚼機能障害について理解する	
	〃	精神障害について理解する	
4 限	〃	統合失調症について理解する	
	〃	躁うつ病等について理解する	
	〃	神経性障害について理解する	
5 限	〃	アルコール依存症について理解する	
	〃	知的障害について理解する	
6 限	〃	発達障害について理解する	
	〃	ダウン症について理解する	
7 限	〃 家族の心理かかわり支援の理解	高次脳機能障害について理解する 家族の心理について理解する 家族へのかかわり支援について理解する	
8 限	ビデオ学習 まとめ	障がいについてのビデオ学習 理解度確認テスト	
9 限	アセスメント 〃	記録の書き方やアセスメントの講義 介護保険利用の事例について読み合わせする	
10 限	〃 ビデオ学習	事例のアセスメントを読み解く 介護保険制度の実際を知る	
11 限	課題分析	事例の課題分析の方法を学ぶ	
12 限	介護保険制度 ケアプラン作成	介護保険制度について学ぶ グループでケアプランの作成を行う	
13 限	ケアプラン作成発表 ビデオ学習 まとめ	グループ毎にケアプランの発表を行う ケアマネージャーの実際を知る 相談援助技術の講義の振り返り	

# 授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 介護技術	<b>教員名</b> 大崎幸司	
<b>科目時間数</b> ： 21.5 限	<b>授業の種類</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> ： 3年 <b>開講時期</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  尊厳を保持し、自立及び自律を尊重する介護の基本を前提に、利用者の潜在能力を引き出しながらその人の生活を支える介護実践方法を理解する。介護職に就くか否かに関わらず、自分の家庭内や身の回りで役立てることができる。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  介護・福祉サービスの概要と医療との連携、介護におけるコミュニケーションに関する理解を深める。また介護実技として、体位変換と移動・食事・清潔・排泄といった日常生活動作の基本を理解した上で有する能力を活用し利用者がその人らしく自立した日常生活を営むことができるように、演習を通して支援技術を学ぶ。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  利用者の心身の状況に合わせた介護の基本原則を理解し、指示に基づいて介助を行うことができる。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
	介護職員初任者研修テキスト	介護労働安定センター
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p><b>【内容】</b> 福祉施設での現場経験有り</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
介護技術		21.5 限	大崎幸司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	介護職の役割	様々な職種の中での介護職、利用者の介護ニーズ	
	介護職の専門性	様々な介護技術	
	介護職の職業倫理	倫理綱領、不適切な介護の事例	
2 限	介護における安全の確保	様々な介護事故	
	リスクマネジメント	仕組みとしての事故防止活動	
	介護職の安全	介護に特有のリスク	
3 限	介護におけるコミュニケーション	高齢者とのコミュニケーション	
	介護におけるコミュニケーション	認知症高齢者とのコミュニケーション	
	介護におけるチームのコミュニケーション	多職種連携	
4 限	介護におけるチームのコミュニケーション	サービス担当者会議、カンファレンス	
	家事支援	家事支援とは何かを理解する	
	生活と家事	支援の内容を理解する	
5 限	生活と家事	掃除・ごみ捨てについて理解する	
		雑巾を縫う	
	生活と家事	衣服の修繕	
6 限		洗濯・干す	
	生活と家事	アイロンがけ	
		快適な居住環境について理解する	
7 限	生活と家事	住宅改修について理解する	
		福祉用具に関する基礎知識を理解する	
	はじめに	介護技術を身につける上で大切な視点を理解する	
8 限	環境整備	ベットメイキング要領を理解する（シーツのたたみ方・三角コーナー）	
	環境整備	ベットメイキング要領を理解する（四角コーナー・枕・横シーツ）	
		ベットメイクグを作る	
9 限	環境整備	ベットメイクグを作る	
	環境整備	ベットメイクグを作る	
	整容介護	利用者の状況に応じた着脱介助の方法を体験し学ぶ	
10 限		利用者の状況に応じた着脱介助の方法を体験し学ぶ	
	整容介護	片麻痺がある場合の着脱方法の原則（脱健着患）を理解する	
		利用者の状況に応じた着脱介助の方法を体験し学ぶ	
11 限	整容介護	清潔を保つ意義・留意点などを理解する	
	移動介護	移動の意味・重心・バランスなど動作の基礎知識を理解する	
	移動介護	ベット上での移動の方法を学ぶ	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
12 限		端坐位・立ち上げりの介助方法を学ぶ
	移動介護	移乗・車椅子移動の介助方法を学ぶ
		移乗・車椅子移動の介助方法を学ぶ
13 限	移動介護	車椅子段差昇降・坂道・エレベーターの乗り降りを学ぶ
		車椅子段差昇降・坂道・エレベーターの乗り降りを学ぶ
	食事介助	食事の意義・しくみ・姿勢について理解する
14 限		利用者の状況に応じた食事介助の方法を体験し学ぶ
	食事介助	利用者の状況に応じた食事介助の方法を体験し学ぶ
		利用者の状況に応じた食事介助の方法を体験し学ぶ
15 限	食事介助	口腔ケアの意義と介助方法を体験し学ぶ
		脱水とその予防について理解する
	食事介助	高齢者向きの献立作り
16 限	食事介助	高齢者の食事の調理
	食事介助	高齢者の食事の調理
	排泄介助	排泄介助時の留意点と排泄のしくみを理解する
17 限	排泄介助	利用者の状況に応じた排泄場所と排泄用具の選択について理解する
		利用者の状況に応じた排泄介助の方法を体験し学ぶ
	排泄介助	利用者の状況に応じた排泄介助の方法を体験し学ぶ
18 限		利用者の状況に応じた排泄介助の方法を体験し学ぶ
	排泄介助	利用者の状況に応じた排泄介助の方法を体験し学ぶ
		利用者の状況に応じた排泄介助の方法を体験し学ぶ
19 限	入浴介助	清潔を保つ意義・留意点などを理解する
	入浴介助	足浴の方法を学ぶ
		手浴の方法を学ぶ
20 限	入浴介助	ケリーバットの作り方を学ぶ
		ベット上での洗髪の方法を学ぶ
	入浴介助	清拭の方法を学ぶ
21 限		シャワー浴の方法を学ぶ
	睡眠	高齢者の睡眠のしくみを理解する
	終末期の介護	終末期とは何かを理解する
		高齢者の死に至るパターンとケアの特徴を理解する
21.5 限	終末期の介護	終末期の心理状態を理解する
	振り返り	これまでの学習について振り返りする